

令和5年(2023年)度
人権に関する市民意識調査
報告書

令和5年(2023年)12月
飯山市教育委員会事務局
教育部 人権政策課

目 次

調査の概要	1
調査結果	
回答者の属性	2
I 人権意識について	
問1 「人権」に対するイメージ(印象・感想)について、一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。	3
問2 「人権」と自分との関係について、自分の思いに一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。	4
問3 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題(部落差別)、性的少数者などの差別をはじめさまざまな人権問題があります。あなたは、人権問題に関心を持っていますか。自分の思いに一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。	5
問4 人権に関することで、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。	6
問5 人権に関する講演会・懇談会・学習会・イベントに参加したことがありますか。	7
II 人権侵害について	
問6 あなたは、最近5年間で、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。	8
問7 その人権侵害はどのようなものでしたか。	9
問8 その人権侵害はどこでありましたか。	9
問9 それは、どのような理由による人権侵害ですか。	10
問10 人権侵害を受けたときあなたはどのように対応しましたか。	10
III 主な人権課題に関する意識について	
問11 あなたは、社会で女性に対する差別・偏見はあると思いますか。	11
問12 あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	12
問13 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考えについてどう思いますか。	13
問14 あなたは、社会で子どもの人権が守られていると思いますか。	14
問15 あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	15
問16 あなたは、社会で高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。	16
問17 あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	17
問18 あなたは、社会で障がいのある人に対する差別・偏見があると思いますか。	18
問19 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	19
問20 あなたは、日本に居住している外国人に対する差別・偏見があると思いますか。	20
問21 あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	21
問22 あなたは、HIV(エイズウィルス)感染者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。	22

問23	あなたは、HIV(エイズウィルス)感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	23
問24	あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。	24
問25	あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	25
問26	あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	26
問27	あなたは、SNSをはじめとしたインターネットに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	27
問28	あなたは、LGBTQ等の性的少数者の方々に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	28

IV 同和問題(部落差別)に関する意識について

問29	あなたは、同和問題(部落差別)を知っていますか。	29
問30	あなたが同和問題(部落差別)を、知ったきっかけは何ですか。	30
問31	あなたは同和問題(部落差別)についてどのようにお考えですか。	31
問32	現在どのような面に同和問題(部落差別)があると思いますか。	32
問33	あなたにお子さんがいると仮定し、お子さんの結婚相手が同和地区の人であると知った場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。	33
問34	あなた自身が同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしていると仮定し、家族や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。	34
問35	同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに近いものはどれですか。	35
問36	あなたは、同和問題を解決するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。	36

V 人権課題を解決する方策について

問37	今後、人権課題として市が積極的に取り組む必要があると思われる課題はどれですか。	37
問38	あなたは、人権問題に理解を深め人権意識を高めるためには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。	38
問42	人権について、ご自由に意見をお書き下さい。	39

まとめ

令和5年度 人権に関する市民意識調査 報告書 まとめ	40
----------------------------------	----

調査資料

調査様式	44
------------	----

調査の概要

(令和5年8月実施)

1 調査目的

「飯山市人権政策推進に関する基本方針」に基づいて、様々な人権問題を解決するために、人権に関する市民の意識を把握し、より効果的な人権施策を進めていくうえでの基礎資料とする。

2 調査項目

人権意識、人権侵害、回答者の属性に関する設問など選択式の設問38項目、記述式の設問1項目。

3 調査方法

- (1) 調査地域 飯山市全域
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上の男女2,000人
- (3) 抽出方法 令和5年7月1日現在の住民基本台帳から男女1,000人ずつ10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の区分から均等に無作為抽出

項目	計 (人)		男性 (人)		女性 (人)		摘要
飯山市の人口	19,408		9,468		9,940		令和5年7月1日現在の住民基本台帳人口
18歳以上の計	18歳以上	抽出数	18歳以上	抽出数	18歳以上	抽出数	18歳以上は令和5年7月1日現在の人口
	14,050	2,000	7,190	1,000	6,860	1,000	
内訳	10歳代	356	68	188	34	168	男女は同数 抽出は各年代で均等 (10歳代は各年代の5分の1の人数、10歳代で余りの人数を調整)
	20歳代	1,345	322	750	161	595	
	30歳代	1,521	322	784	161	737	
	40歳代	2,244	322	1,142	161	1,102	
	50歳代	2,466	322	1,280	161	1,186	
	60歳代	2,953	322	1,456	161	1,497	
	70歳以上	3,165	322	1,590	161	1,575	

- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収またはWeb回答
- (5) 調査期間 令和5年 8月2日から令和5年8月21日まで

4 回収結果

- (1) 発送数 2,000
- (2) 到達数 1,995
- (3) 回答数 682
- (4) 有効回答数 682 [34.1%]

5 調査結果の集計・表示方法及び数値等の取扱い

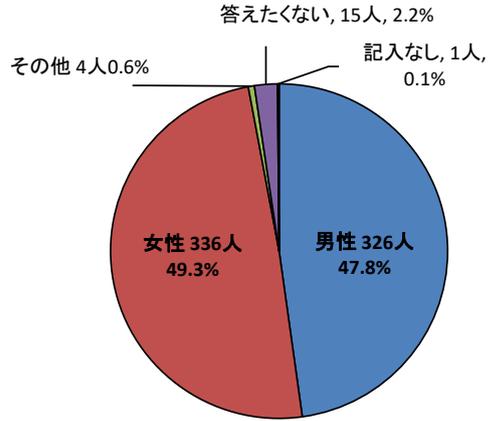
- (1) 「前回調査」とは、平成30年に実施した飯山市の「人権に関する市民意識調査」をさす。
- (2) 調査結果の比率は、各設問の無回答を含む回答数の百分比(%)を表している。このため、複数回答の設問では、百分比(%)の合計は、100.0%を超えるものもある。
- (3) 百分比(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しない場合もある。
- (4) 県が実施した調査等について本調査と比較できる設問については分析している。県の調査は、令和2年9月に実施した長野県県民文化部人権・男女共同参画課の「人権に関する県民意識調査」をさす。
- (5) 図表では、煩雑さを避けるために選択肢の言葉や文章を省略形にする場合がある。

調查結果

回答者の属性

1 回答者数

アンケート送付総数 2,000 人
 回答数 682 人
 回答率 34.1 %
 (前回調査…平成30年度 回答率 35.6%)



2 性別

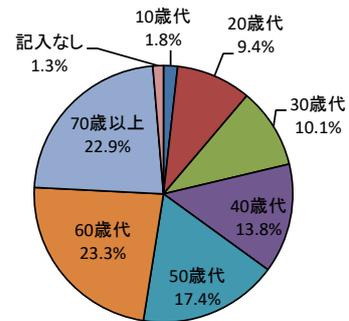
	回答者数	構成比
男性	326	47.8%
女性	336	49.3%
その他	4	0.6%
答えたくない	15	2.2%
記入なし	1	0.1%
合計	682	100.0%

H30 55人 H25 69人

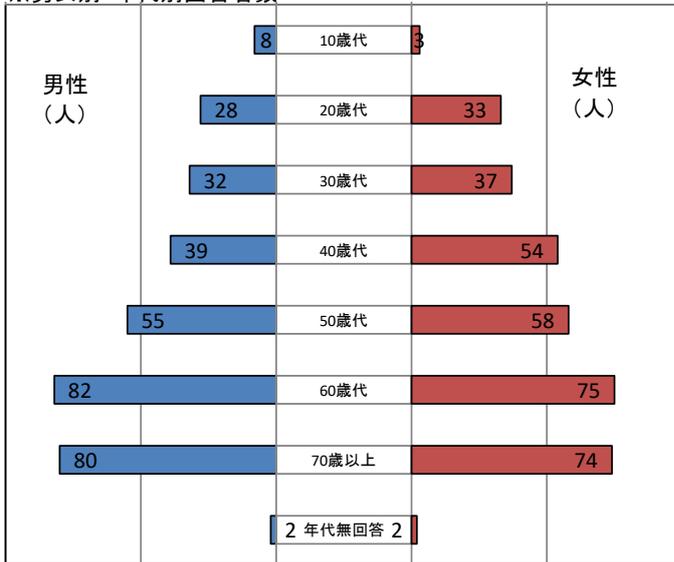
3 年代別

年代	性別	合計	男性	女性	その他	答えたくない	記入なし
10歳代		12	8	3	0	1	0
20歳代		64	28	33	2	1	0
30歳代		69	32	37	0	0	0
40歳代		94	39	54	0	1	0
50歳代		119	55	58	1	5	0
60歳代		159	82	75	0	2	0
70歳以上		156	80	74	1	1	0
記入なし		9	2	2	0	4	1
合計		682	326	336	4	15	1

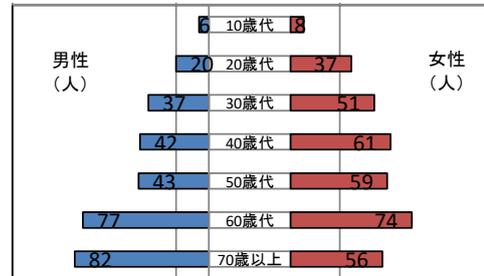
※年代別



※男女別・年代別回答者数



(参考) 平成30年調査



(参考) 平成25年調査



3 地区別

性別	地区名	飯山地区	秋津地区	木島地区	瑞穂地区	柳原地区	富倉地区
男		95	27	42	19	25	1
女		109	31	32	18	19	0
その他		3	0	0	0	0	0
答えたくない		0	1	0	0	0	0
記入なし		0	0	0	0	0	0
回答数		207	59	74	37	44	1

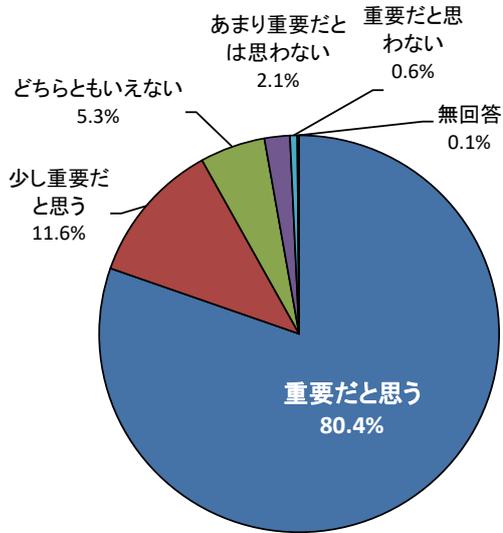
性別	地区名	外様地区	常盤地区	太田地区	岡山地区	記入なし	その他	答えたくない	合計
男		19	34	25	15	4	0	20	326
女		11	52	19	9	4	1	31	336
その他		0	0	0	0	0	1	0	4
答えたくない		0	0	0	0	1	0	13	15
記入なし		0	0	0	0	1	0	0	1
回答数		30	86	44	24	10	2	64	682

I 人権意識について

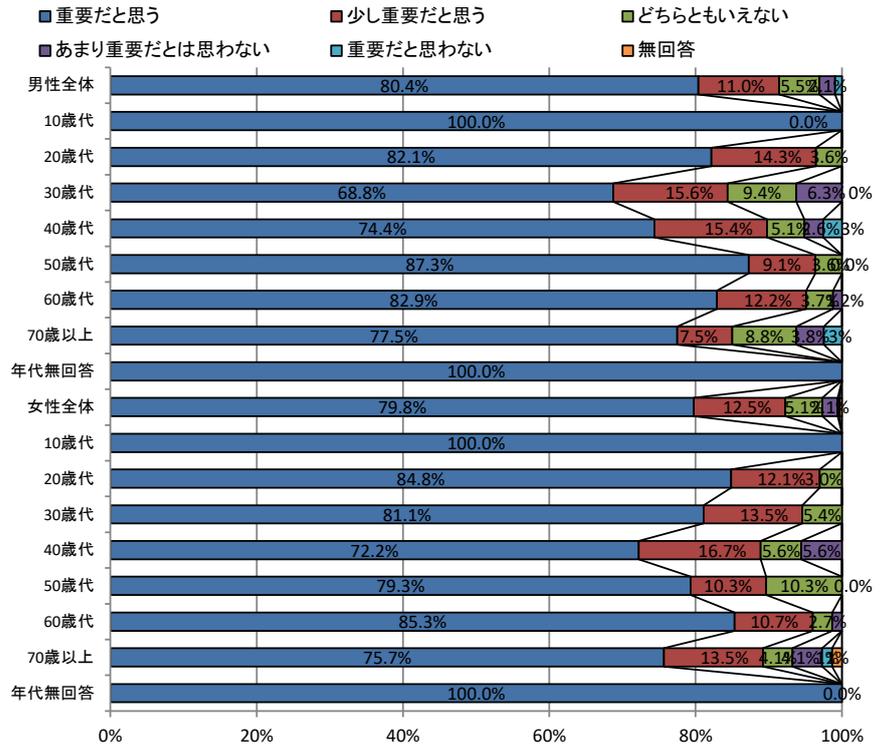
問1 あなたは「人権」ということについてどのようにお考えですか。

「人権」に対するイメージ(印象・感想)について、一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。

※全体の回答

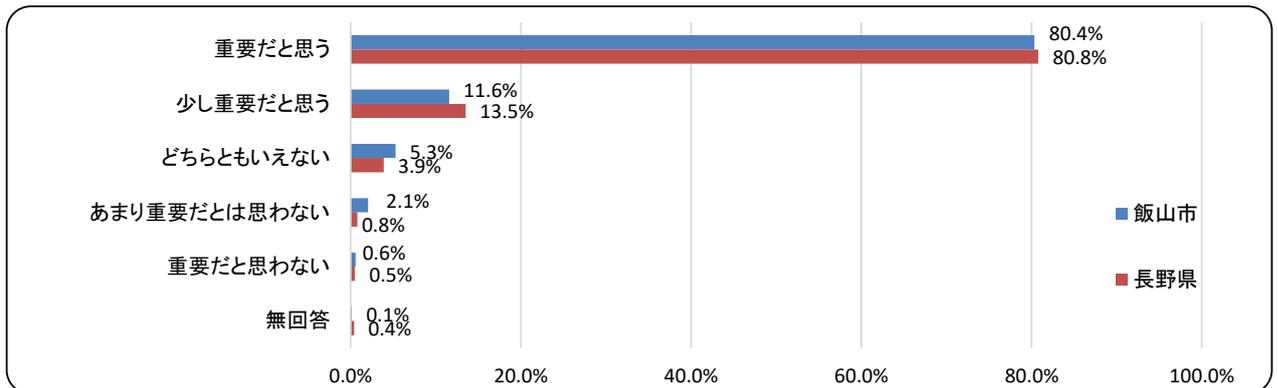


※男女別・年代別



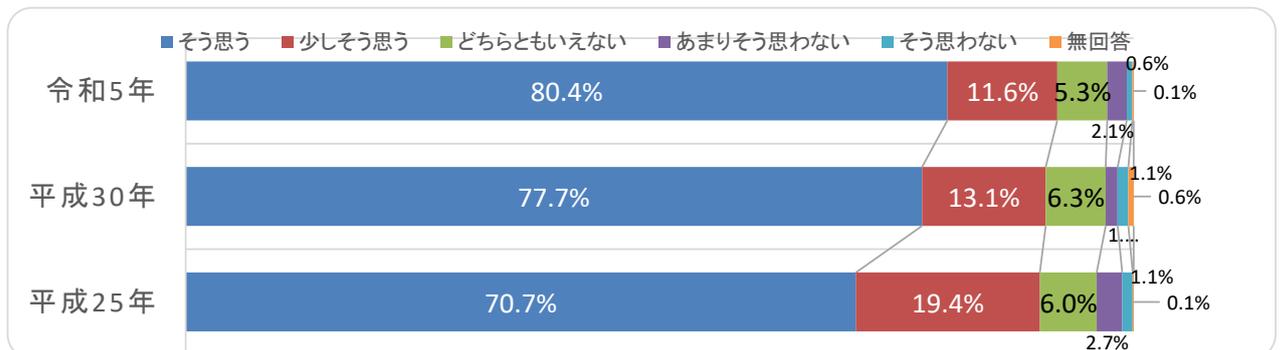
「人権」について、「重要である」、「少し重要だと思う」を含めると92.0%の人が重要であるとの認識を持っている。

※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



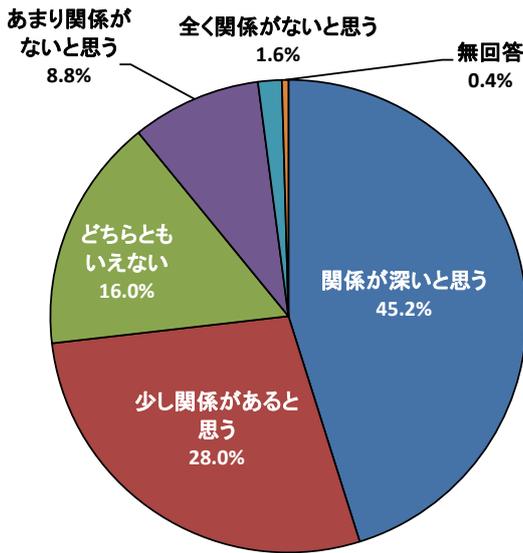
長野県との比較では大きな差はみられなかった。「どちらともいえない」「あまり重要だとは思わない」「重要だと思わない」が上回っている。

※過去調査との比較

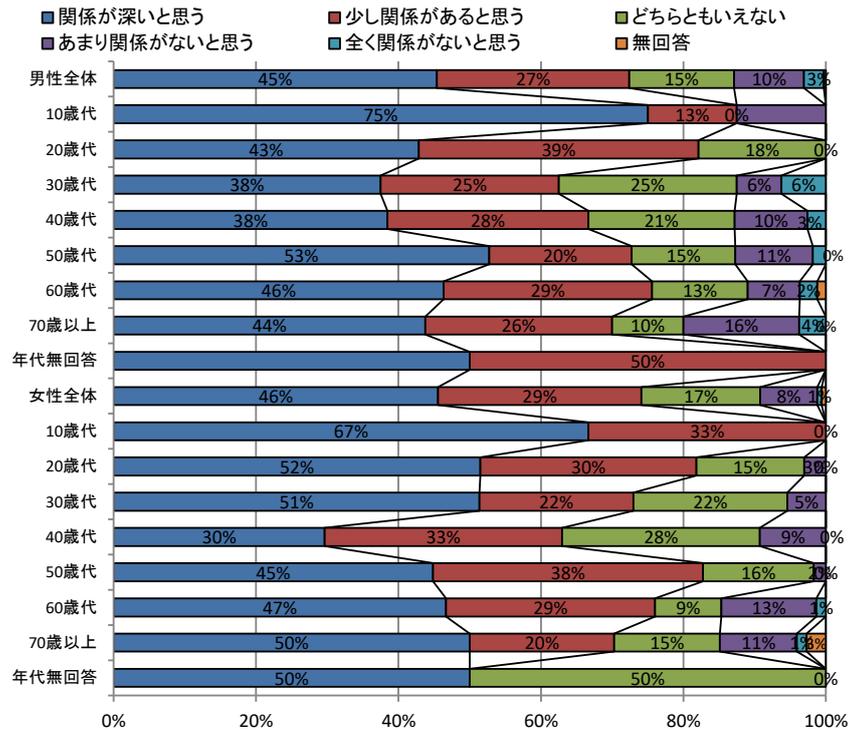


問2 「人権」と自分との関係について、自分の思いに一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください

※全体の回答

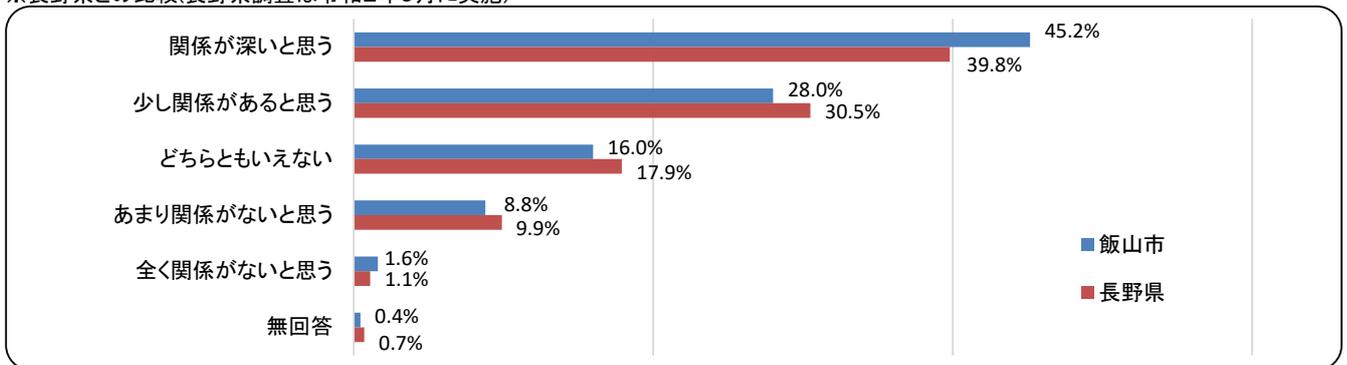


※男女別・年代別



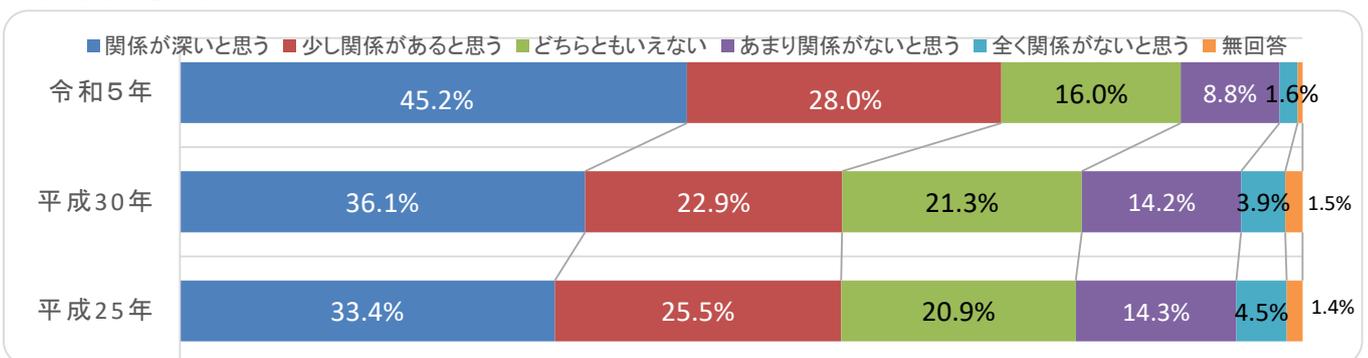
「人権」と自分との関係については、「関係が深い」45.2%、「少し関係があると思う」28.0%で、7割弱が関係が深いとしている。

※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



長野県との比較では「関係が深い」を選択する割合が飯山市の方が5.4ポイント高くなっている。「どちらともいえない」は前回調査時は県より高かったが、今回は県より低くなった。

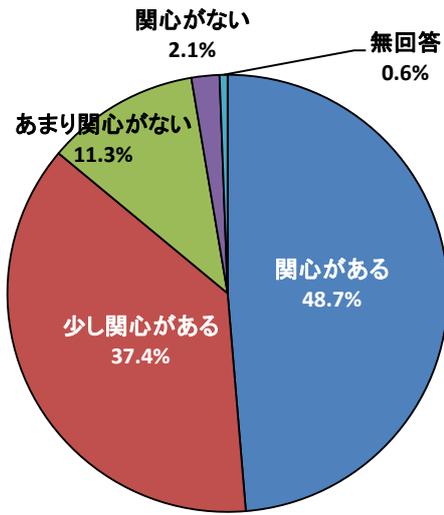
※過去調査との比較



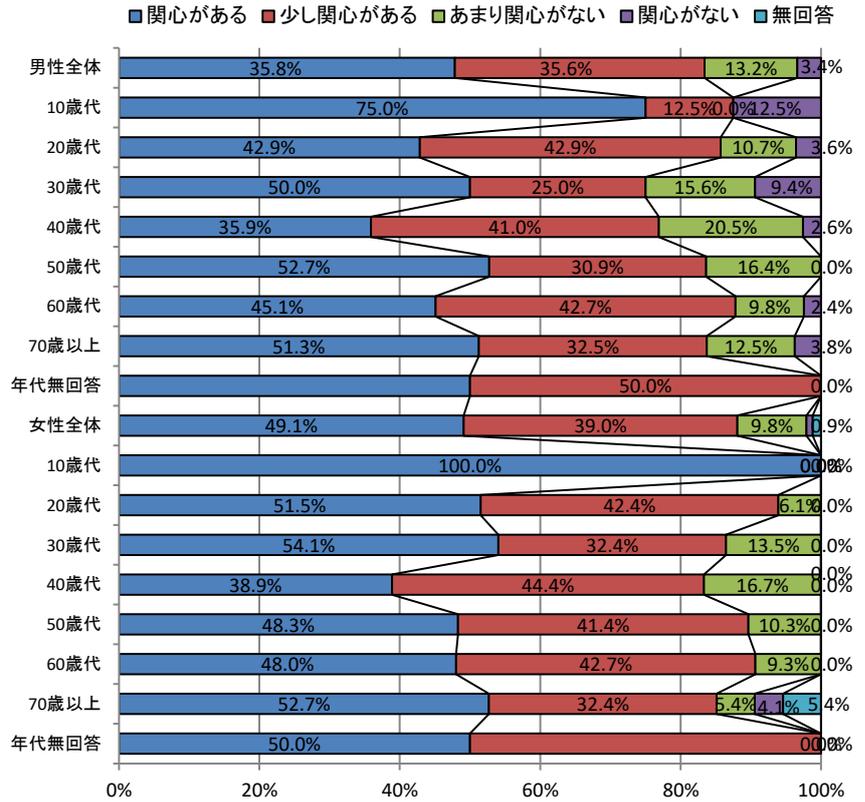
経年で見ると、「関係が深いと思う」「少し関係があると思う」の割合が増加してきている。

問3 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題(部落差別)、性的少数者などの差別をはじめさまざまな人権問題があります。あなたは、人権問題に関心を持っていますか。自分の思いに一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。

※全体の回答

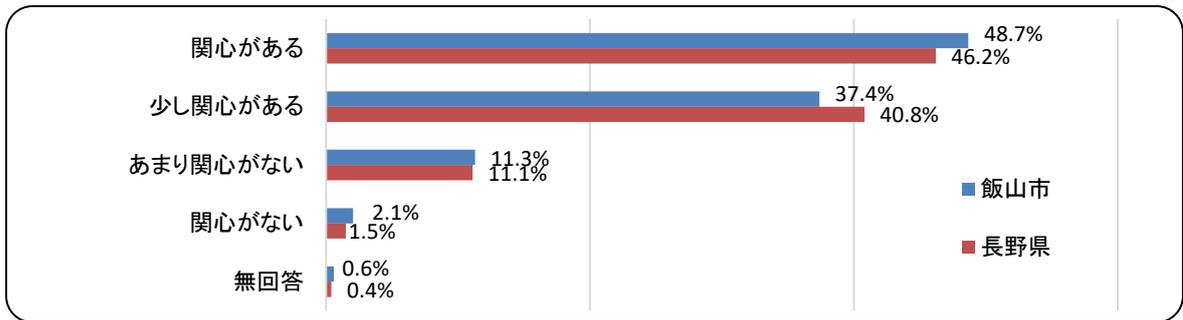


※男女別・年代別回答



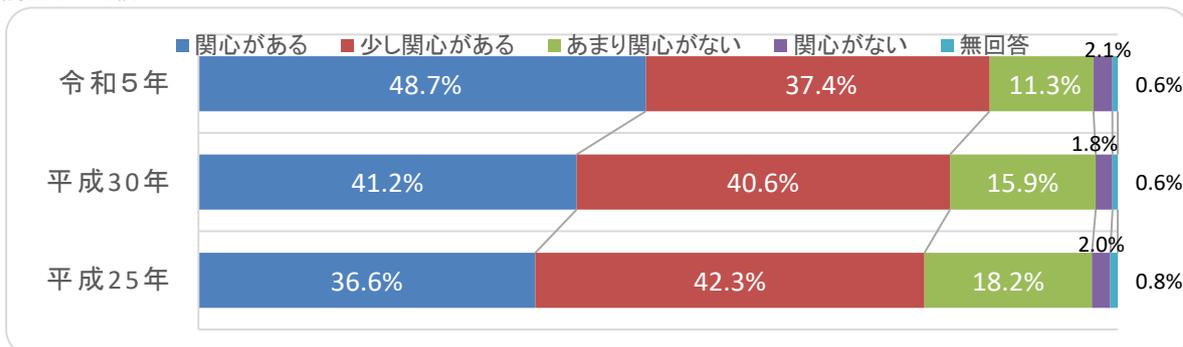
人権問題について、「関心がある」48.7%、「少し関心がある」37.4%をあわせると約8割強が人権問題に関心を持っている。

※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



長野県との比較では「関心がある」が2.5ポイント飯山市が高く、「少し関心がある」と合わせると、県とほぼ等しくなった。

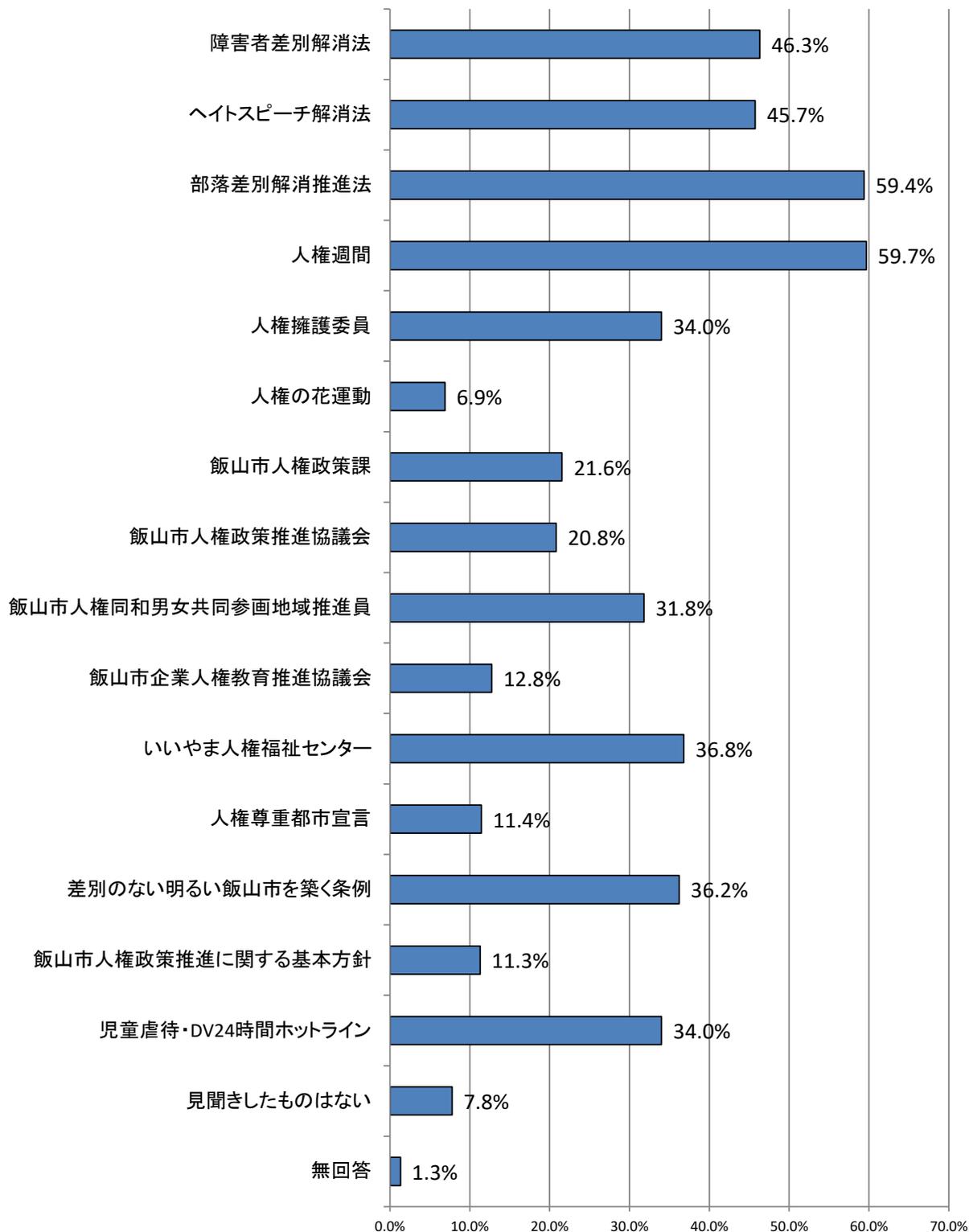
※過去調査との比較



回を追うごとに「関心がある」の割合が高くなっている。

問4 人権に関することで、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。
 (見聞きしたものをすべてに○をつけてください)

※全体の回答

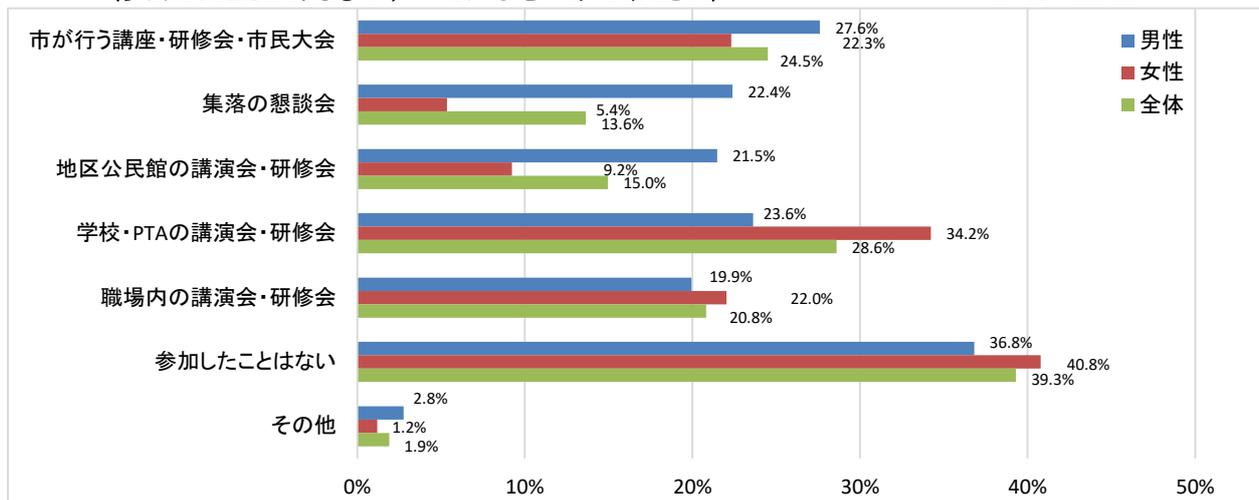


人権に関し、見聞きしたことで最も多いのが、「人権週間」と「部落差別解消推進法」で60%近くになっている。次に「障害者差別解消法」と「ヘイトスピーチ解消法」が46%前後で、「いいやま人権福祉センター」「差別のない明るい飯山市を築く条例」等が続く。(複数回答、%は選択者数/全回答者数×100)

問5 人権に関する講演会・懇談会・学習会・イベントに参加したことがありますか。

(参加したことがあるものすべてに○をつけてください)

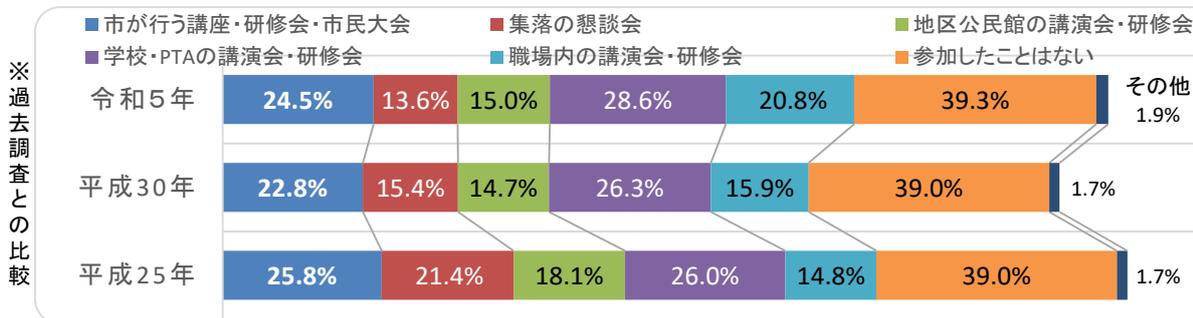
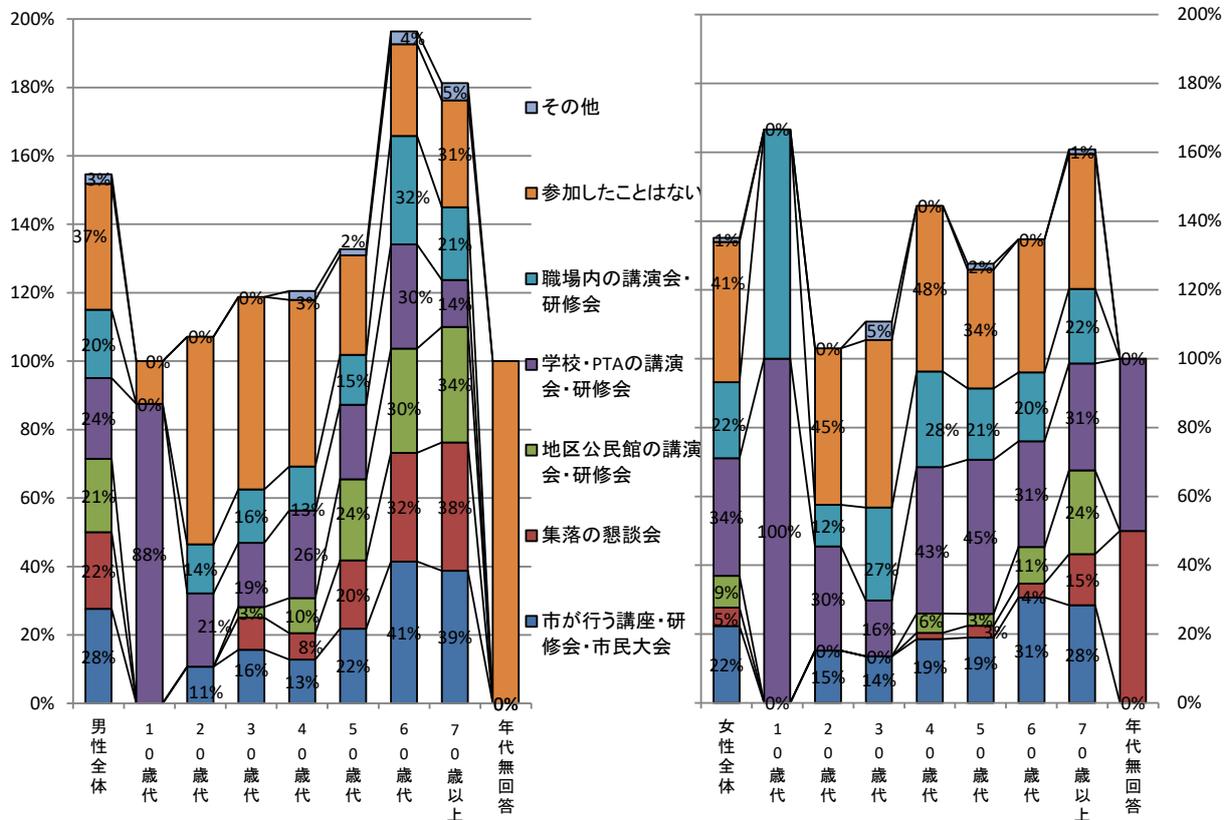
※全体・男女別回答



人権に関する講演・懇談会等で参加したことがあるのは、「学校・PTAの講演会・研修会」28.6%、「市が行う講座・研修会・市民大会」24.5%、「地区公民館の講演会・研修会」15.0%、「集落の懇談会」13.6%などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

男女別・年代別で傾向を見ると、男性は60歳代、70歳代以上で「市が行う講座・研修会・市民大会」を挙げた人の割合が高く、女性は30歳代を除いて「学校・PTA」を挙げた人の割合が高い。若い世代は「参加したことがない」との回答が多い。「参加したことはない」は毎回4割近くになっている。

※男女別・年代別回答 (%は選択数/その年代の回答者全数×100)

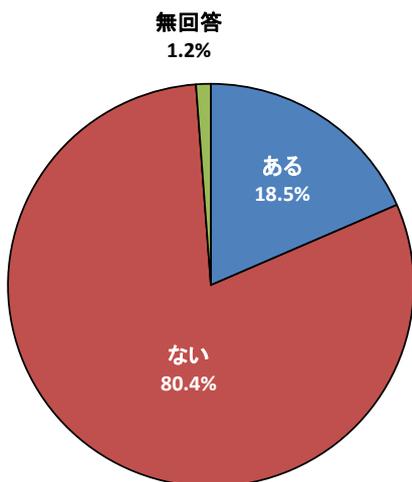


※過去調査との比較

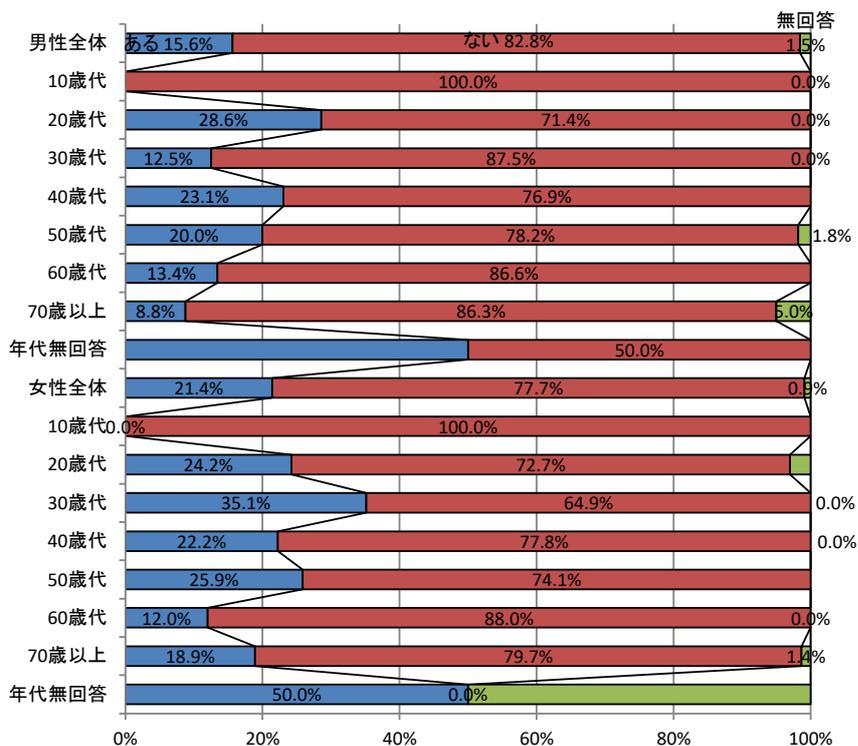
II 人権侵害について

問6 あなたは、最近5年間で、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(どちらかに○をつけてください)

※全体の回答

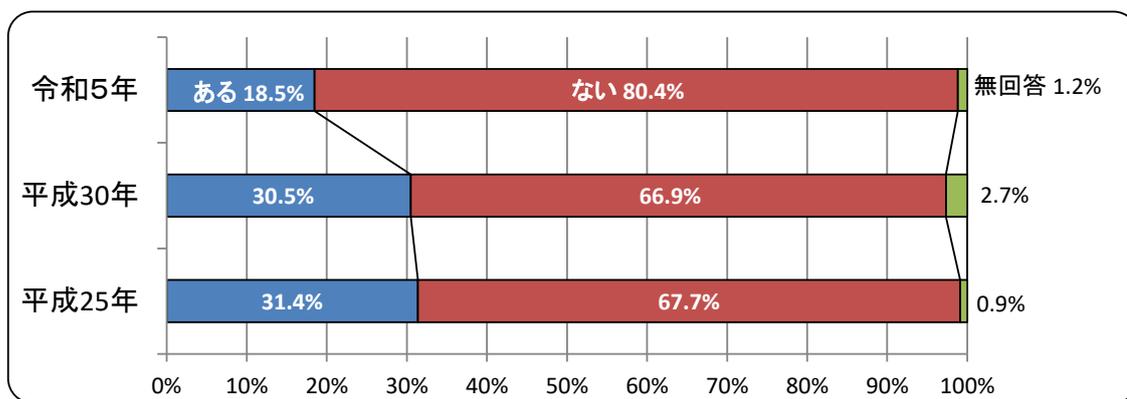


※男女別・年代別

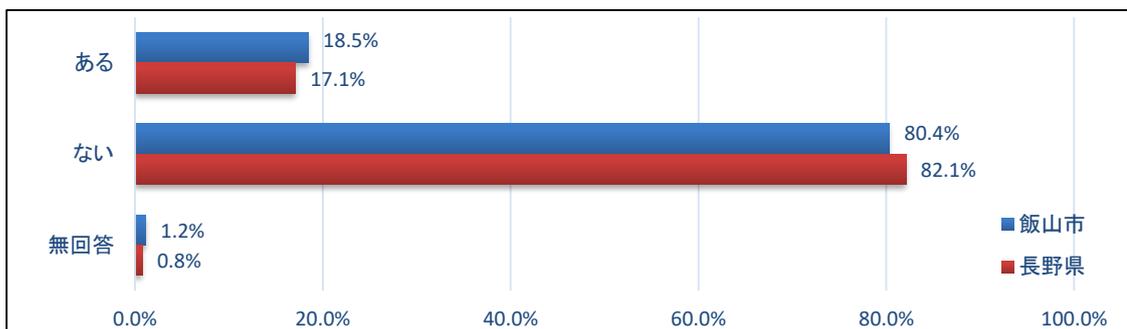


今までに人権侵害されたと思ったことがあるかについて「ある」18.5%、「ない」80.4%となっている。
男女別で見ると「ある」と答えた人は、女性が男性を上回っている。
前回調査との比較では、「ある」は12ポイント減少し、「ない」が13.5ポイント増加している。
県との比較ではほぼ1.4ポイントの差が生じた。

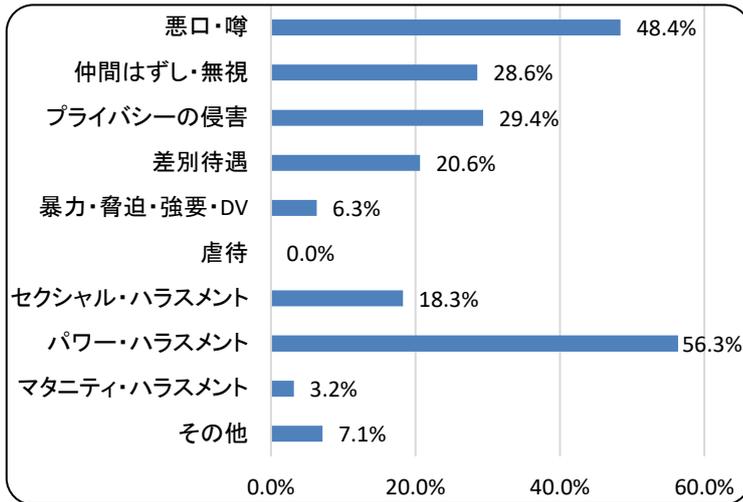
※過去調査との比較



※県との比較

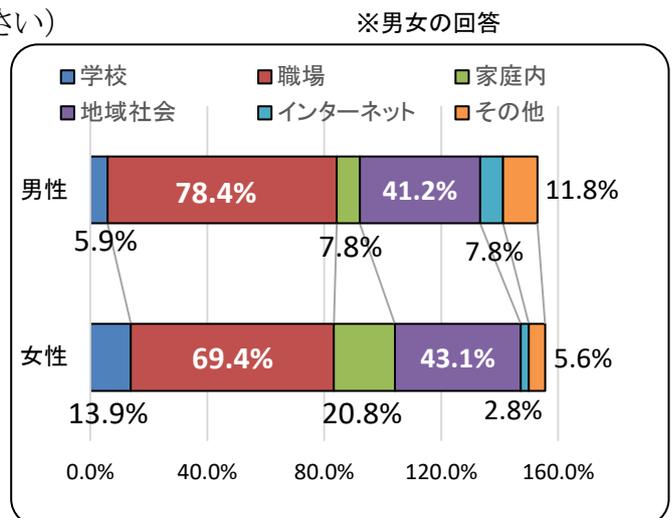
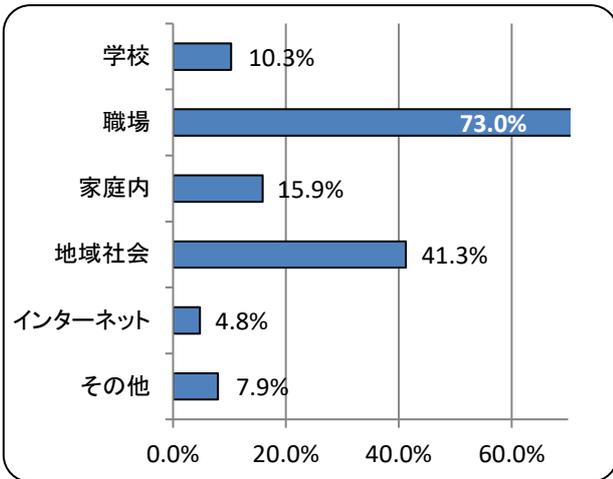


問7 その人権侵害はどのようなものでしたか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

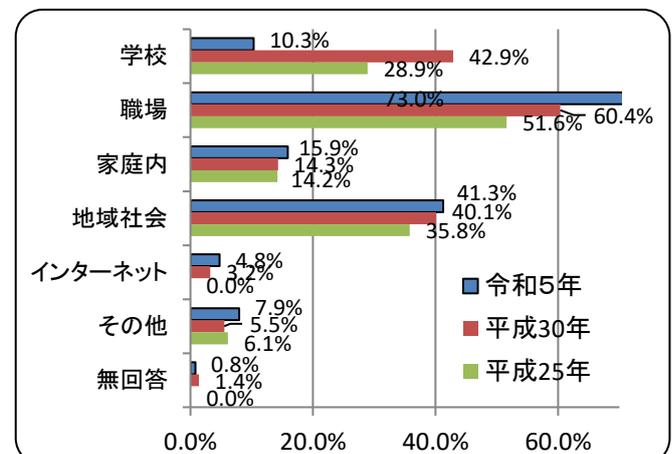
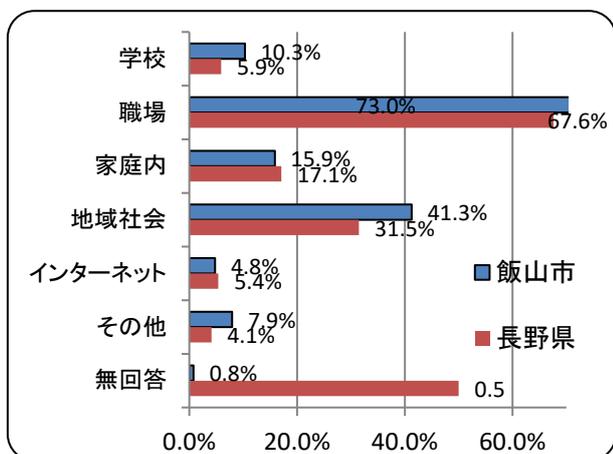


人権侵害の内容は、「パワー・ハラスメント」が56.3%と最も多く、前回トップの「悪口・噂」48.4%を7.9ポイント上回った。以下「プライバシーの侵害」29.4%、「仲間はずし・無視」28.6%などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

問8 その人権侵害はどこでありましたか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)



人権侵害がどこであったかという問では「職場」が最も多く73.0%、次いで「地域社会」41.3%、「学校」10.3%などの順となっている(複数回答)。女性の「家庭内」は前回16.9%より増加し、2割を占めた。

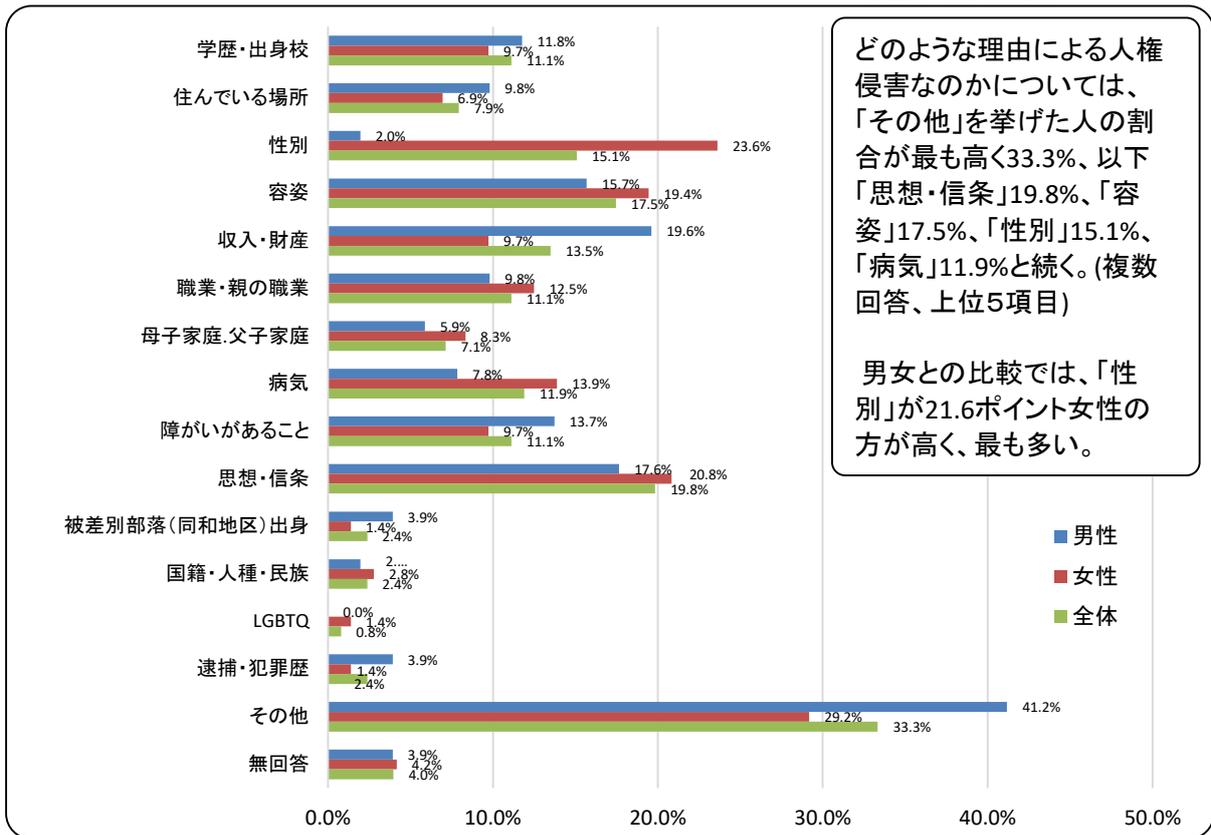


※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施) ※過去2回との比較

職場の割合が県と合わせても高く、ここ数回でも増加傾向である。県の調査でも「学校」の割合は1割程で、飯山市では前回に比べて減少した(前は30代40代に多かったが今回は少なかった)。

問9 それは、どのような理由による人権侵害ですか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答

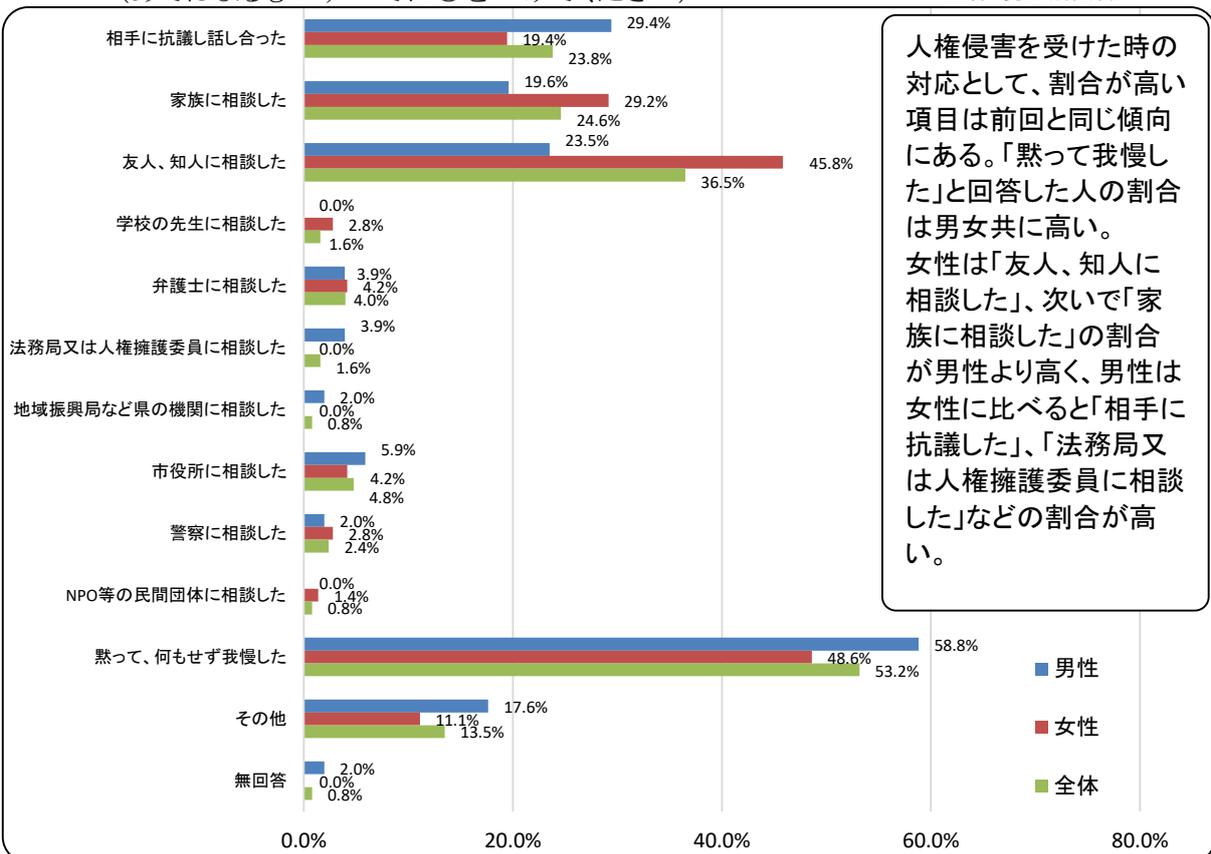


どのような理由による人権侵害なのかについては、「その他」を挙げた人の割合が最も高く33.3%、以下「思想・信条」19.8%、「容姿」17.5%、「性別」15.1%、「病気」11.9%と続く。(複数回答、上位5項目)

男女との比較では、「性別」が21.6ポイント女性の方が高く、最も多い。

問10 人権侵害を受けときあなたはどのように対応しましたか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



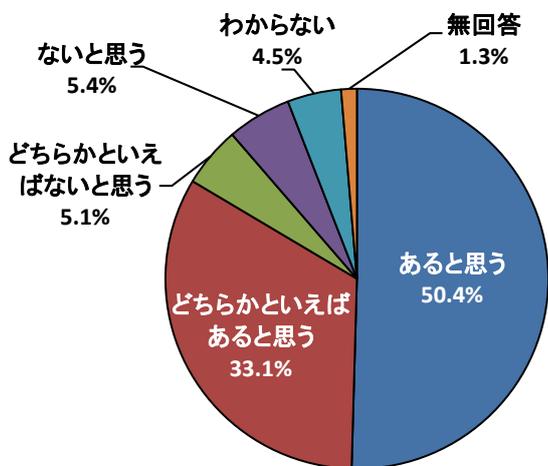
人権侵害を受けた時の対応として、割合が高い項目は前回と同じ傾向にある。「黙って我慢した」と回答した人の割合は男女共に高い。女性は「友人、知人に相談した」、次いで「家族に相談した」の割合が男性より高く、男性は女性に比べると「相手に抗議した」、「法務局又は人権擁護委員に相談した」などの割合が高い。

Ⅲ 主な人権課題に関する意識について

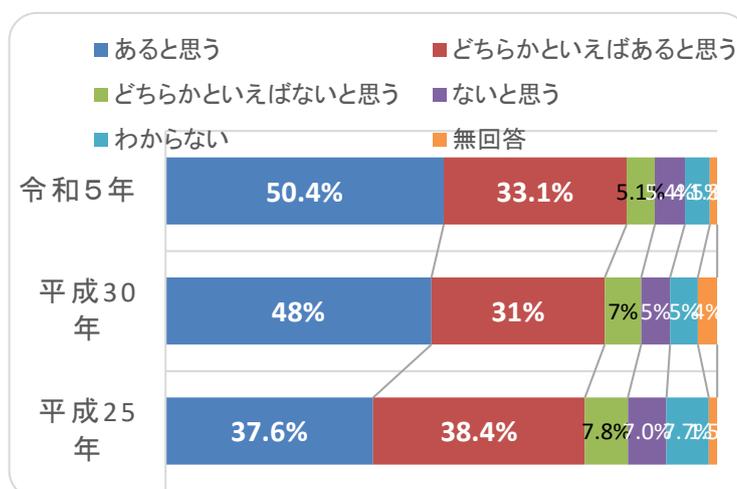
問11 あなたは、社会で女性に対する差別・偏見はありますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答



※過去調査との比較



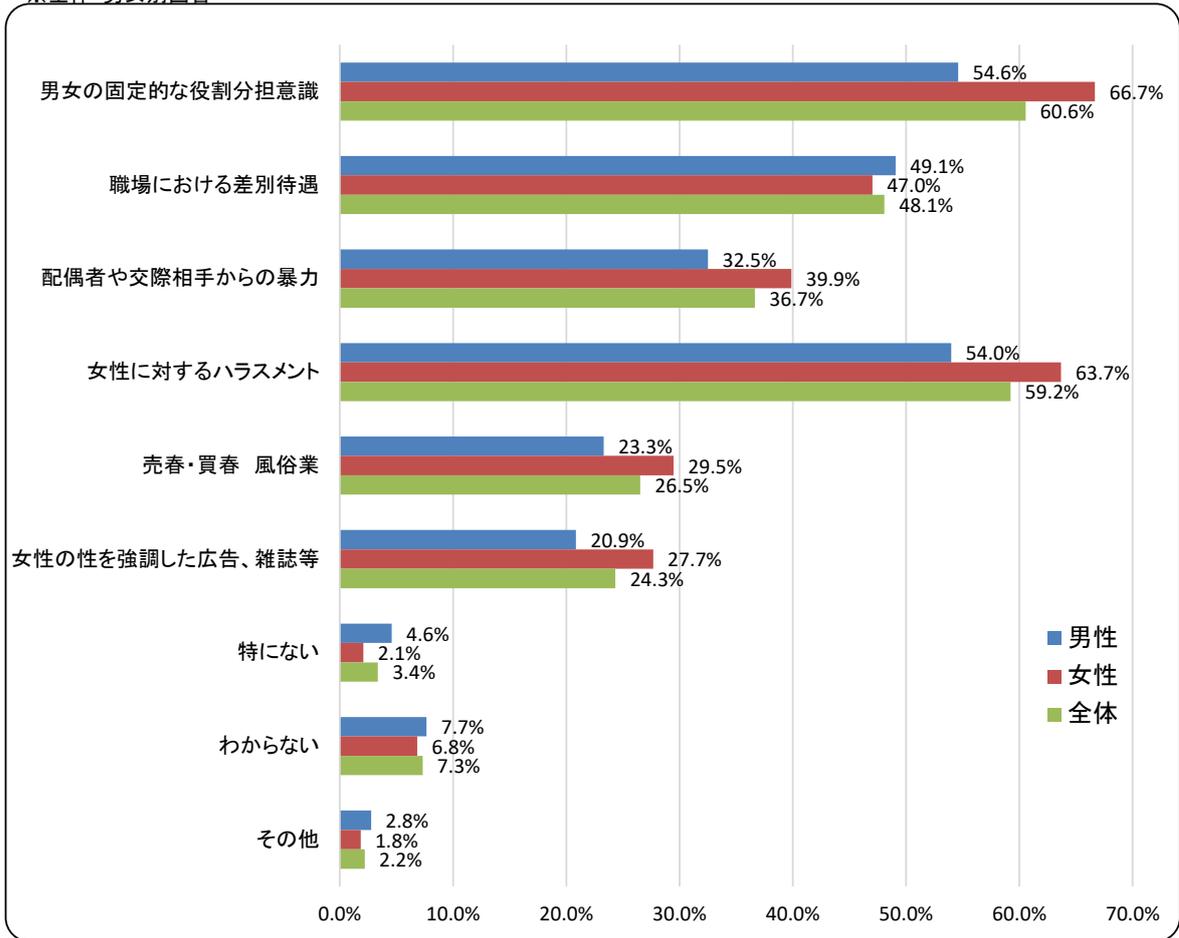
※男女別・年代別



女性に対する差別・偏見については、「ある」が50.4%、「どちらかといえばある」が33.1%で両方あわせて8割強の人が「ある」と回答している。調査ごとに増加しており、前回の調査と比較すると、4.5ポイント高くなっている。

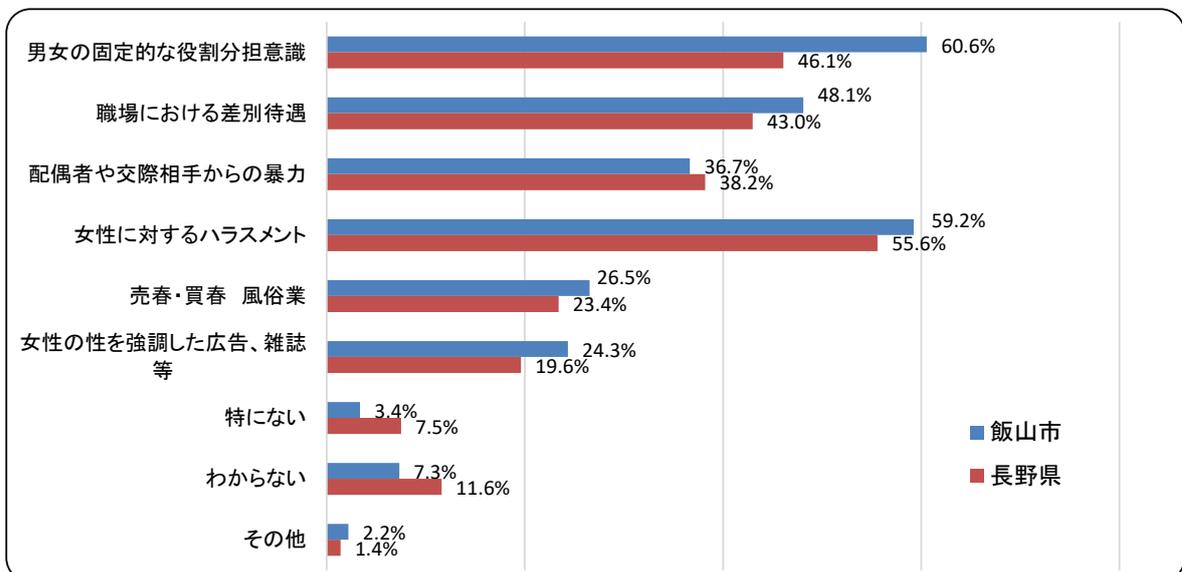
問12 あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



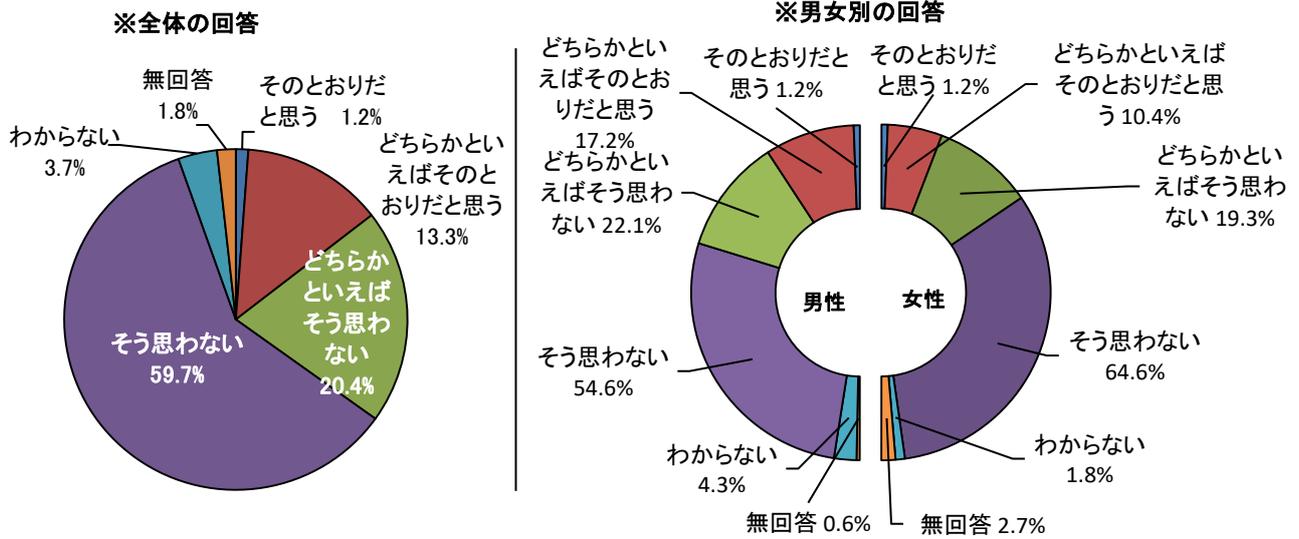
女性に関して起きている人権問題については、「男女の固定的な役割分担意識」が最も高く60.6%、以下「女性に対するハラスメント」59.2%、「職場における差別待遇」48.1%、「配偶者や交際相手からの暴力」36.7%などの順となっている(複数回答、上位4項目)。男女別に見ると「固定的な役割」「ハラスメント」では10ポイントの開きがある。他にも5ポイント程度の開きがあるものもあり、男女の認識の差が見てとれる。

※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)

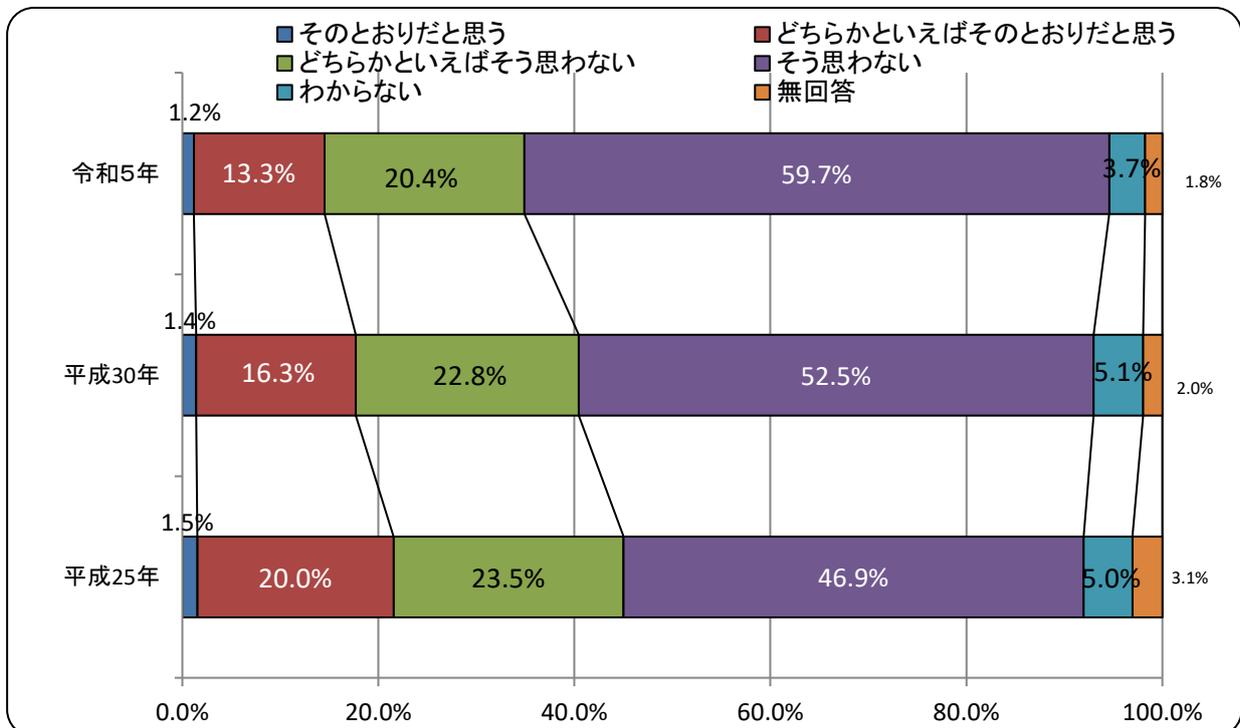


「特にない」「わからない」以外は飯山市の割合が県の割合を上回っている。特に「固定的な役割意識」については14ポイントの開きがみられる。

問13 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考えについてどう思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)



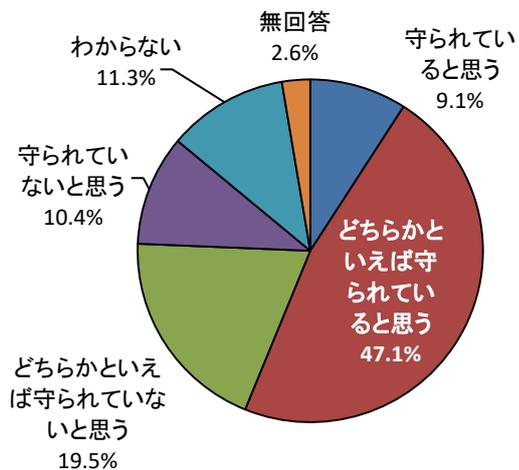
※過去調査との比較



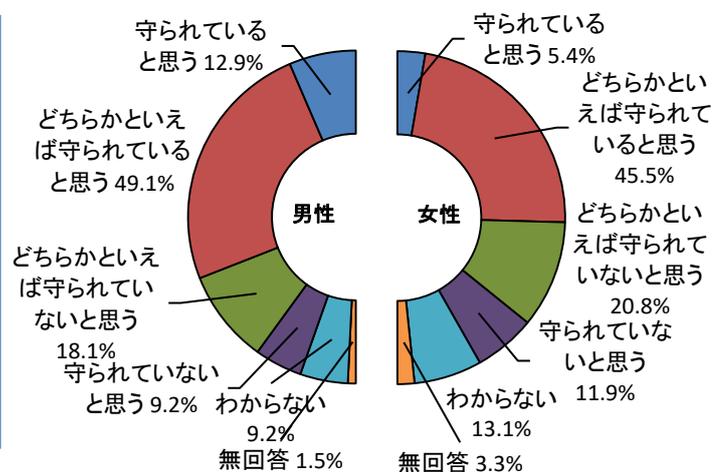
「男は仕事、女は家庭」という考え方については「そう思わない」59.7%、「どちらかといえばそう思わない」20.4%で、両方あわせると80.1%の人は「男は仕事、女は家庭」という考え方はないと答えている。男女別の回答では女性は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人が男性より高い。前回との比較では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人が4.8ポイント増加している(前々回に比せば約10%増)。「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそのとおりだと思う」と答えた人が3.2ポイント減少している。

問14 あなたは、社会で子どもの人権が守られていると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

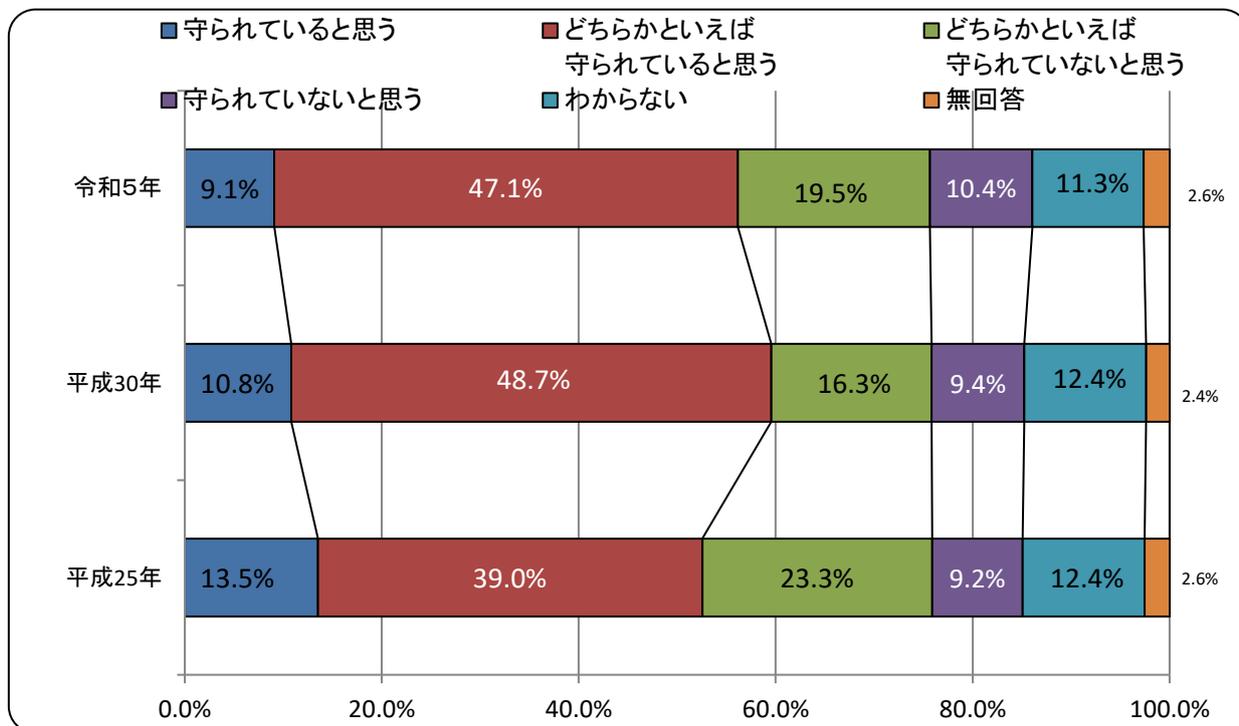
※全体の回答



※男女別回答



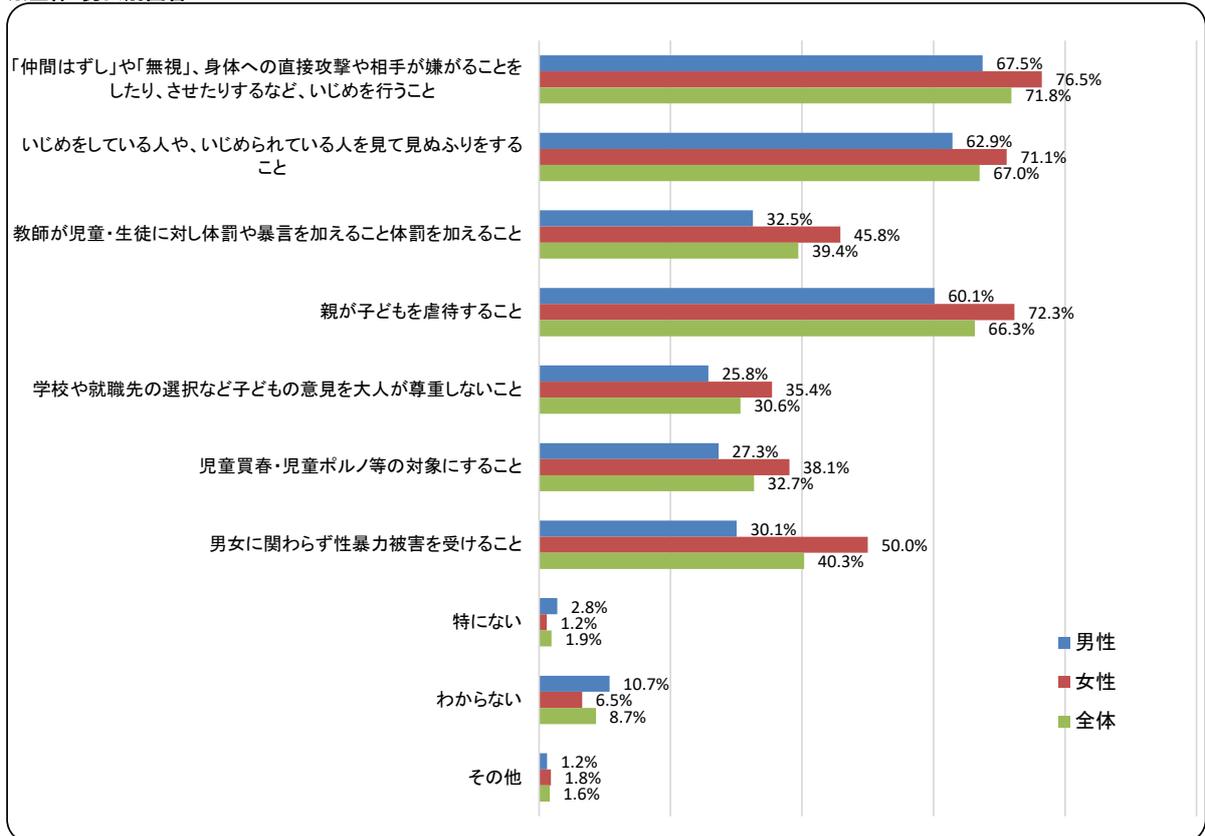
※過去調査との比較



子どもの人権が守られているかとの問いについては、「守られている」9.1%「どちらかといえば守られている」47.1%で、両方あわせると56.2%の人が「守られている」と答えている。女性は男性より「守られていない」と答えた人が多い。前回との比較では、「守られている」「どちらかといえば守られている」と答えた人が3.3ポイント減少している。「守られていない」「どちらかといえば守られていない」は4.2ポイント増加している。

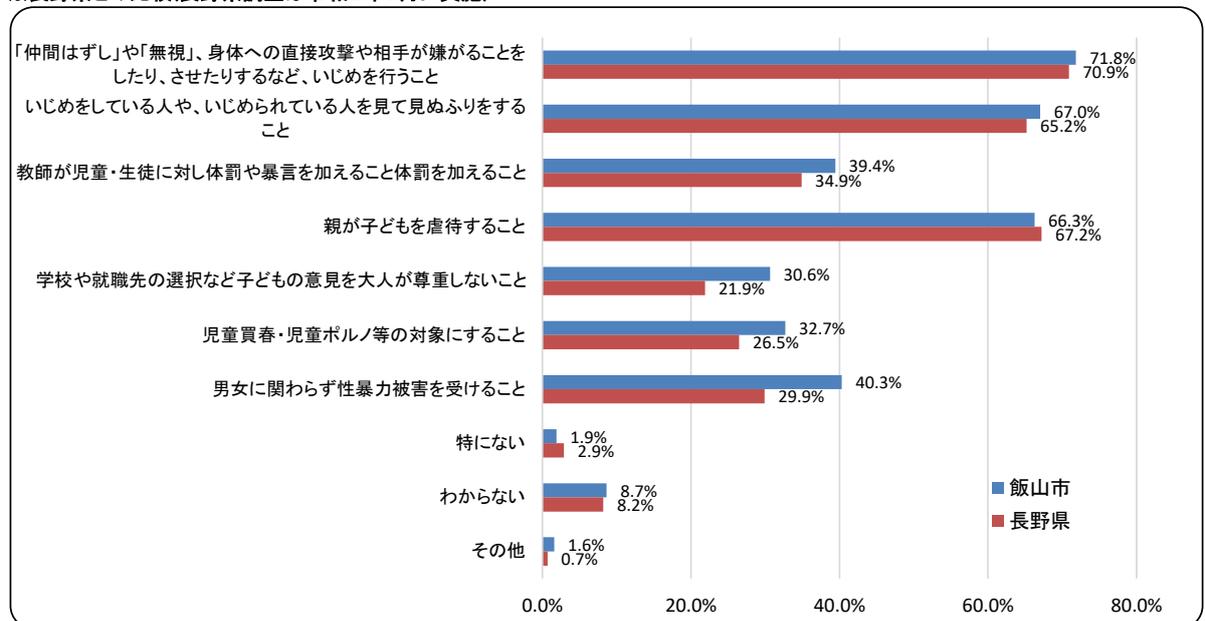
問15 あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



子どもに関して起きている人権問題については、『「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと』を挙げた人の割合が71.8%と最も高く、以下、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」67.0%、「親が子どもを虐待すること」66.3%、「男女に関わらず性暴力被害を受けること」40.3%などの順となっている。(複数回答、上位4項目) 女性の選択した割合が全部の設問において男性より高く、性被害については約20ポイントの差がある。

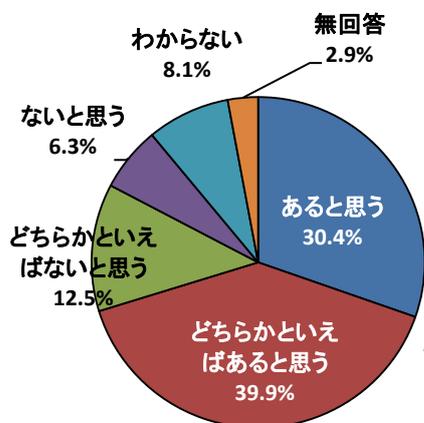
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



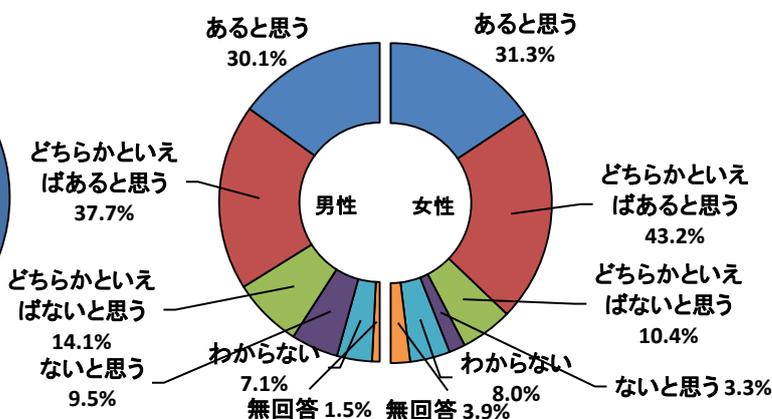
性被害等について、飯山市が県を上回っている。「尊重しないこと」についても問題と感じている割合が県を上回った。ポイントの高い問題については、ほぼ県の様子と同様の割合となっている。

問16 あなたは、社会で高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

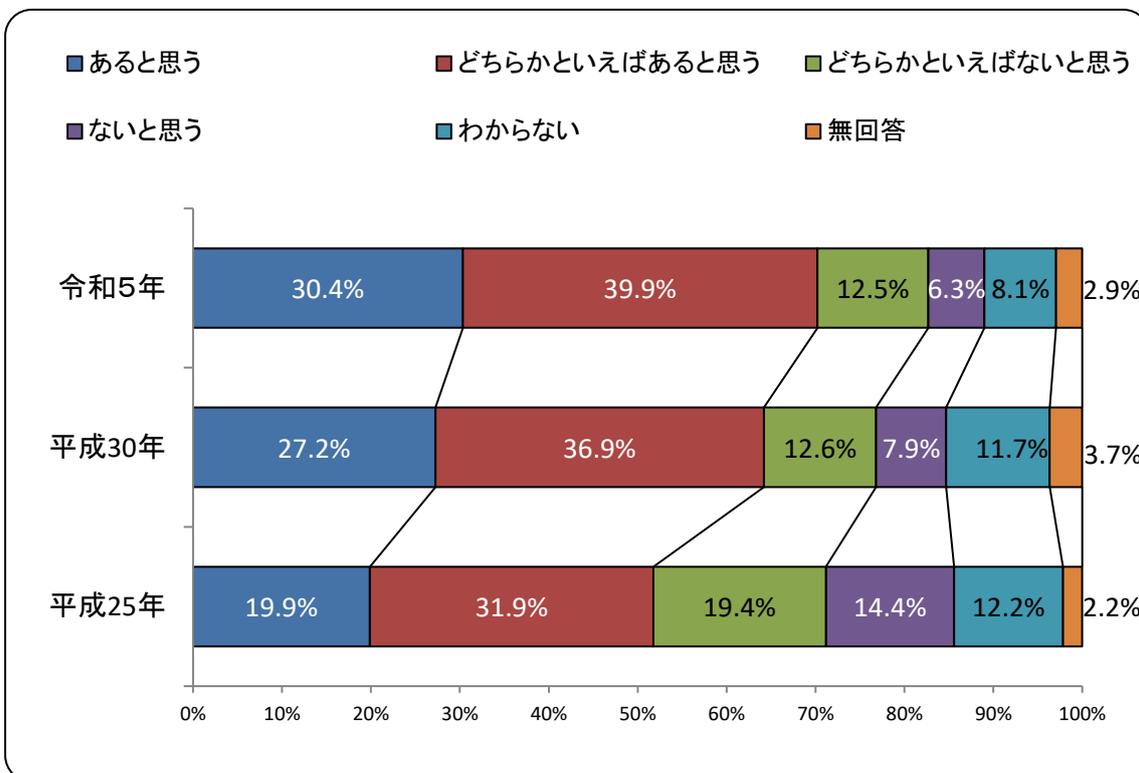
※全体の回答



※男女別



※過去調査との比較

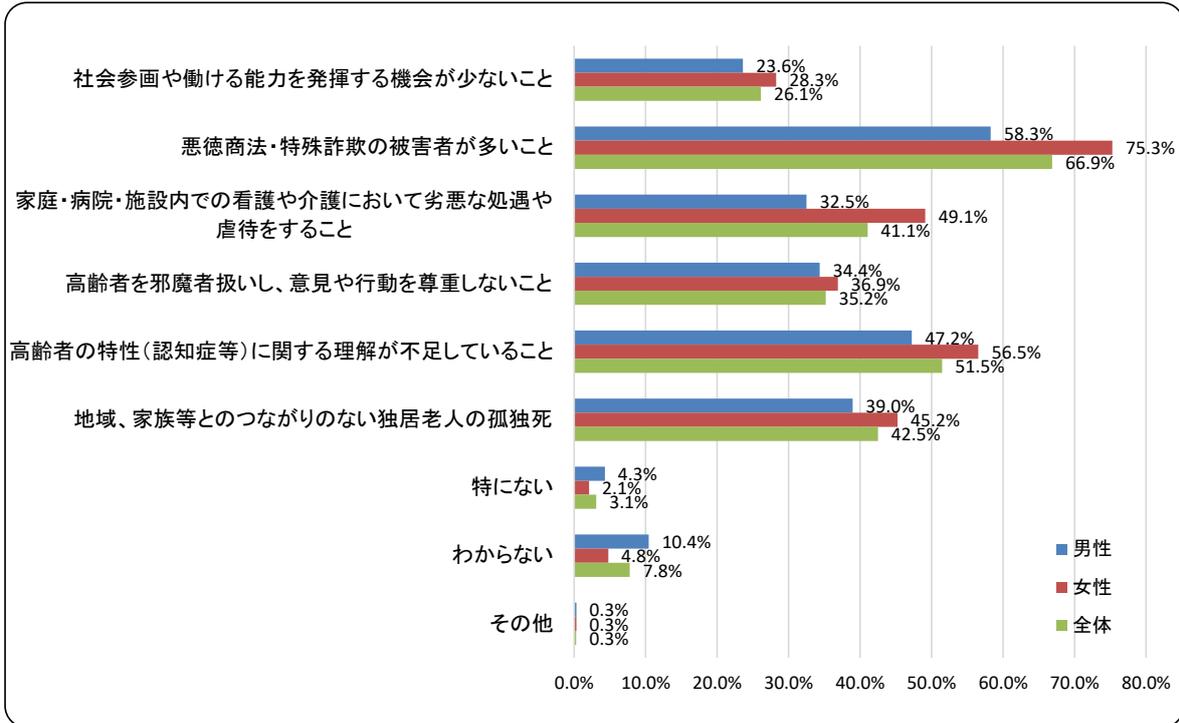


高齢者に対する差別・偏見については「ある」30.4%、「どちらかといえばある」39.9%で両方あわせると70.3%の人が「ある」と回答している。男女別の回答では男性は67.8%、女性は74.5%で女性の割合が高い。また、前回の調査と比較すると、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」が6.2ポイント増加し、「ないと思う」「どちらかといえばないと思う」は1.3ポイントの減少となった。

問17 あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

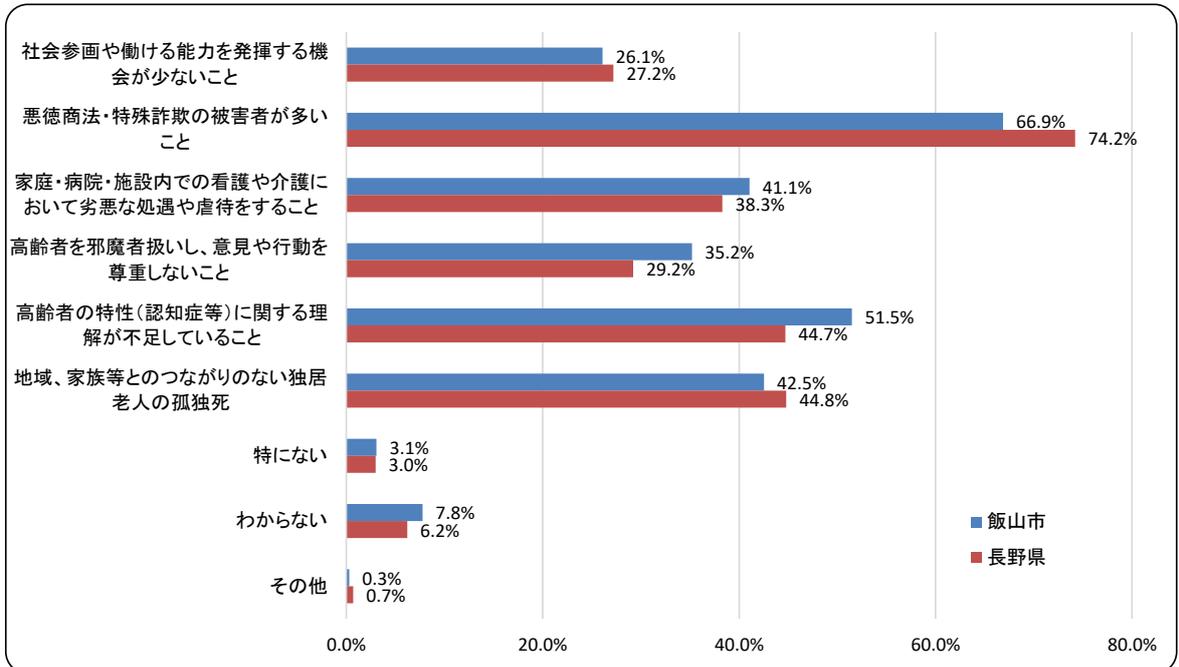
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



高齢者に関して起きている人権問題については、「悪徳商法・特殊詐欺の被害者が多いこと」を挙げた人の割合が66.9%と最も高く、以下「高齢者の特性(認知症等)に関する理解が不足していること」51.5%、「地域、家族等とのつながりのない独居老人の孤独死」42.5%、「家庭・病院・施設内での看護や介護において劣悪な処遇や虐待をすること」41.1%の順となっている。男女別の回答では「特にない」「わからない」以外の割合が全ての設問において、女性が男性より高くなっている。

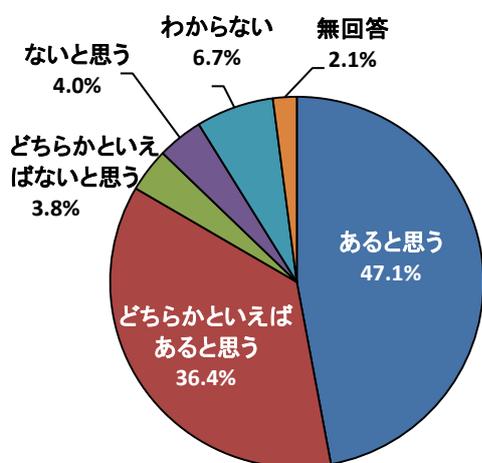
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



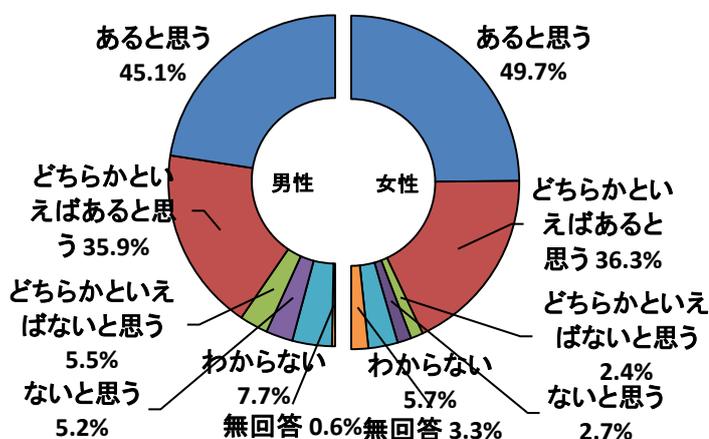
長野県との比較では「特性の理解」「尊重しない」「虐待をすること」が県を上回っている。一方、「特殊詐欺」は7.3ポイント、「独居老人孤独死」は2.3ポイント長野県より低い。

問18 あなたは、社会で障がいのある人に対する差別・偏見があると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

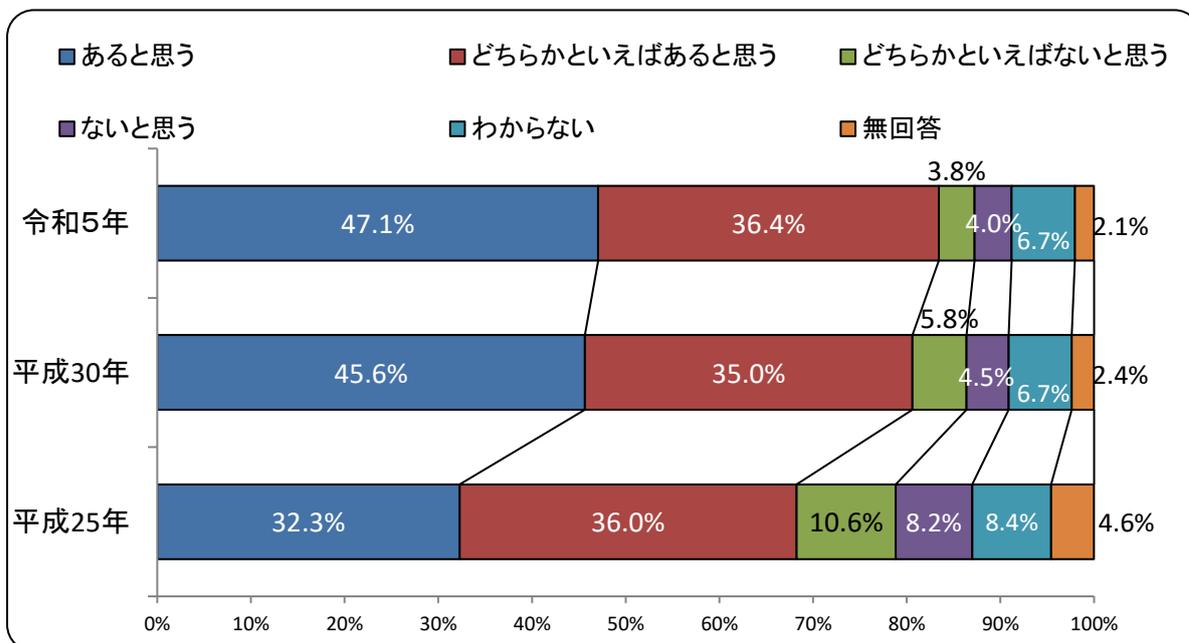
※全体の回答



※男女別



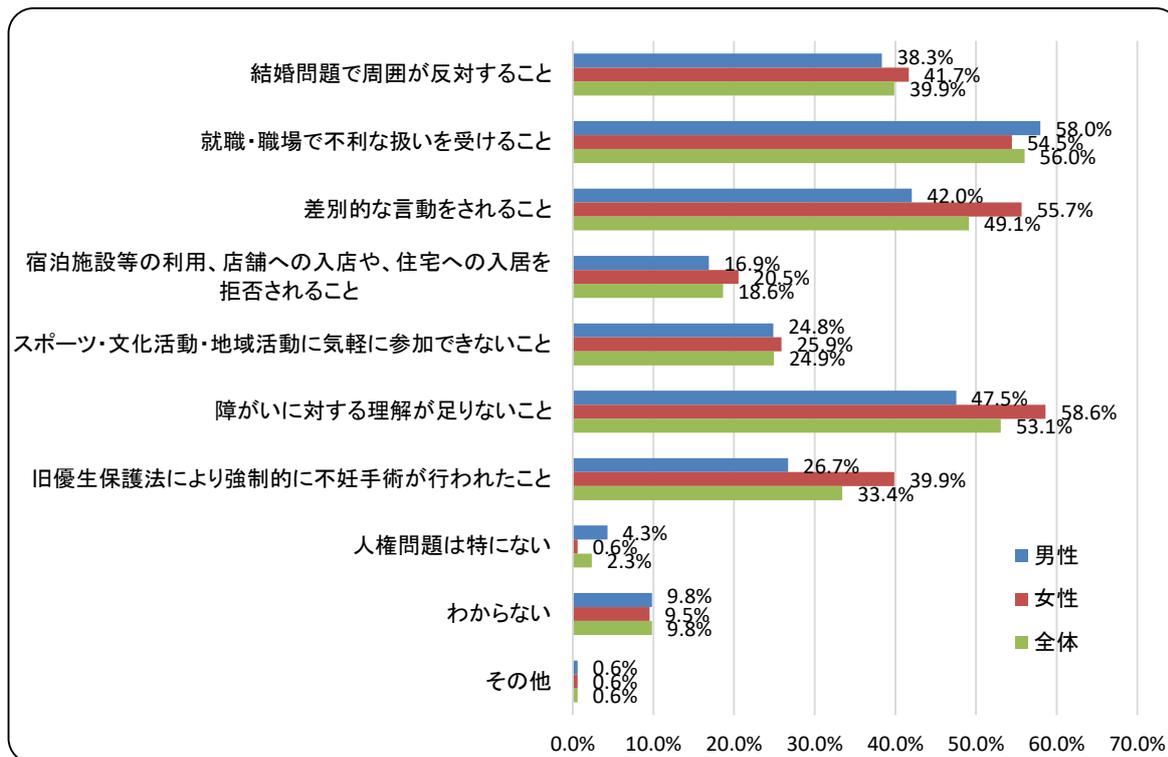
※過去調査との比較



障がいのある人に対する差別・偏見については「ある」47.1%、「どちらかといえばある」36.4%で、両方あわせると83.5%の人が「ある」と答えている。男女別の回答では「ある」「どちらかといえばある」と答えた女性の割合は5ポイント高くなっている。前回調査と比較すると、「あると思う」が1.5ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」は1.4ポイント増加し、両方あわせて2.9ポイント増加している。

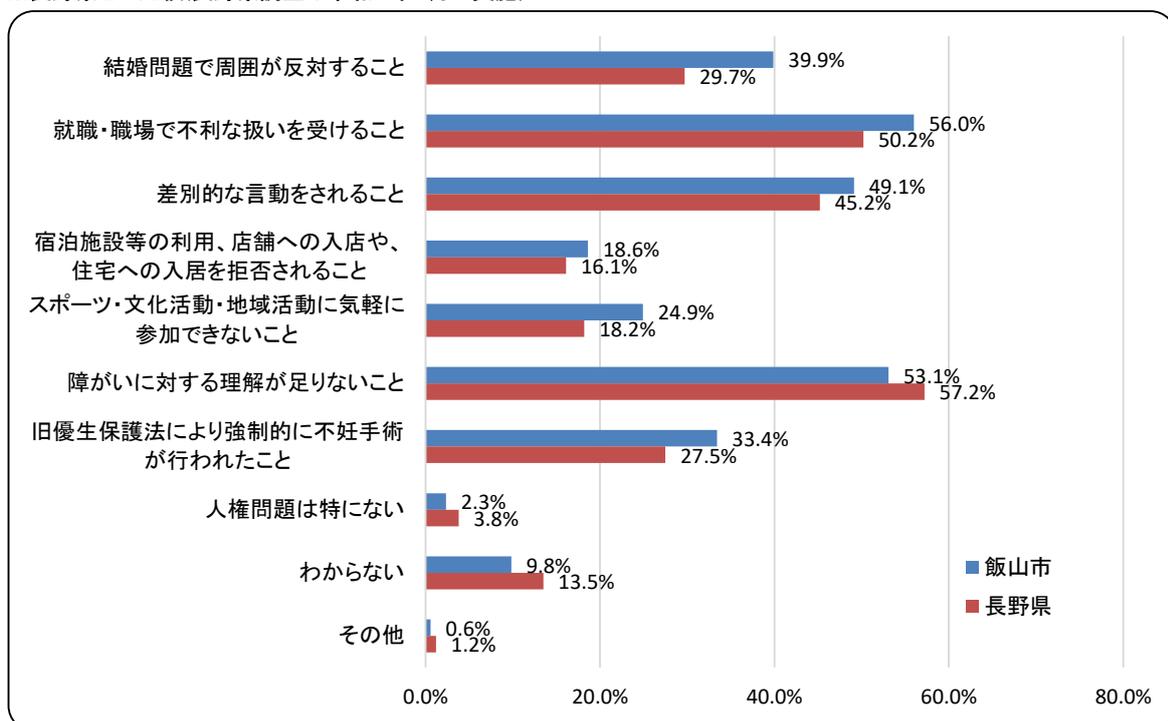
問19 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



障がい者に関して起きている人権問題については、「就職・職場で不利な扱いをすること」を挙げた人の割合が56.0%と最も高く、以下「障がいに対する理解が足りないこと」53.1%、「差別的な言動をされること」49.1%の順となっている。男女別で見ると、「差別的な言動」「不妊手術」「理解が足りない」において男女の差が10ポイント以上ついていて認識の違いがみられる。

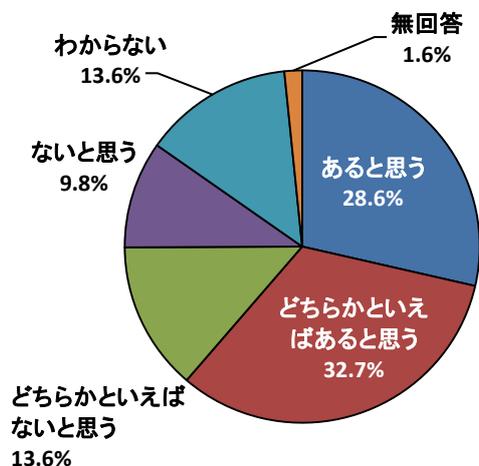
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



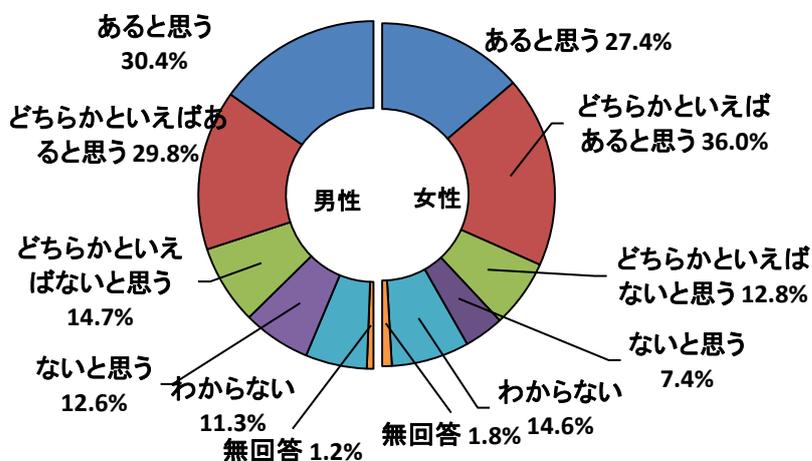
長野県との比較では「結婚問題」が10.2ポイント、「就職・職場で不利な扱い」が5.8ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「障がいに対する理解が足りないこと」は4.1ポイント長野県より低い。

問20 あなたは、日本に居住している外国人に対する差別・偏見があると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

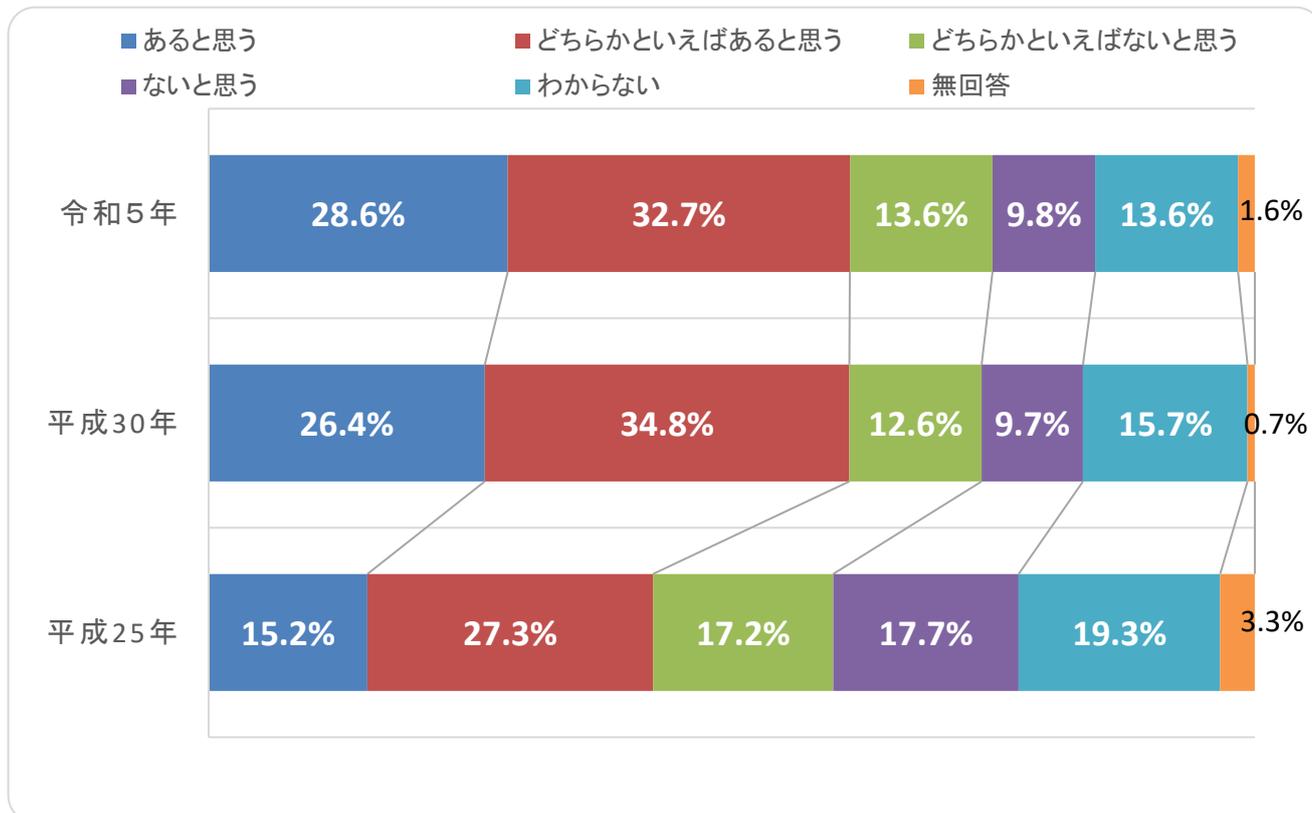
※全体の回答



※男女別



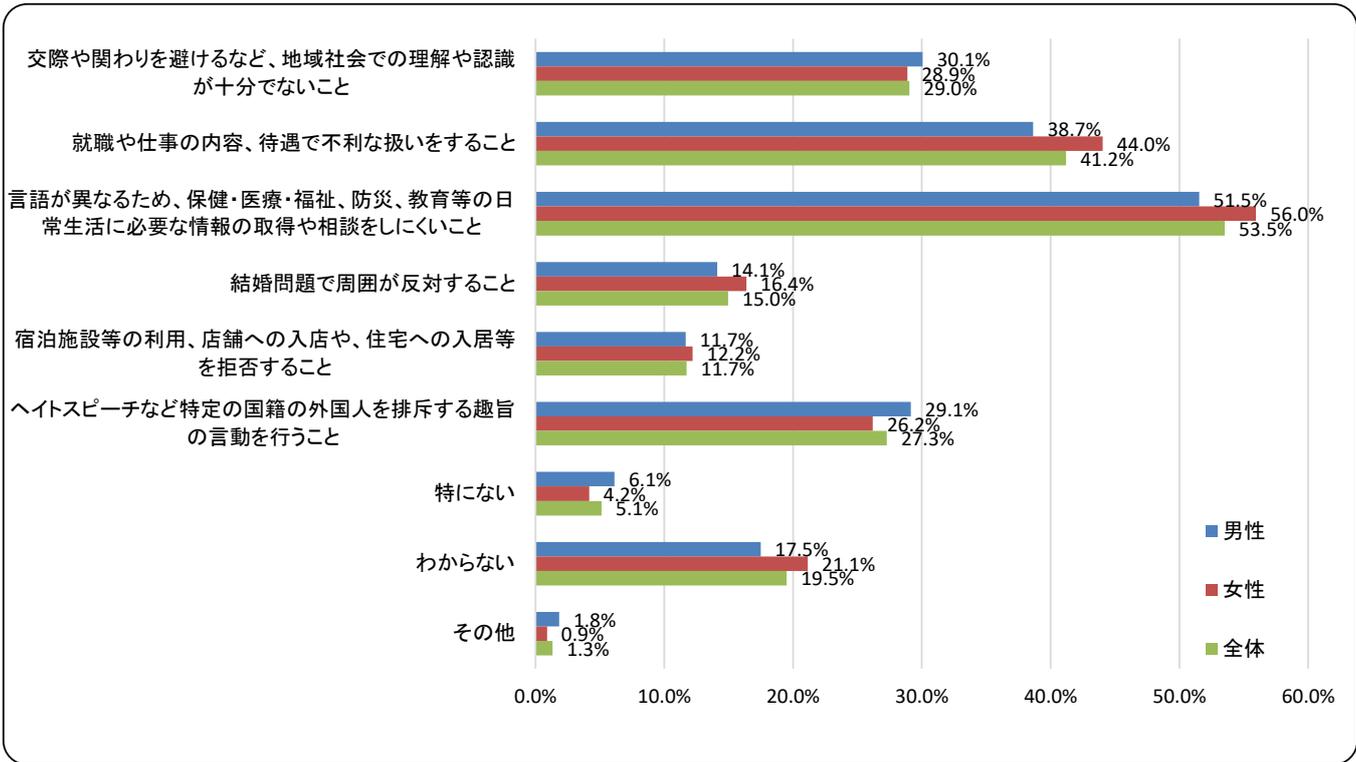
※過去調査との比較



外国人に対する差別・偏見については「ある」28.6%、「どちらかといえばある」32.7%で、両方あわせると61.3%が「ある」と答えている。前回調査と比較すると、「あると思う」が2.2ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」は2.1ポイント減少し、合計するとほぼ前回と同等になっている。

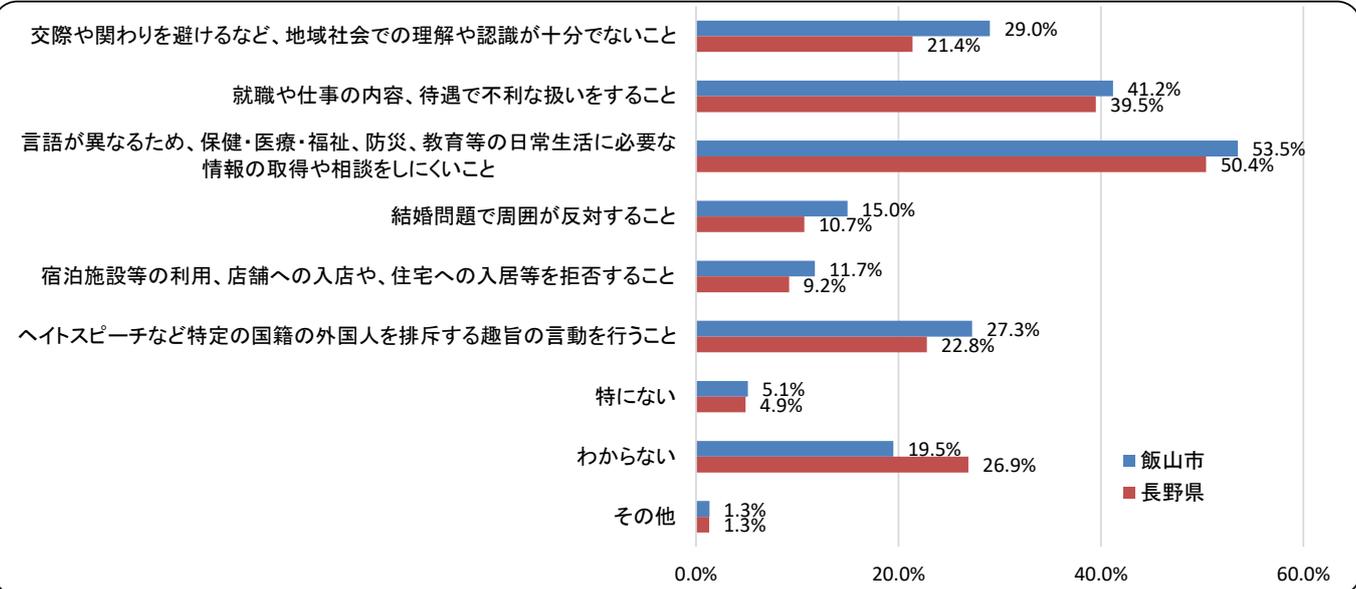
問21 あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



外国人に起きている人権問題については、「必要な情報の取得や相談をしにくいこと」を挙げた人の割合が53.5%と最も高く、以下、「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること」41.2%、「交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと」29.0%の順となっている。(複数回答、上位3項目) 男女別に見ると、「交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと」、「ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を行うこと」を挙げた男性の割合が女性よりやや高く、「必要な情報の取得や相談をしにくいこと」「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること」を挙げた女性の割合が男性より高くなっている。

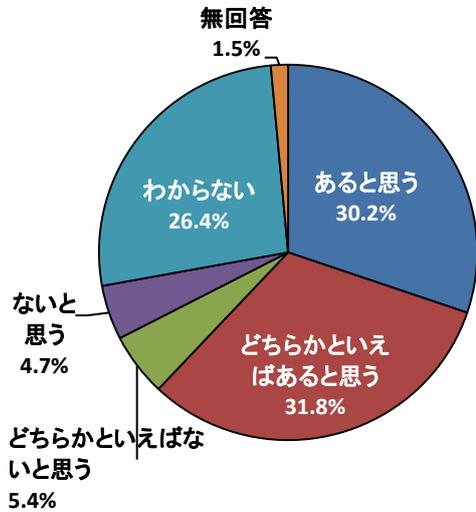
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



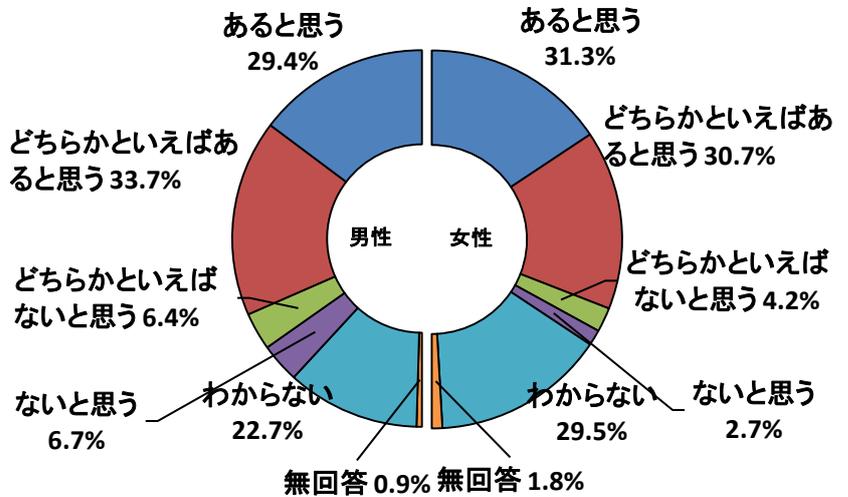
長野県との比較では「地域社会の理解」が7.6ポイント、「ヘイトスピーチ」が4.5ポイントそれぞれ高くなっている。全体として「わからない」以外は、長野県より高い。

問22 あなたは、HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。(ひとつだけ○をつけてください)

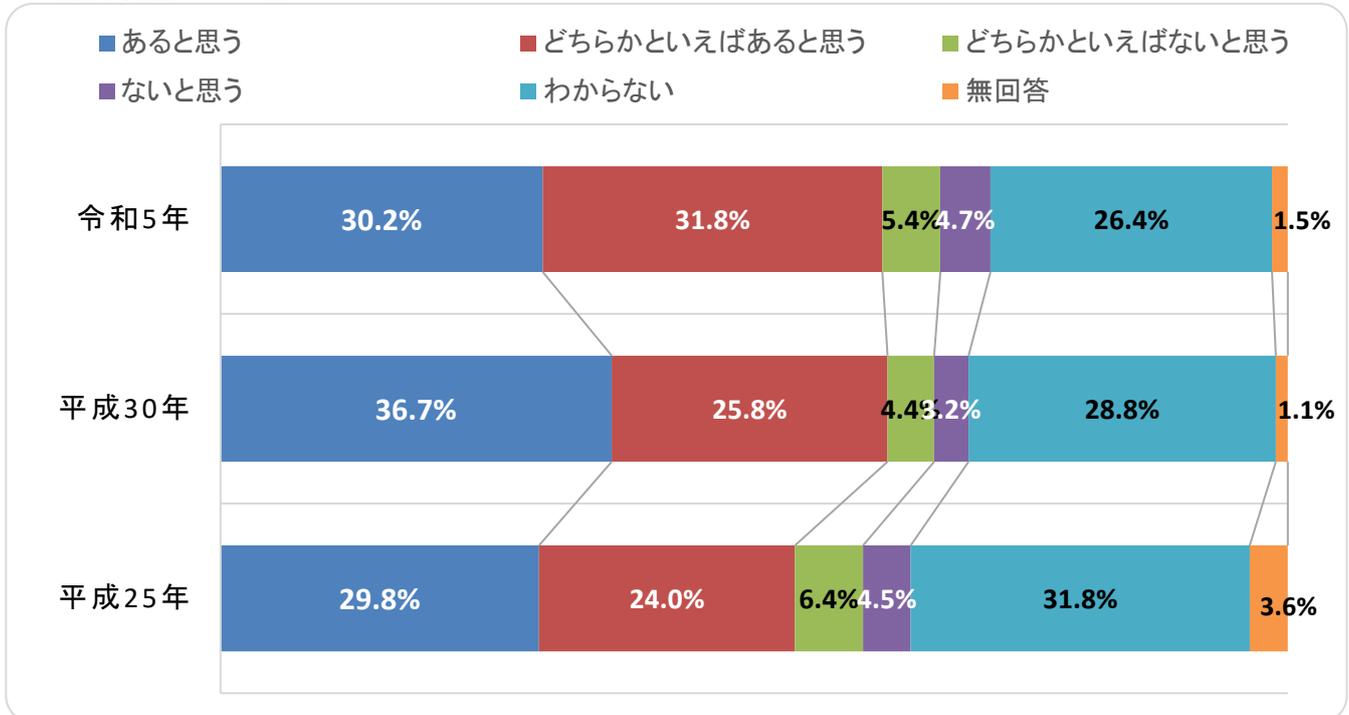
※全体の回答



※男女別



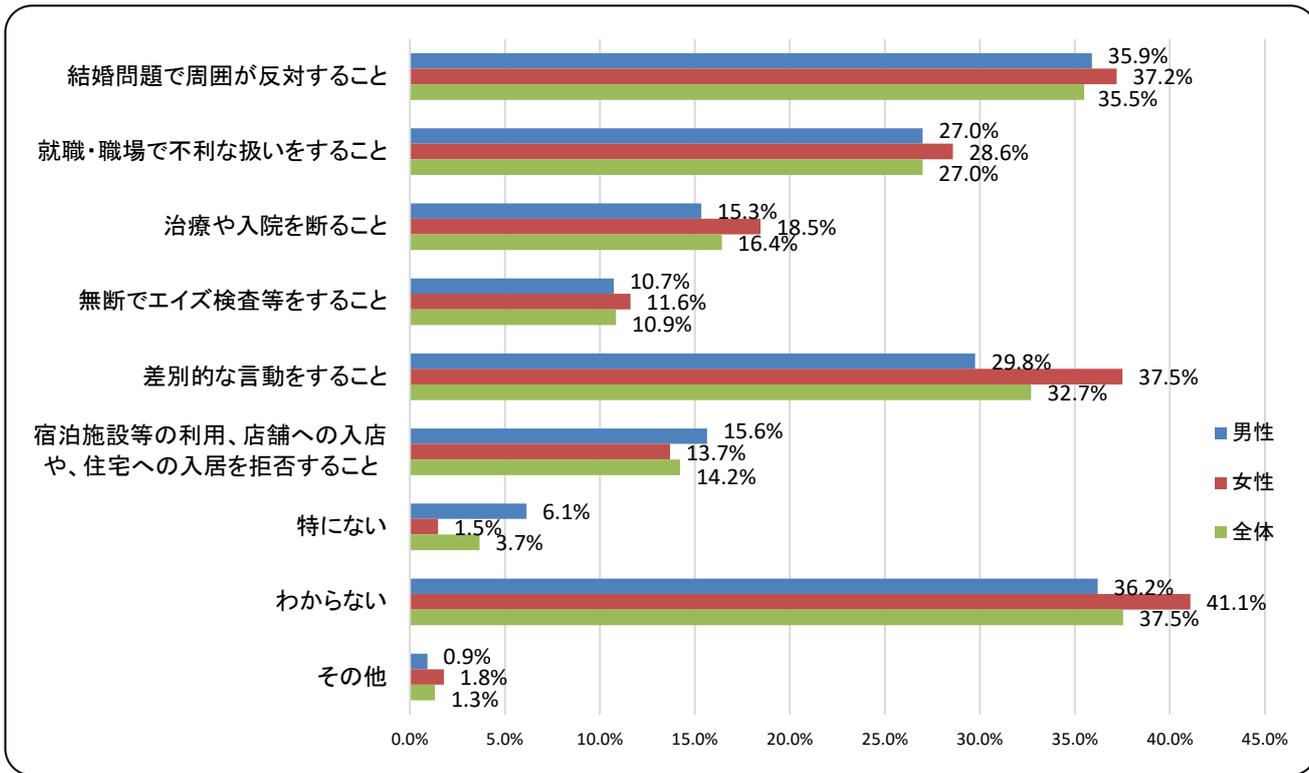
※過去調査との比較



HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に対する差別・偏見については「ある」30.2%、「どちらかといえばある」31.8%で、両方あわせると62.0%の人が「ある」と回答している。また26.4%の人が「わからない」と回答している。前回調査と比較すると、「あると思う」が6.5ポイント減少、「どちらかといえばあると思う」が6.0ポイント増加し、合計すると0.5ポイント減少している。

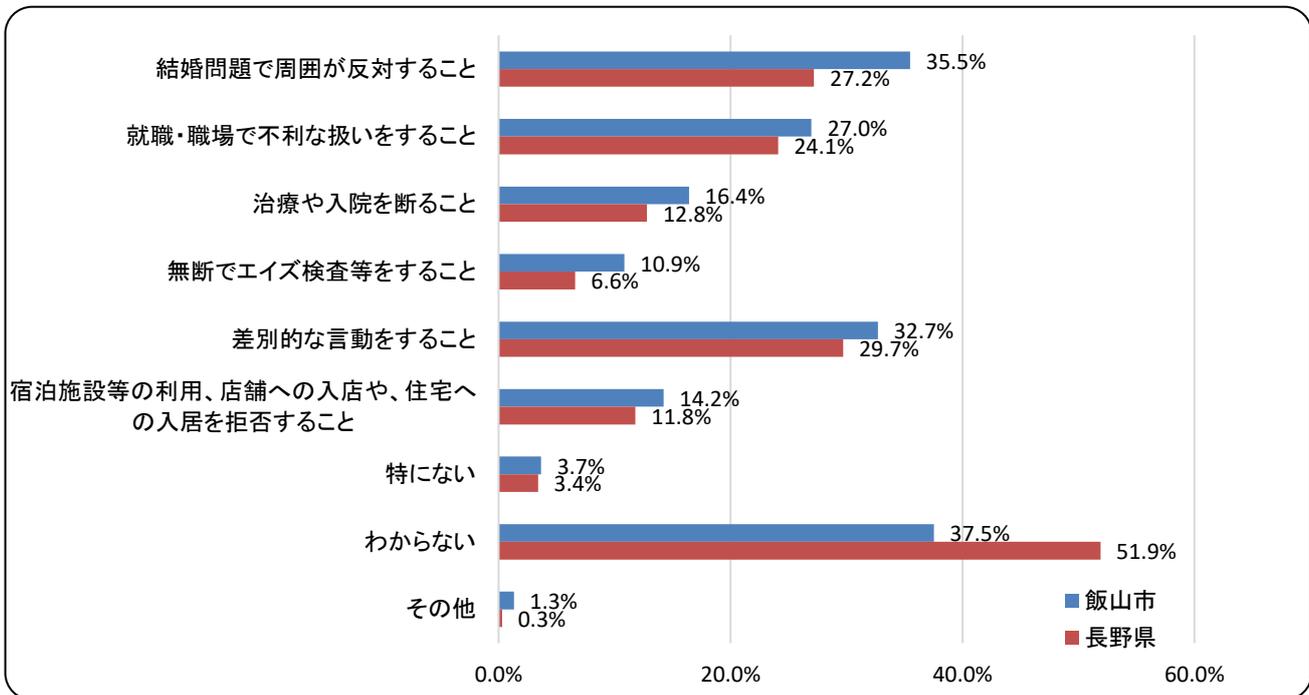
問23 あなたは、HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に起きている人権問題については、「わからない」が37.5%で最も高くなった。以下、「結婚問題」が35.5%、「差別的な言動をすること」が32.7%、「就職・職場で不利な扱いをすること」27.0%と続く。

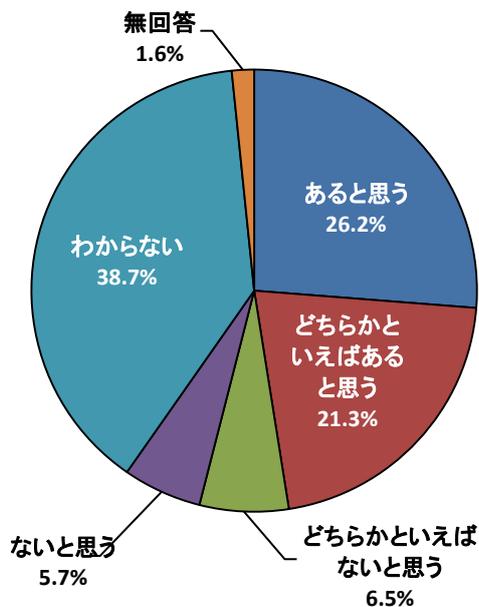
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



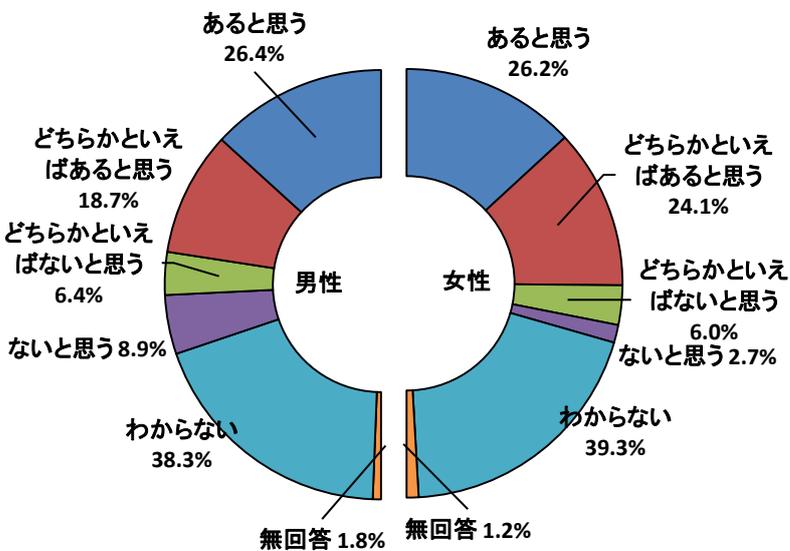
長野県でも「わからない」が高かった。飯山市は、県に比べれば14.4ポイント低い。他は「結婚問題」の8.3ポイントをはじめとして、全体的に県より高くなっている。

問24 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

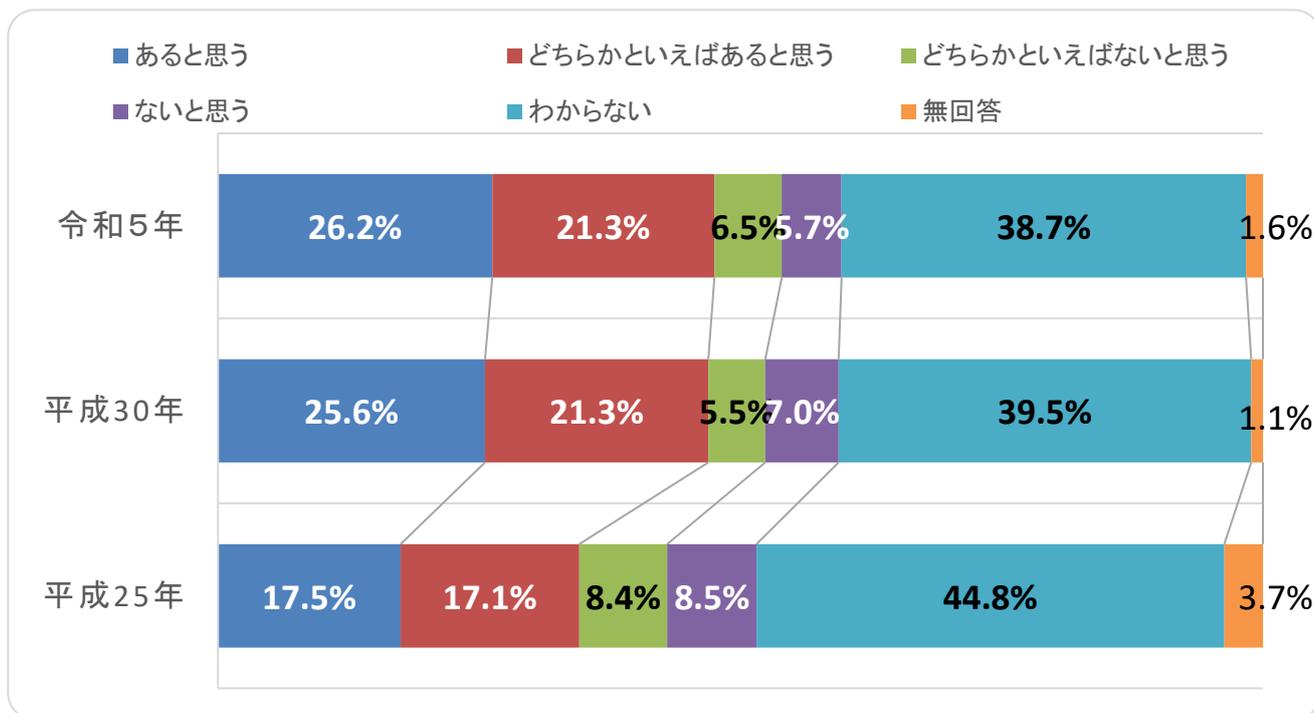
※全体の回答



※男女別



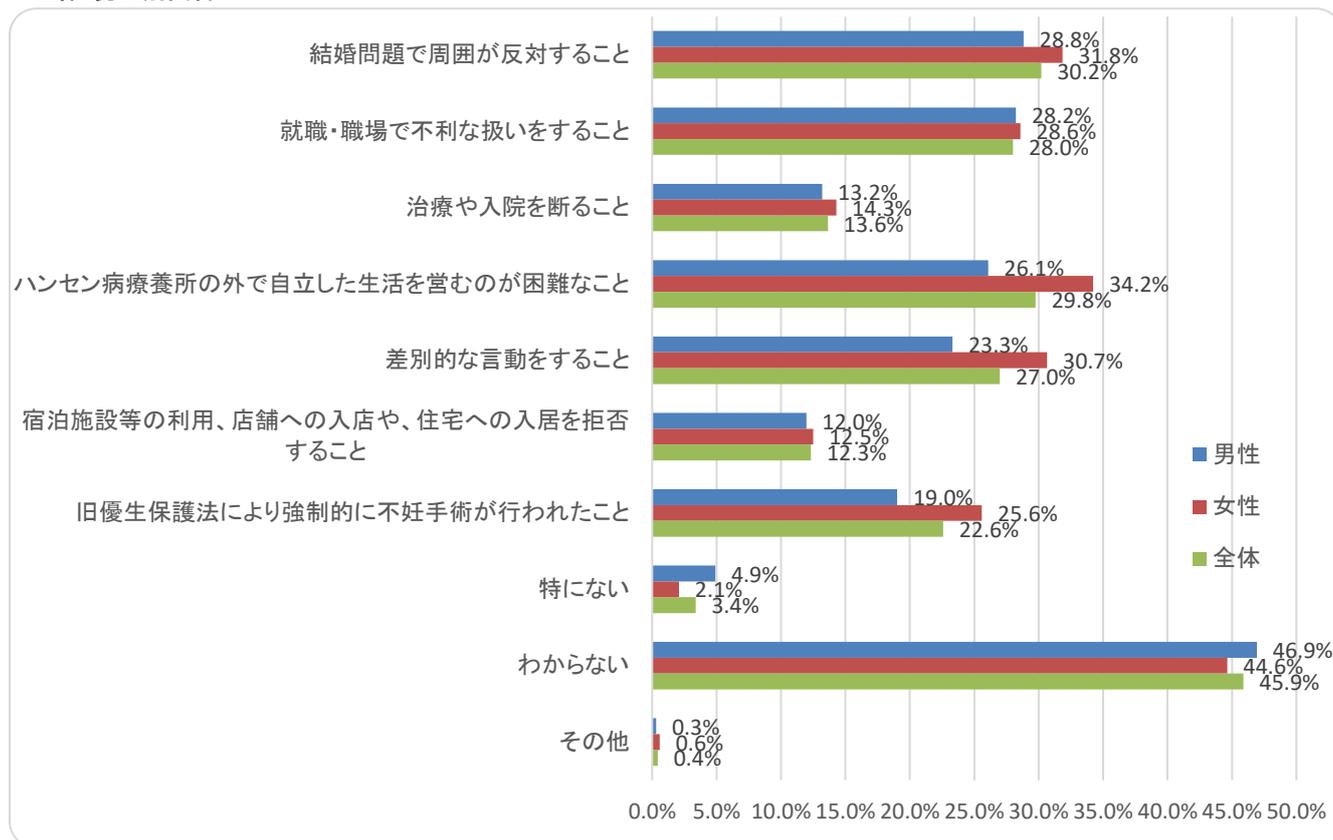
※過去調査との比較



ハンセン病患者・元患者等に対する差別・偏見については、38.7%が「わからない」と回答している。「ある」26.2%、「どちらかといえばある」21.3%で、両方あわせると47.5%の人は「ある」と答えている。前回調査と比較すると、「あると思う」が0.6ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」は変わらず、合計すると0.6ポイントの増加になる。

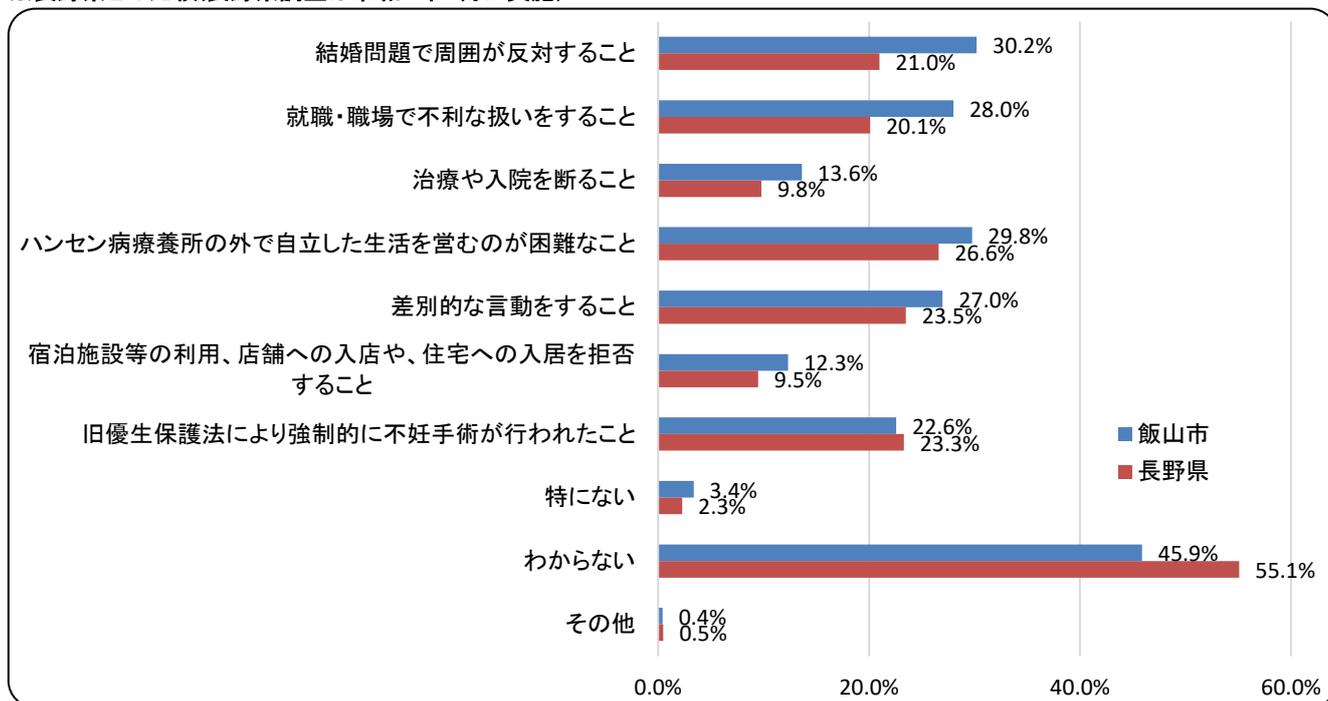
問25 現在どのような面にハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



差別・偏見のある場面については、「わからない」が45.9%と最も高く、以下「結婚問題で周囲が反対すること」30.2%、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」29.8%等の順となっている。

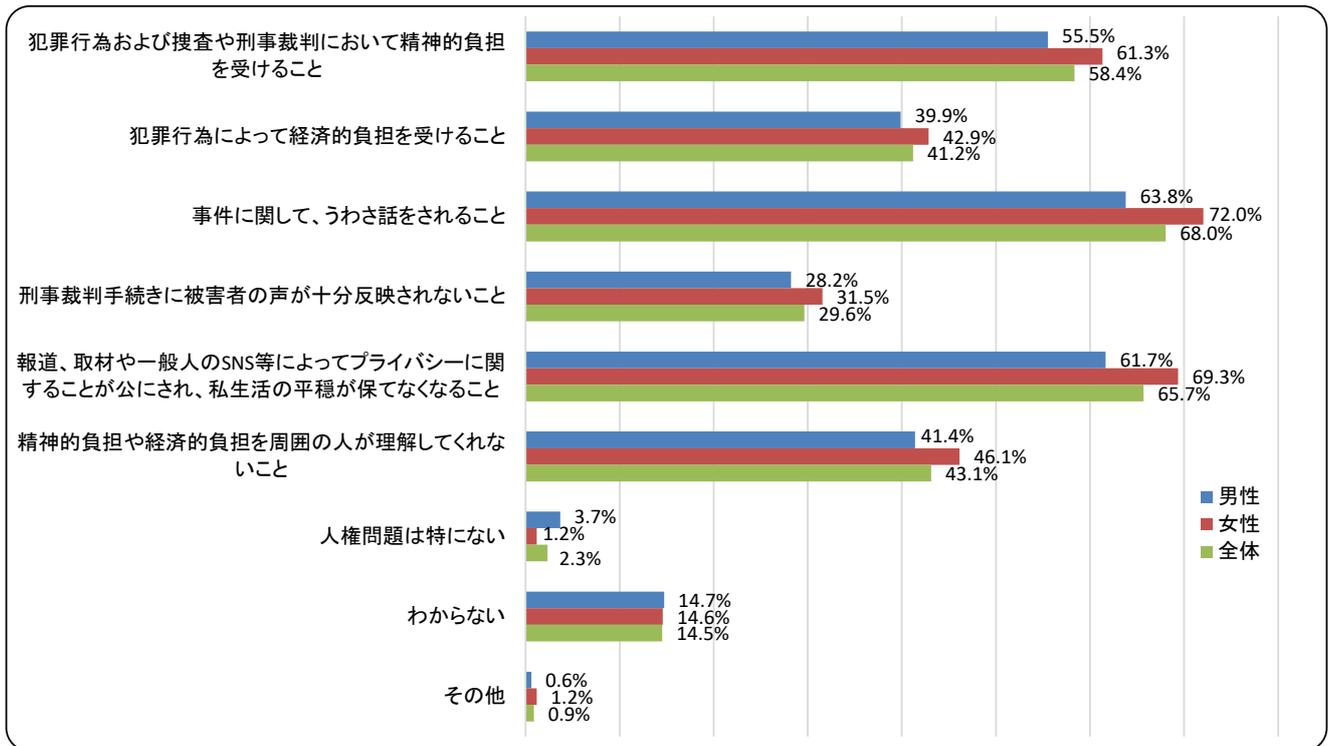
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



長野県でも「わからない」が高い。飯山市は県に比べれば9.2ポイント低い。他は「結婚問題」の9.2ポイントをはじめとして、全体的に県より高くなっている。

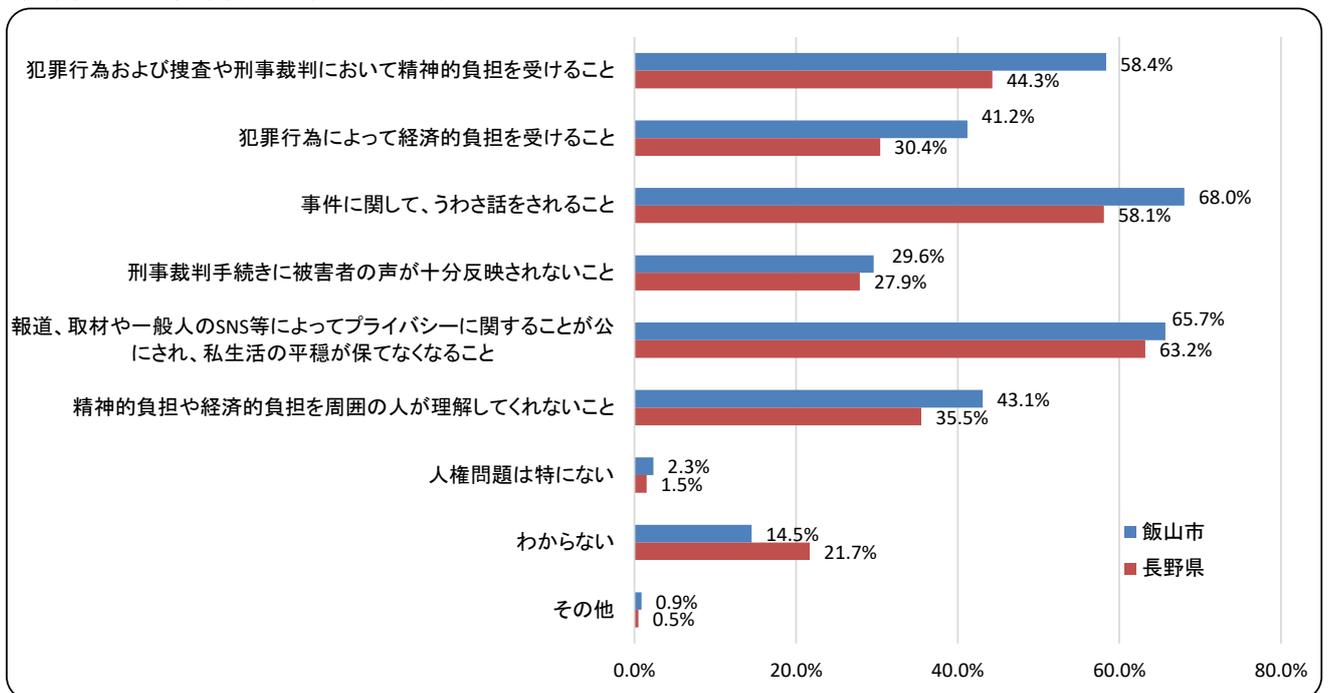
問26 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



犯罪被害者やその家族に関する人権問題として、「事件に関して、周囲にうわさ話をされること」を挙げた人が68.0%と最も高く、以下、「報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することが公にされ、私生活の平穏が保てなくなる」65.7%、「犯罪行為および捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」58.4%、の順となっている。全体的に女性が男性を上回っている。

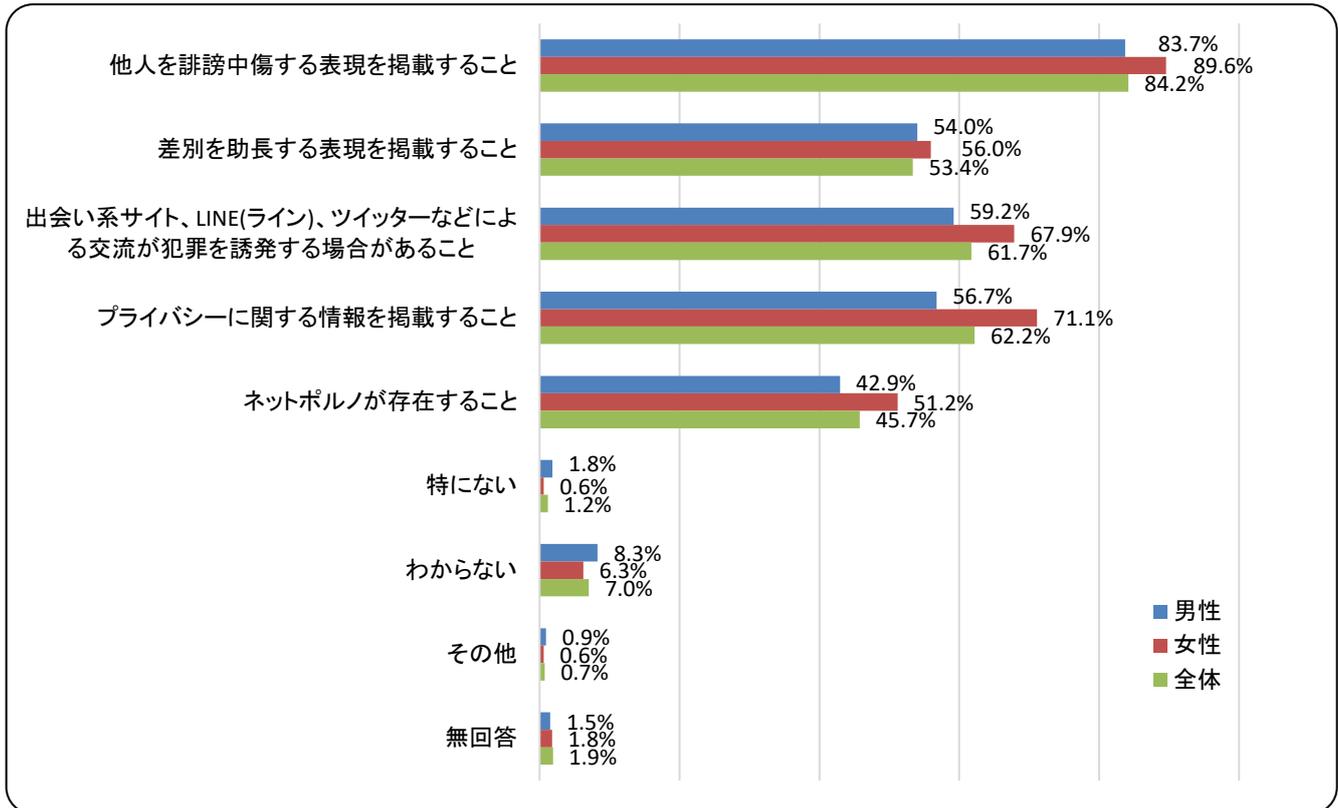
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



長野県との比較では「精神的負担」で14.1ポイント飯山市が上回っているのをはじめとして、全体的に県より高くなっている。

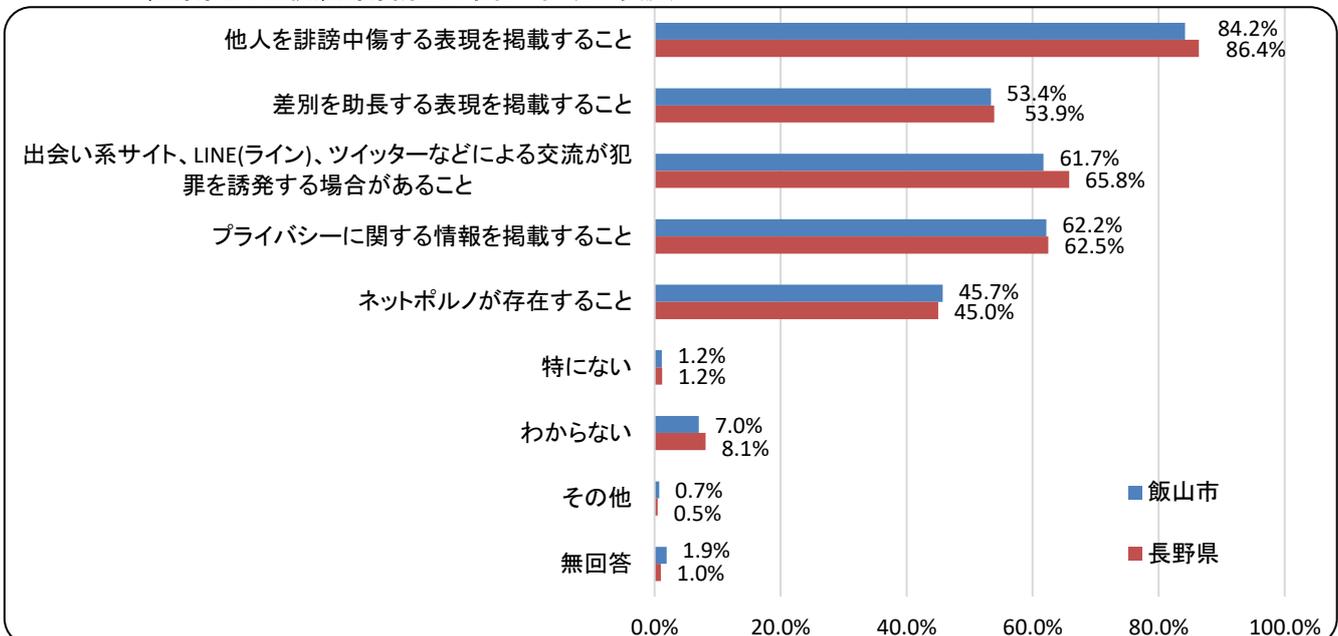
問27 あなたは、SNSをはじめとしたインターネットに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

※全体・男女別回答



インターネットによる人権侵害に関する問題として「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」を挙げた人の割合が84.2%と最も高く、以下、「プライバシーに関すること」62.2%、「犯罪の誘発」61.7%、「差別を助長する表現を掲載すること」53.4%、「ネットポルノの存在」45.7%の順となっている。また、女性はこの設問についての割合が男性より高くなっている。

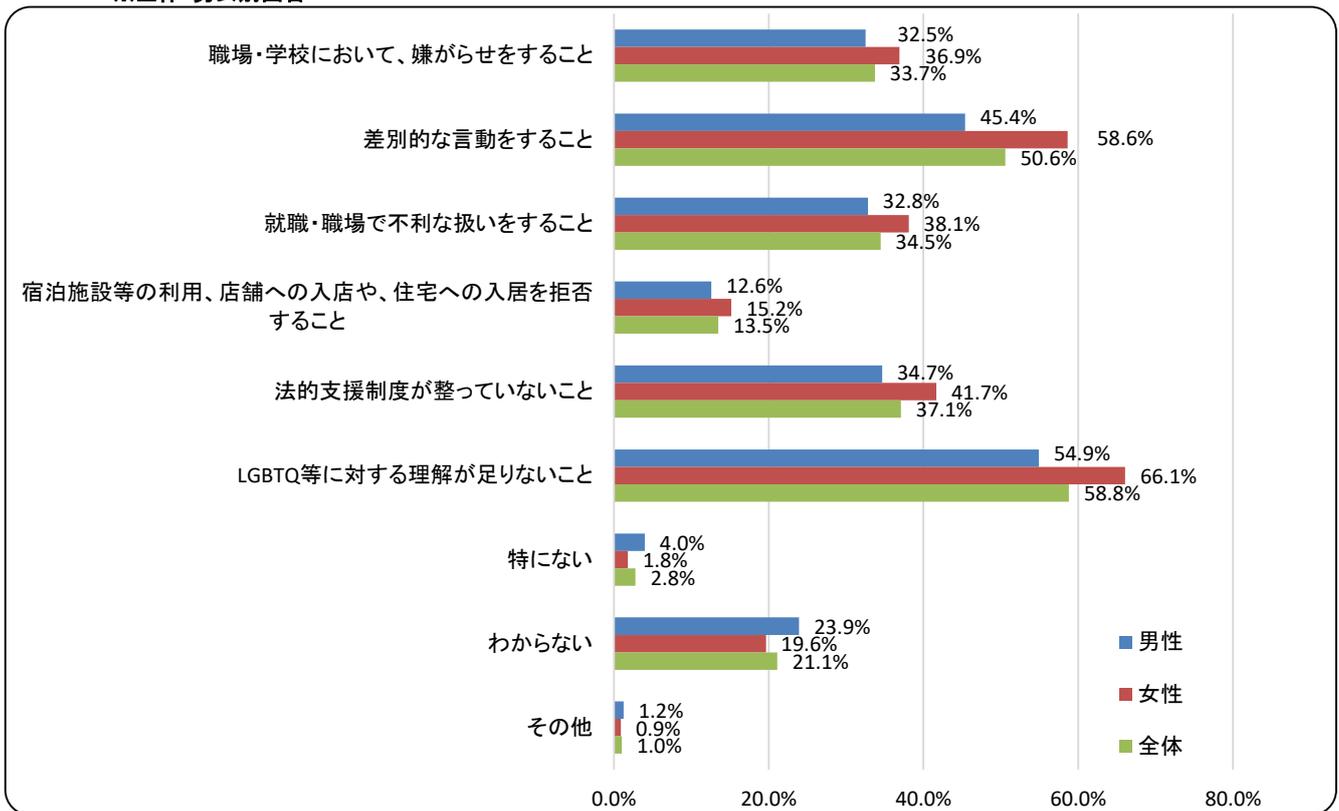
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



長野県との比較では、インターネットに関しては傾向は県と同じだが、全体的に飯山市がわずかずポイントが低い。

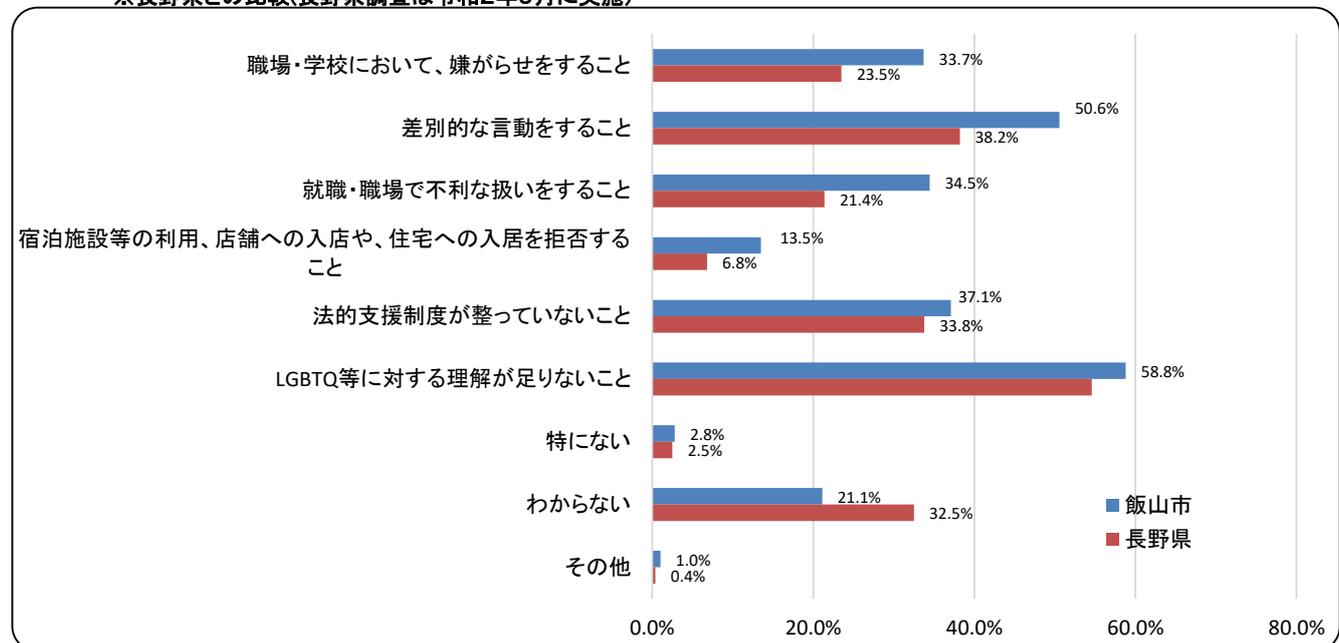
問28 あなたはLGBTQ等の性的少数者の方々に、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

※全体・男女別回答



LGBTQ等の性的少数者の方々に関する問題として「LGBTQ等に対する理解が足りないこと」を挙げた人の割合が58.8%と最も高く、以下、「差別的な言動をすること」50.6%、「法的支援制度が整っていないこと」37.1%、「わからない」21.1%、「就職・職場で不利な扱いをすること」34.5%、「職場・学校において、嫌がらせをすること」33.7%の順となっている。女性は、これらの設問の割合が男性より高くなっている。

※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)

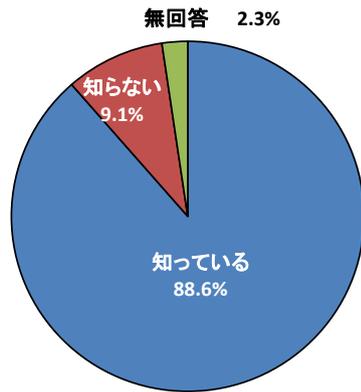


長野県との比較では、10ポイント以上の差で飯山市が上回っているものも含め、全体的に飯山市が、人権問題を感じた割合が高くなっている。

IV 同和問題(部落差別)に関する意識について

問29 あなたは、同和問題(部落差別)を知っていますか。(どちらかに○をつけてください)

※全体の回答

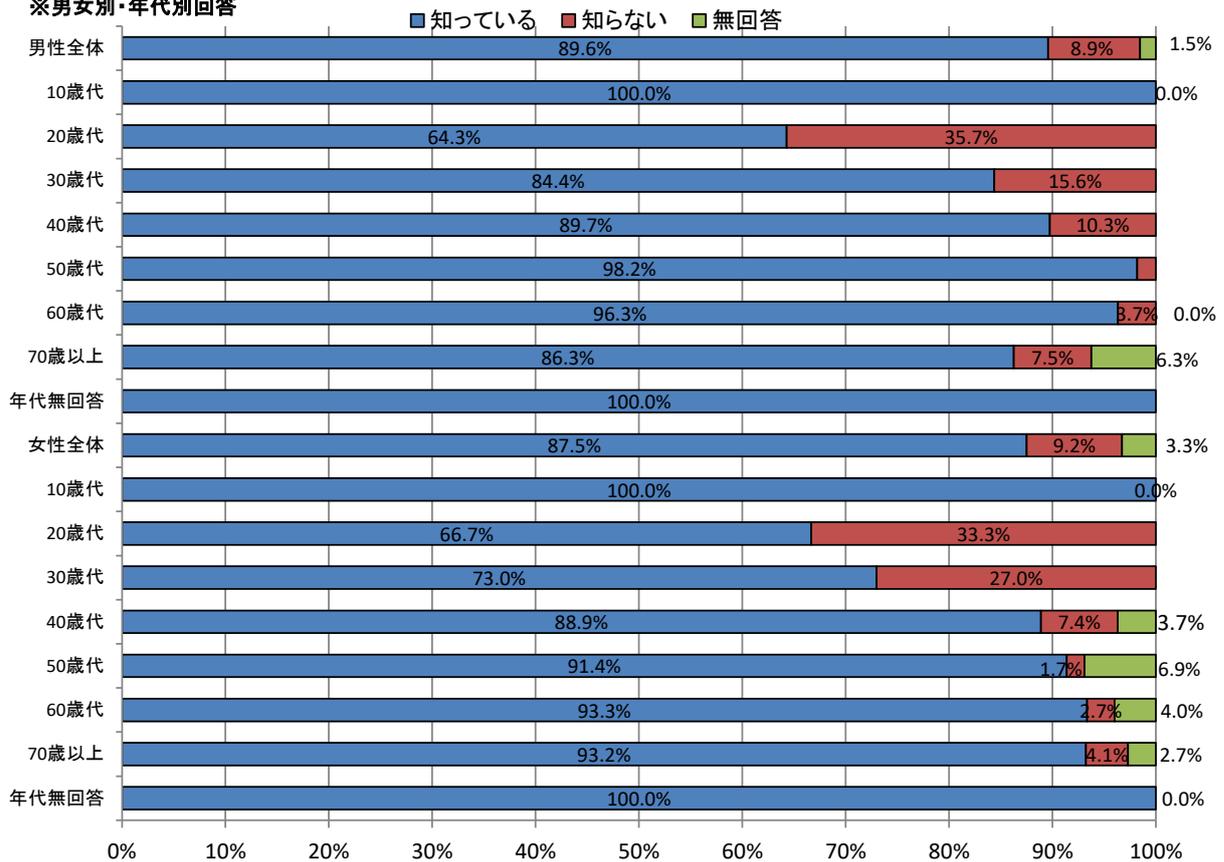


年代別全数グラフから、88.6%の人が同和問題(部落差別)を知っていると答えた。一方「知らない」と答えたのは9.1%である。高齢層では、「知らない」という人の割合は低い。

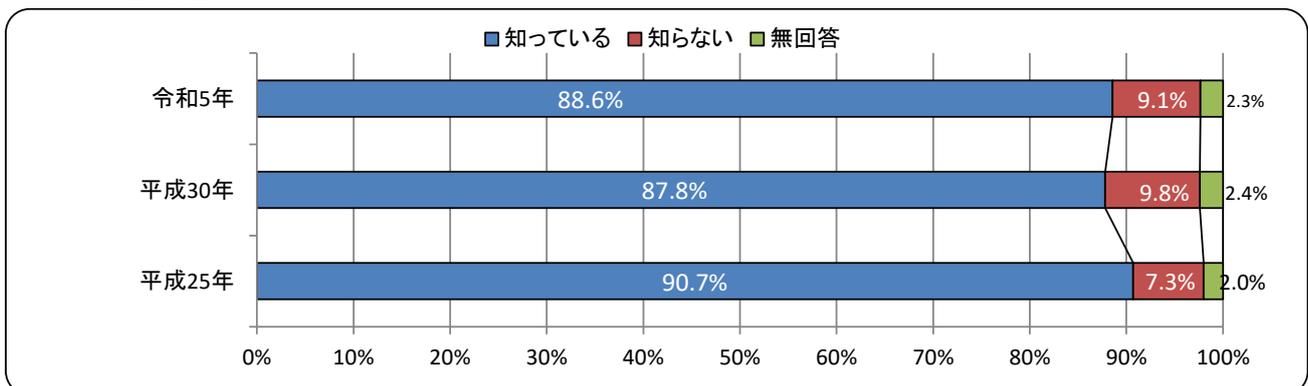
「知らない」を年代別で見ると男性は20代、女性は20・30代に割合的には多い(ただ母集団が少ないので一人の結果が大きく左右する)。

男性は前回、10・20代に「知らない」割合が高かったが、5年後の今回は20代の割合が高い。

※男女別・年代別回答

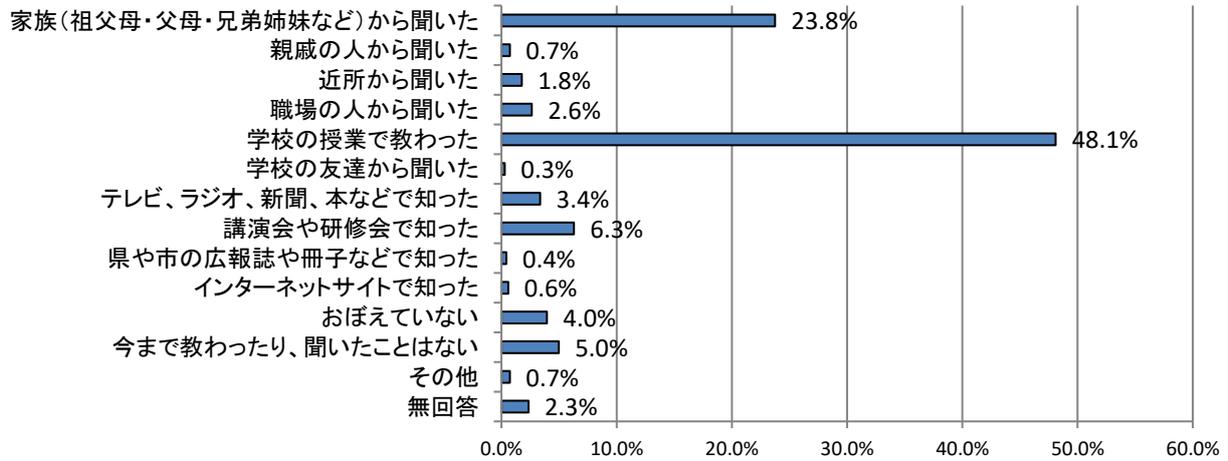


※過去調査との比較

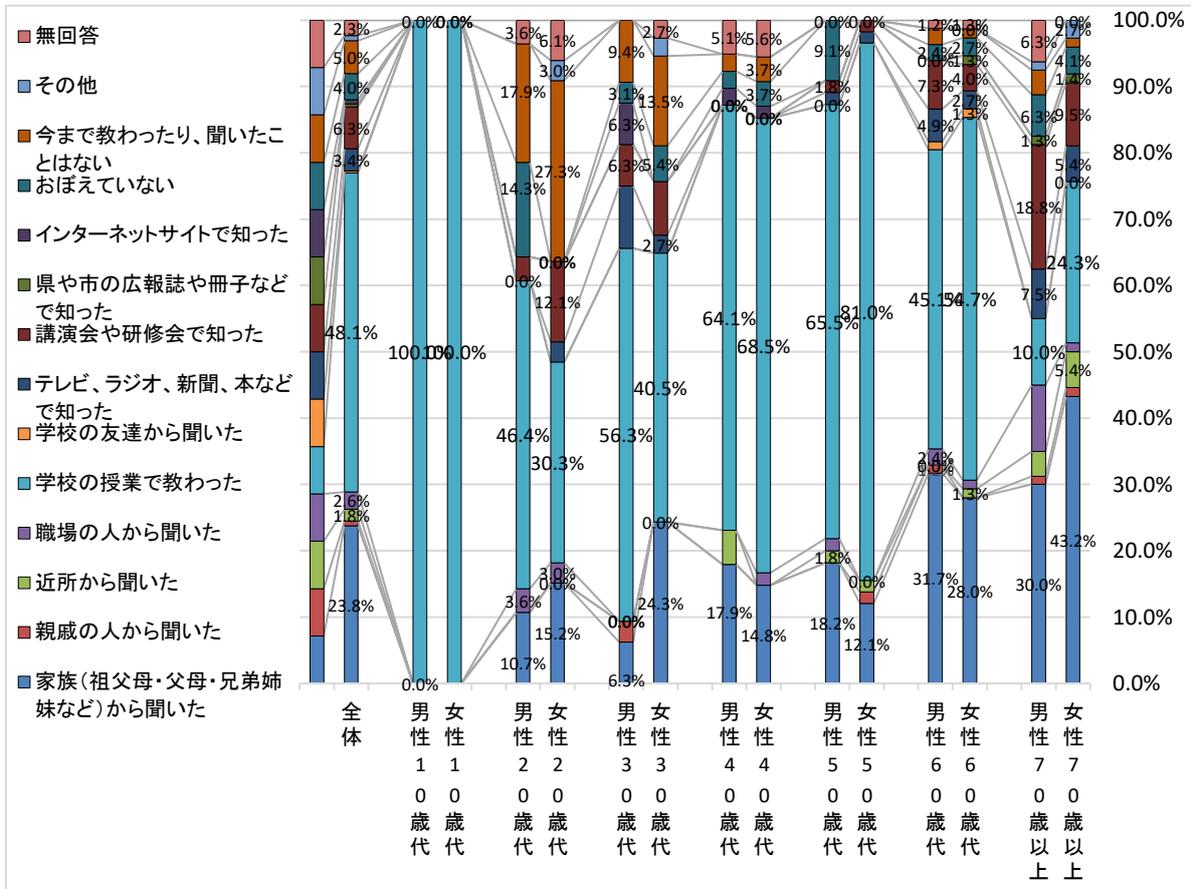


問30 あなたが同和問題(部落差別)を、知ったきっかけは次のどれですか。
(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答



※全体・男女別・年代別回答

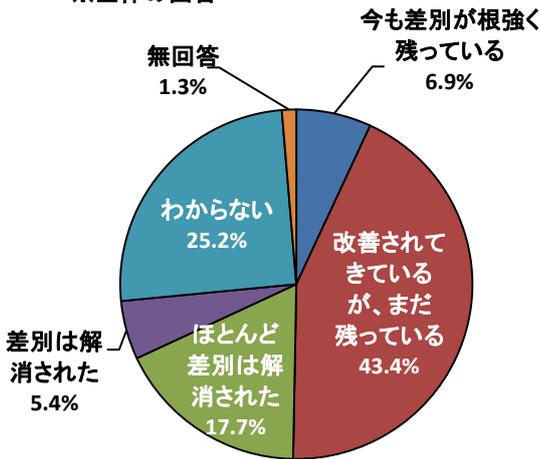


同和問題(部落差別)を知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」と答えた人の割合が48.1%、「家族(祖父母・父母・兄弟姉妹など)から聞いた」と答えた人の割合が23.8%、「講演会や研修会で知った」と答えた人の割合が6.3%などの順となっている。(上位3項目)「学校の授業」と答えたのは、10歳代、40歳代～50歳代が多く、「家族から聞いた」は60歳代・70歳代以上で多くなっている。

問31 あなたは同和問題(部落差別)についてどのようにお考えですか。

(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

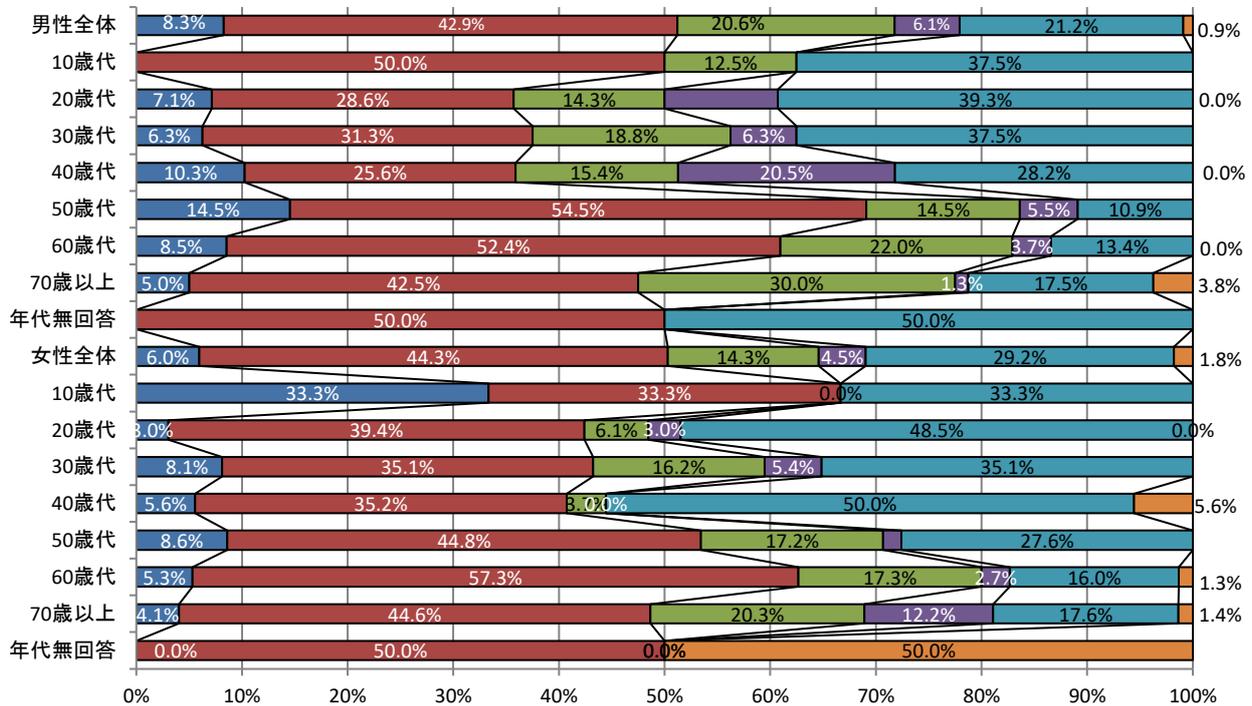


同和問題において「今も差別が根強く残っている」が6.9%、「改善されているがまだ残っている」が43.4%で、合計50.3%と半数がまだ残っていると回答している。H25の調査からH30の調査にかけては8.8ポイント減少したが、今回は2.4ポイントの増加がみられた。

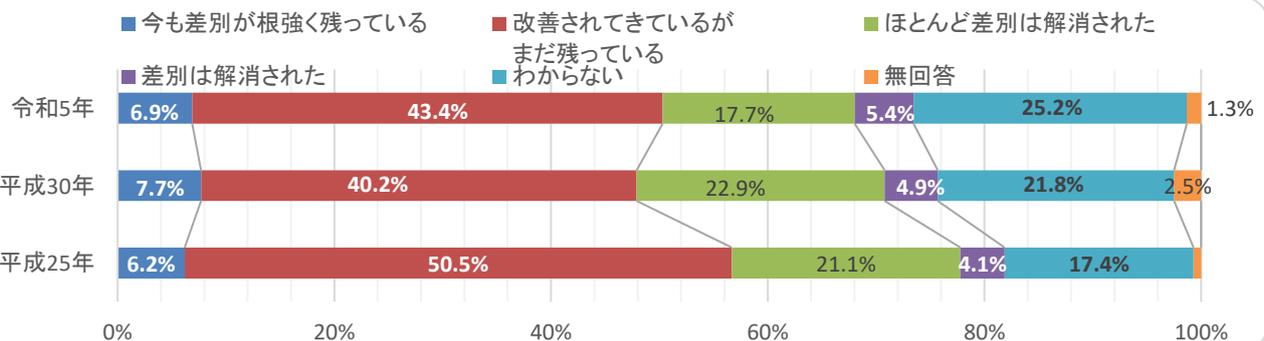
また、「ほとんど差別は解消された」が17.7%、「差別は解消された」が5.4%で合計23.1%で前回の27.8%からは減少した。H25に比べても2.1ポイント減少し、解消されたという意識は減少している。「わからない」の回答は増えている(H25調査17.4→H30調査21.8→今回25.2)。

※男女別・年代別回答

■今も差別が根強く残っている ■改善されてきているが、まだ残っている ■ほとんど差別は解消された ■差別は解消された ■わからない ■無回答



※過去調査との比較

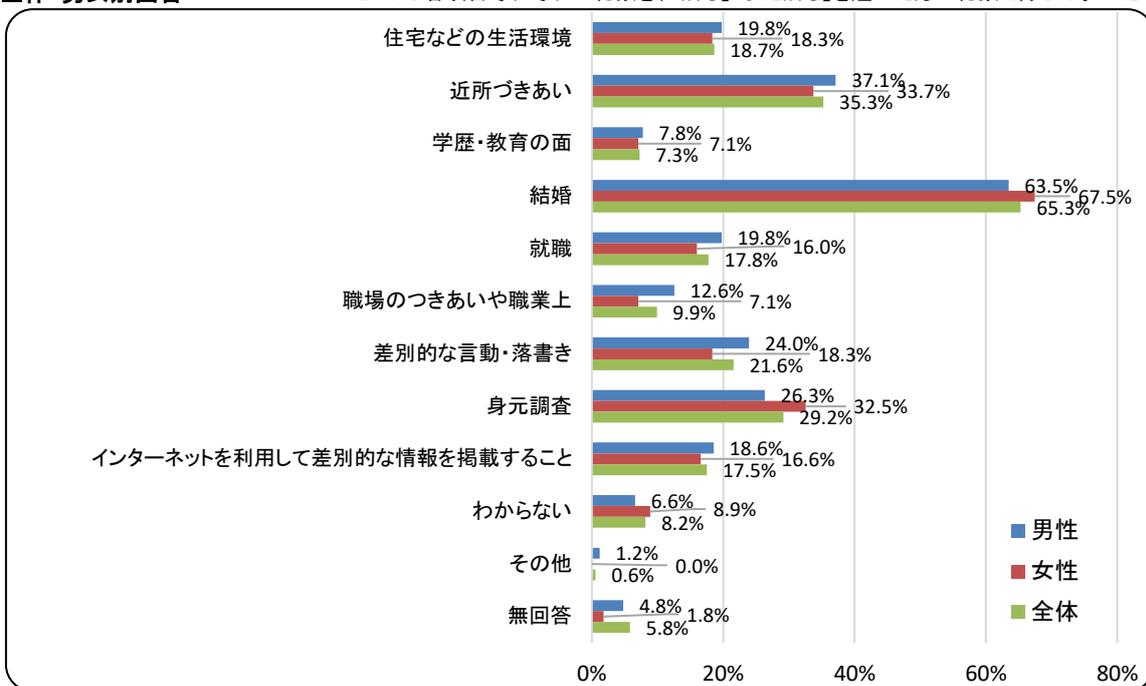


●「今も差別が根強く残っている」「改善されてきているが、まだ残っている」と答えた方にお聞きします。
 ※この2つに答えた方は全体の50.3%

問32 現在どのような面に同和問題(部落差別)があると思いますか。
 (あると思うものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答

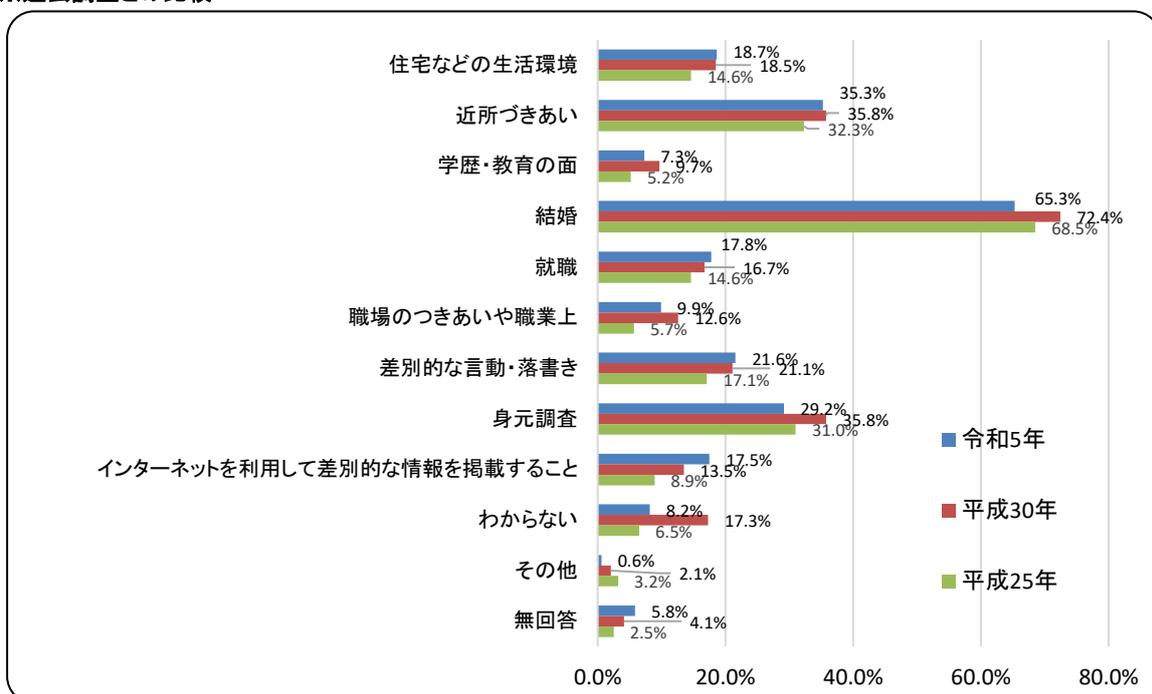
パーセントは各項目それぞれの総数を、「残る」「まだ残る」を選んだ方の総数で除して求めた



現在、どのような面に同和問題(部落差別)があるか(複数回答)については、「結婚」を挙げた人の割合が65.3%と最も高く、以下「近所づきあい」35.3%、「身元調査」29.2%、「差別的な言動・落書き」21.6%などの順となっている。上位4項目は前回と同一となったが、「差別的な言動・落書き」をのぞき、ポイントは前回より減少している。

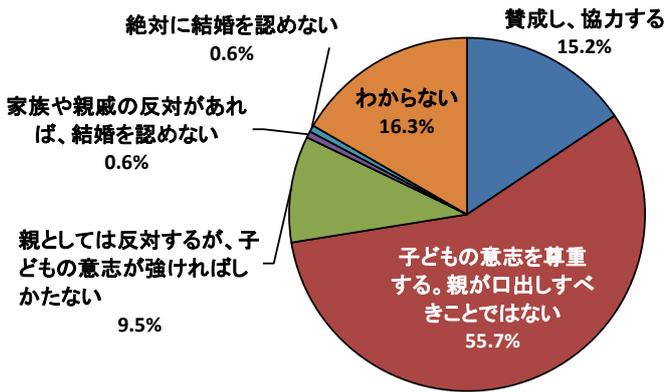
男女別で見ると「結婚」、「就職」「差別的な言動・落書き」「身元調査」などで4ポイント程度の差がみられる

※過去調査との比較



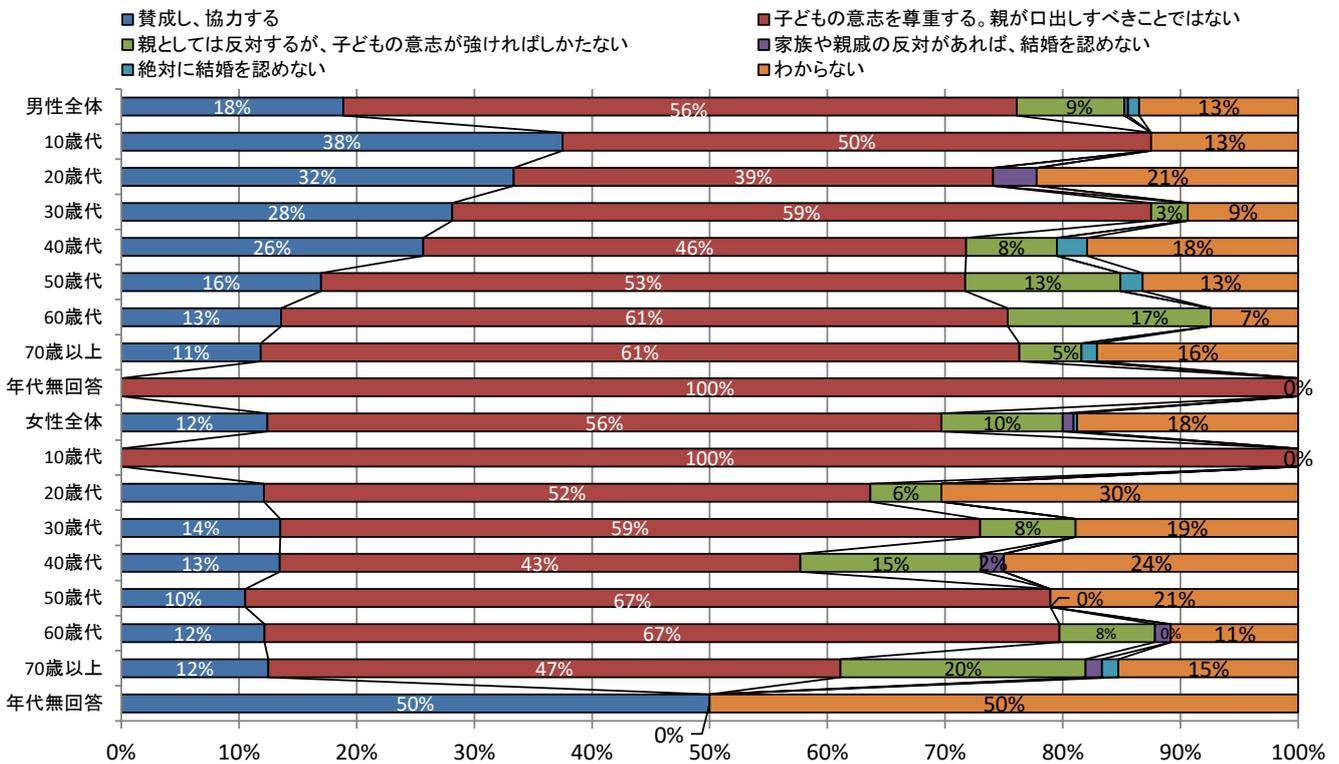
問33 あなたにお子さんがあると仮定し、お子さんの結婚相手が同和地区の人であるとした場合、あなたはどうのような態度をとると思いますか。(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

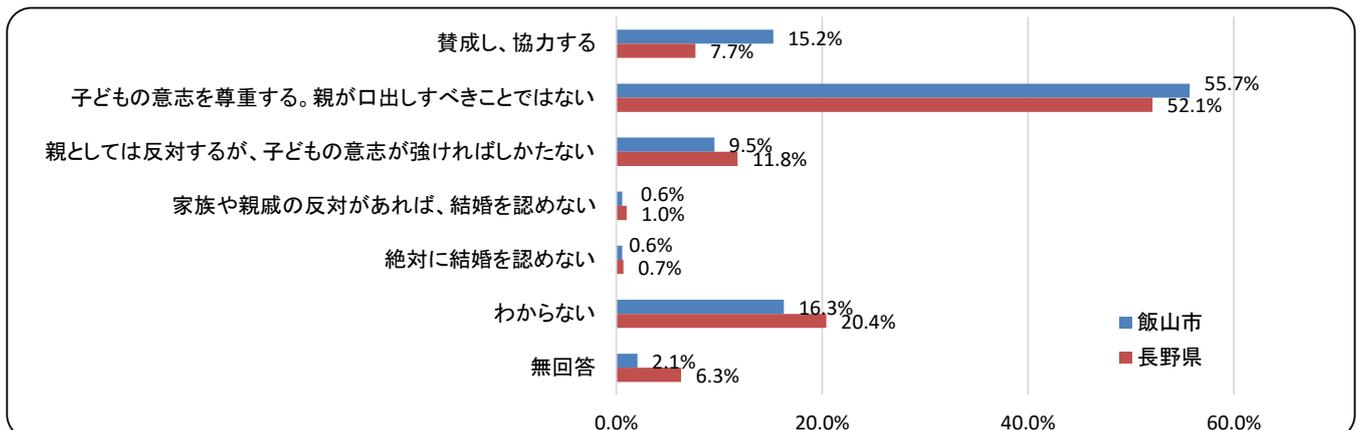


前回は子どもの有無や既婚未婚で回答者を絞ったが、今回は全員に答えてもらった。「お子さんの結婚相手が、被差別部落(同和地区)出身の人であると知った場合、あなたはどうしますか。」という設問に対し、「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」は前回54.5%から今回55.7%に増加。次いで「わからない」18.8%→16.3%、「賛成し、協力する」12.7%→15.2%、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたない」は12.7%→9.5%となっている。(上位4項目)「認めない」の2項目はともに前回と同じ0.6%だった。

※男女別・年代別回答



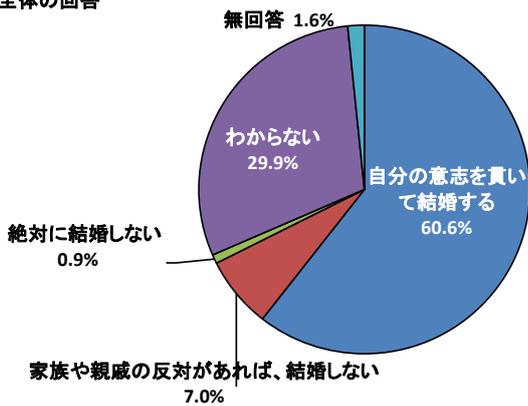
※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



長野県との比較では「賛成」が7.4ポイント高くなっている。一方、「反対・意志尊重」は2.3ポイント長野県より低い。

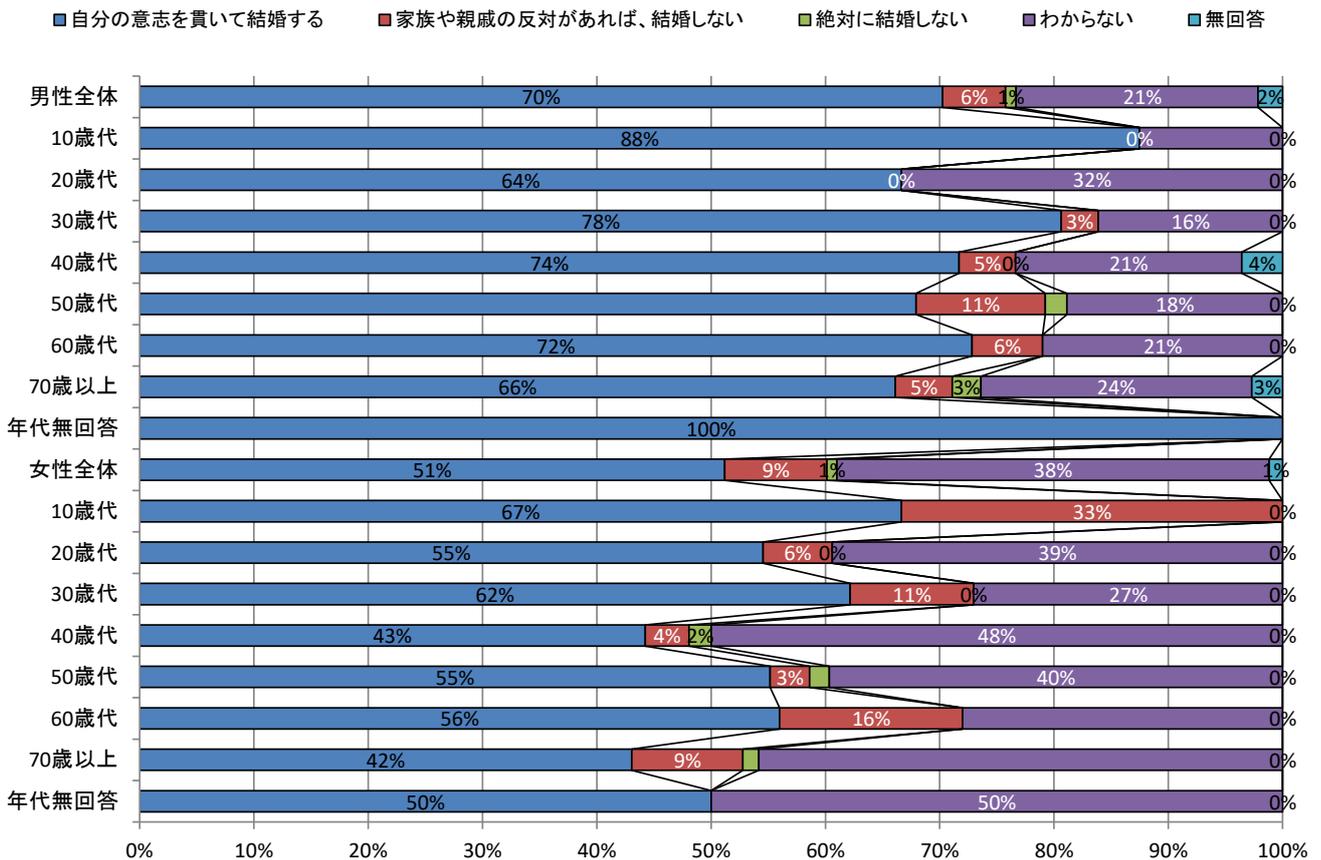
問34 あなた自身が同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしていると仮定し、家族や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

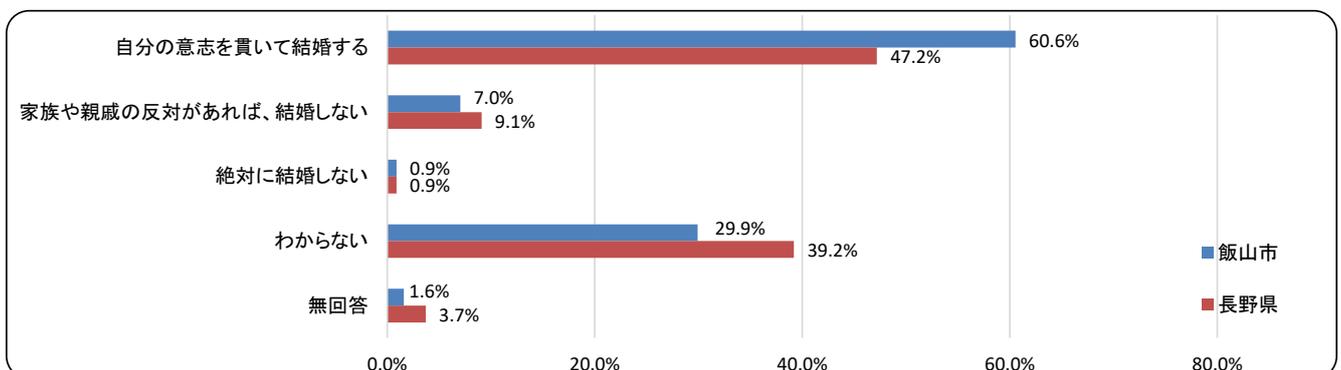


前回の調査では、選択肢に「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」があったが、今回はそれも含めて「自分の意志を貫いて結婚する」にまとめられた。その「自分の意志を貫いて結婚する」を選択した人は全体の60.6%で、前回の61.4%から0.8ポイント減少。男女をみると男性の方が「意志を貫いて...」が女子をおよそ20ポイント上回っている。「わからない」の選択も4ポイント前回に比べて減少した。その分、「結婚しない」に関わる二つが、それぞれ4.1%→7.0%、0.6%→0.9%と増加した。県との比較では、「意志を貫いて...」が13ポイント県を上回っている。一方、「わからない」の回答割合は県に比べ10ポイント少ない。

※男女別・年代別回答

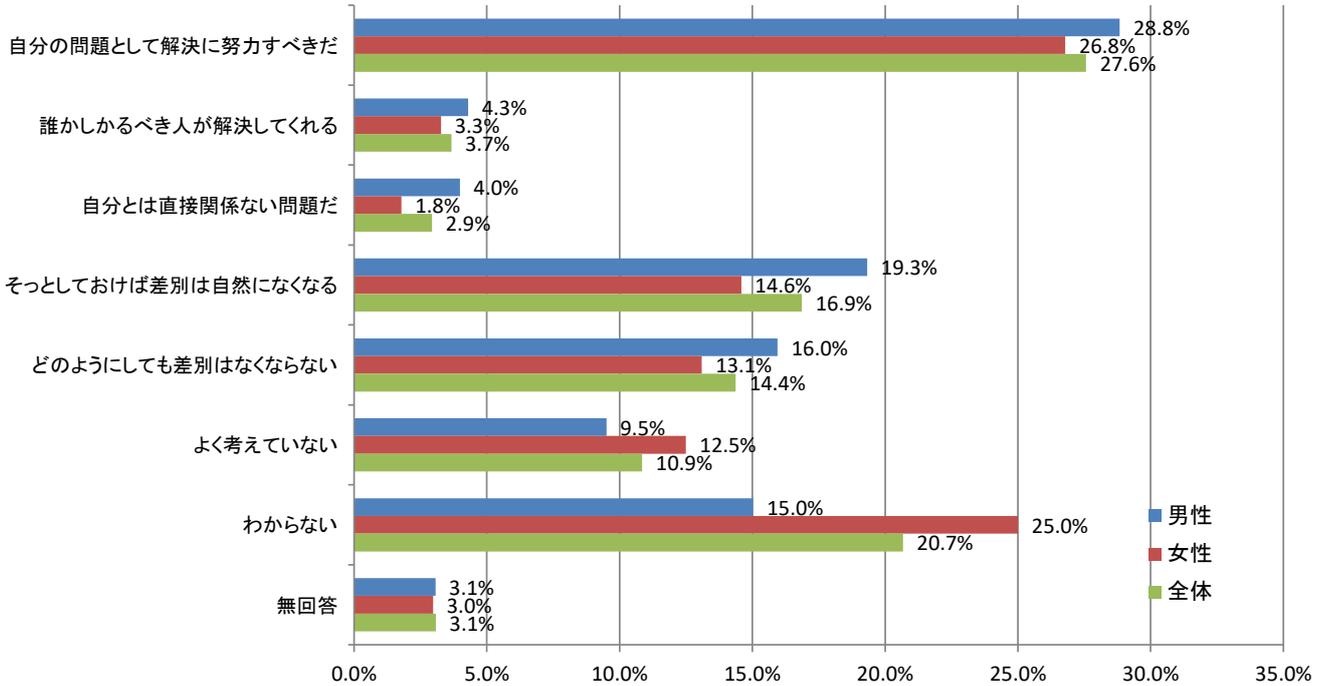


※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



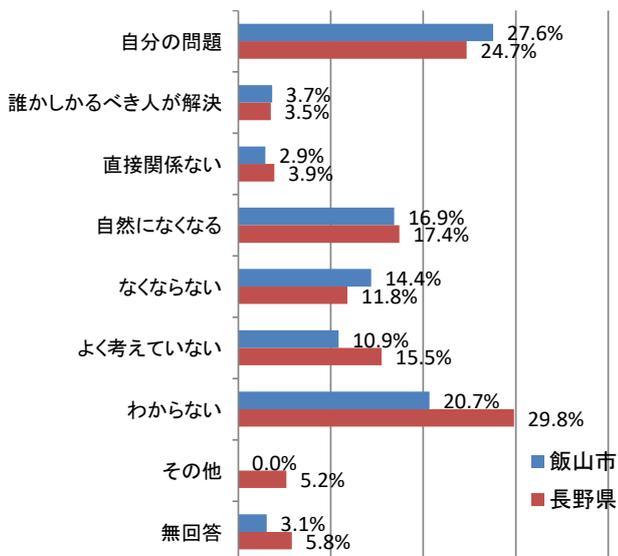
問35 同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに近いものはどれですか。
(あてはまると思う項目ひとつに○をつけてください)

※全体・男女別の回答



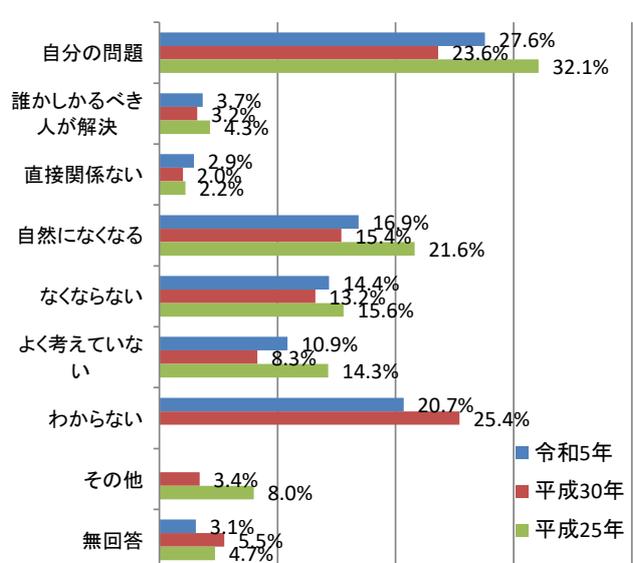
「自分の問題として解決に努力すべきだ」が27.6%と高く、次いで「わからない」が7ポイント差で続く。「わからない」との回答は男女で10ポイントの開きが出ている。男性はほとんどの問いで女性を上回っている。女性は「わからない」という回答が25%にのぼった。

※長野県との比較



県との比較では、「自分の問題」ととらえる人が県を上回った。反面、「なくなる」と考えた人が3ポイント程度より高かった。「わからない」は県より9ポイント低い。

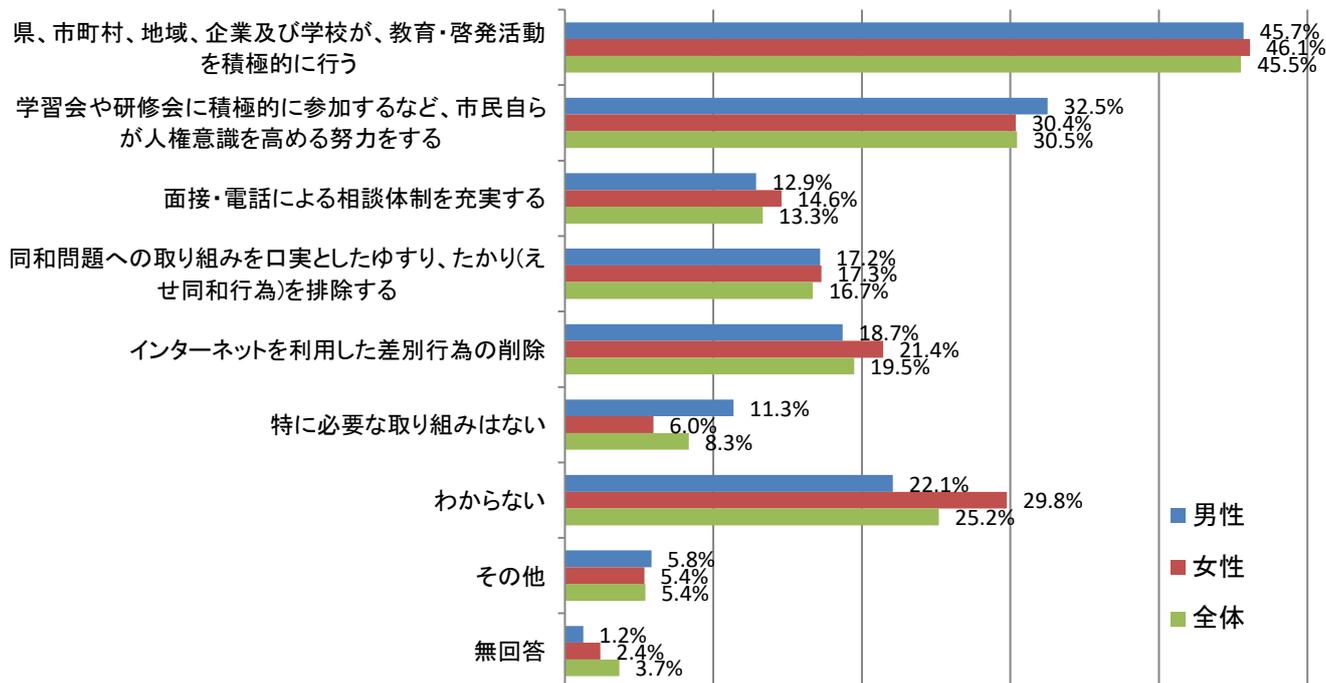
※前回・前々回との比較



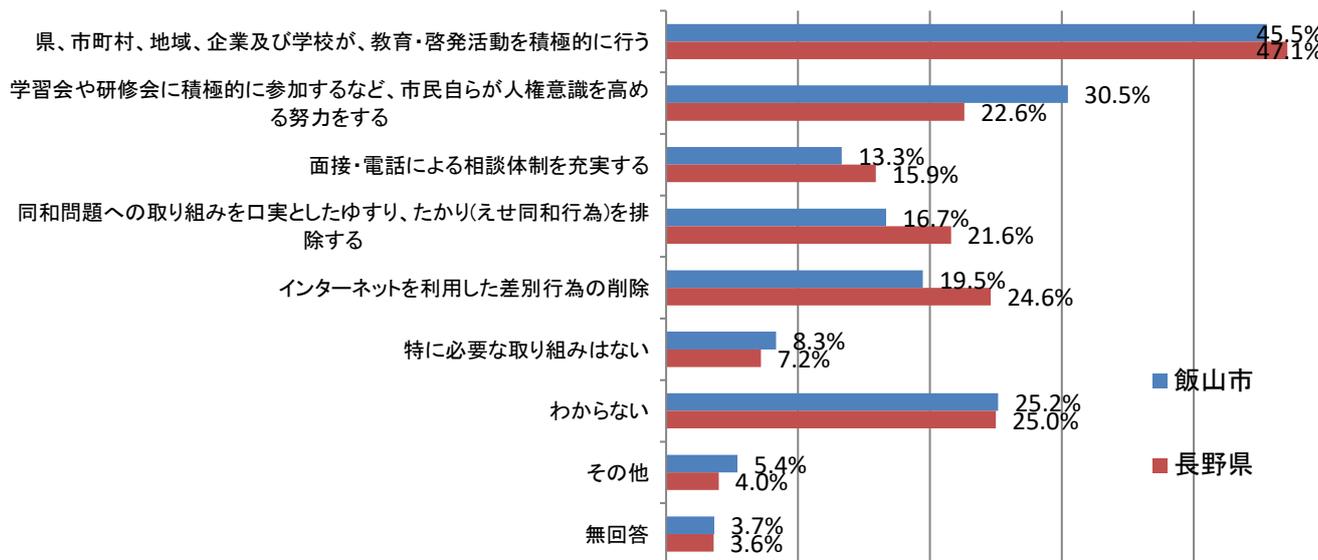
経年でみると、「自分の問題」ととらえる人が前回より増えて、前回の減少をやや戻した。全体的に前回を上回っている様子がみられる。

問36 同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに近いものはどれですか。
(あてはまると思う項目ひとつに○をつけてください)

※全体・男女別の回答



※長野県との比較(長野県調査は令和2年9月に実施)



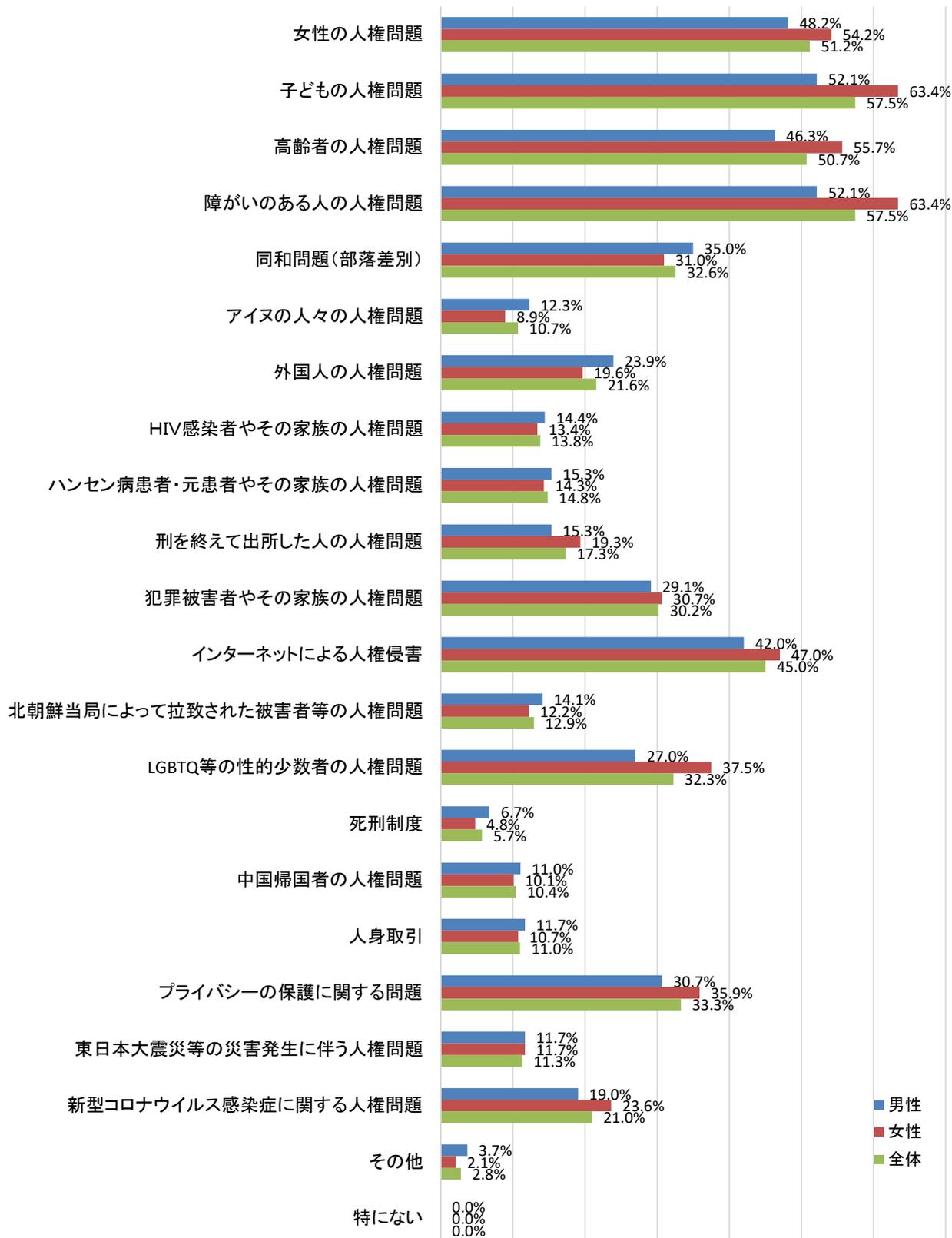
「県、市町村、地域、企業及び学校が、教育・啓発活動を積極的に行う」が45.5%で最も高い。次いで「自らが自分の問題として人権意識を高める努力をする」で30.5%。また、「わからない」も25.2%となっている。「わからない」は、男女間では7.7ポイントの差がある。

県との比較では、「自らが人権意識を高める努力をする」が県より7.9ポイント高く、インターネット関係が5.1ポイント低い結果となった。

V 人権課題を解決する方策について

問37 今後、人権課題として、市が積極的に取り組む必要があると思われる課題はどれですか。
(必要があると思うものすべてに○をつけてください)

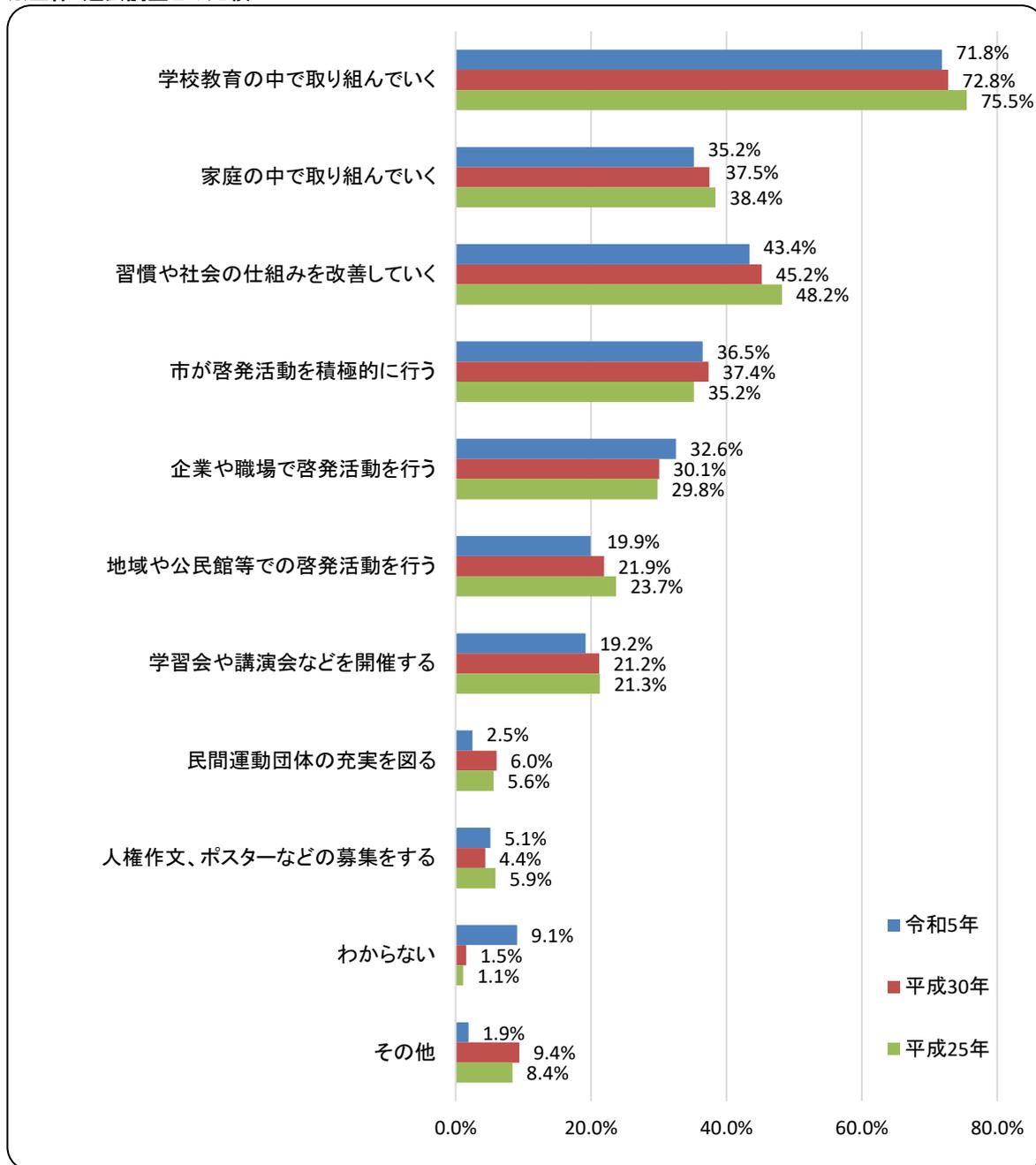
※全体・男女別の回答



回答の上位5つは「子どもの人権」57.5%「障がいのある人の人権」57.5%、「女性の人権」51.2%、「高齢者の人権」50.7%、「インターネットによる人権侵害」45.0%の順となっている。

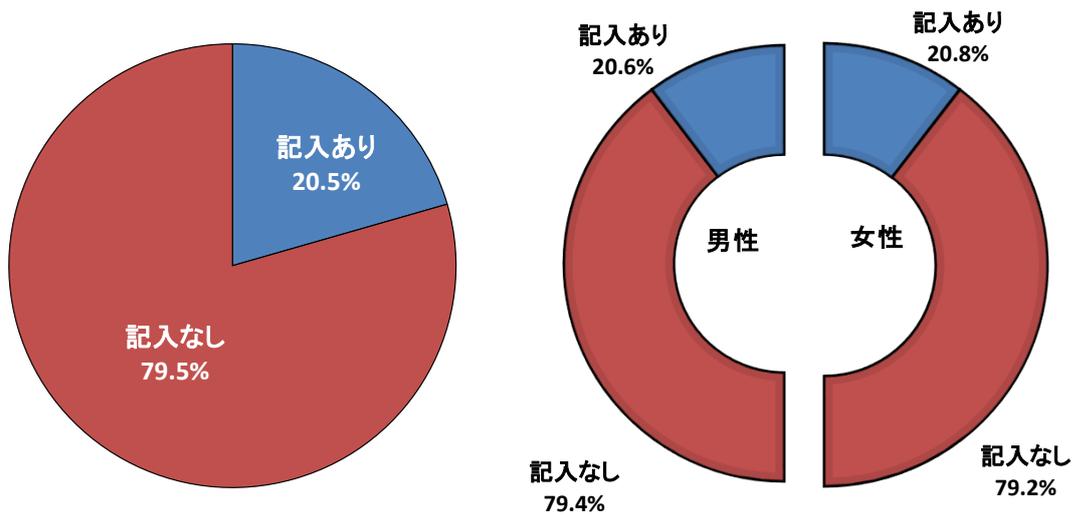
問38 あなたは、人権問題に理解を深め人権意識を高めていくためには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。（〇は5つまで）

※全体・過去調査との比較



今後の取り組みで必要なのは「学校教育の中で取り組んでいく」が71.8%で最も高いが、わずかずつ前の回より減少している。以下「習慣や社会の仕組みを改善していく」43.4%、「市が啓発活動を積極的に行う」36.5%、「家庭の中で取り組んでいく」35.2%、「企業や職場で啓発活動を行う」32.6%、「地域や公民館等での啓発活動を行う」19.9%などの順になっている。（複数回答、上位6項目）

問42 人権について、ご自由に意見をお書きください。



記述者140人(回答者682人の20.5%にあたる)

ま と め

令和5年度 人権に関する市民意識調査 報告書 まとめ

令和5年度 人権に関する市民意識調査 報告書 まとめ

令和5年(2023年)12月

飯山市教育委員会事務局 教育部 人権政策課

回答者の属性

本調査は、平成20年度、25年度、30年度、令和5年度と5年ごとに、無作為抽出した18歳以上の市民2000名を対象として調査している。回答率は、20年度調査44.8%、25年度調査39.2%、30年度調査35.6%、今回調査34.1%と回を重ねるごとに下降しているが、下降率は徐々に小さくなってきている。今回の調査では、回答率を高めるためWEB回答も可能としたところ、WEB回答者の占める割合は21.0%(143人)であった。男性の回答率は前回比5.8ポイント増となった一方、女性の回答率は前回比3.7ポイント減となり、結果として回答者の男女比は、ほぼ同じとなっている。また、今回の調査では、性別回答欄に「その他」「答えたくない」を新たに設けたので、前回の「無回答」55人が1人に激減したと考えられる。

本調査の回答率は『市民がどの程度人権に対して関心をもっているか』を測る指標の一つであると考え、回答率の経年変化から見る限り、人権に対する関心の低下傾向に歯止めがかかったと言えるのではないかと考える。

I 人権意識について

『人権は重要』(+2.7ポイント)及び『人権は自分に関係が深い』(+9.1ポイント)との回答率は前回より上昇している。『人権問題に関心がある』が前回より7.5ポイント上昇し、『少し関心がある』を加えた『関心がある』との回答率は回を重ねるごとに上昇している。様々なハラスメント事案の報道等により、人権に対する意識や関心が高まっていると考えられる。年代別の関心はどの年代も高い傾向であるが、男女とも30代・40代が低くなっている。社会を担っていく年代への啓発が必要ではないかと考える。

『障害者差別解消法』(+12.7ポイント)、『ヘイトスピーチ解消法』(+7.6ポイント)、『部落差別解消推進法』(+9.4ポイント)と「人権3法」の認知度が前回に比べて大幅に上昇し、『人権週間』とあわせた4項目は、約半数の市民に認知されている。集落懇談会や地区学習会で「人権3法」について地道に啓発してきた成果であると考え。『見聞きしたものはなし』(-1.3ポイント)が下降し、その他の項目については、『差別のない明るい飯山市を築く条例』(-0.3ポイント)を除き、前回に比較して認知度が少しずつ上昇している。

『人権に関する講演会等への参加』は、2019(令和元)年末からのコロナ禍で、講演会等が中止になったケースが多かったため『参加したことがある』の回答率が減少することが懸念されたが、前回に比較して7.4ポイント上昇した。コロナ禍でも機会をみつけて参加する市民が増えていると考えられ、人権意識が高まっていると捉えたい。

市民の認知度を高めるため、今後も区長や集落公民館長・地区公民館長と連携を図り、啓発の場である『集落の懇談会』や『地区公民館の講演会』を数多く開催し、参加者を増やしていくことが重要であると考え。

II 人権侵害について

『自分が人権侵害された』とする回答は少しずつ下降してきているが(今回は-12ポイントと大きく下降)、男性よりも女性のほうが高い比率であることは変わらないところである。

主たる人権侵害とされる『悪口・噂』(-17.5ポイント)、『仲間はずし・無視』(-14.3ポイント)、『プライバシーの侵害』(-1.0ポイント)、『差別待遇』(-2.4ポイント)は、いずれも下降している。一方『パワハラ』(+17.6ポイント)、『セクハラ』(+4.5ポイント)は上昇している。社会的にハラスメントへの関心が高まり、理解が進んだことが原因のひとつと考えられる。

人権侵害を受けた環境・場所については、男女ともに『職場』(70%前後)と『地域社会』(40%超)が大半を占めている。女性の方が『家庭内』、『学校』の回答率が高く男性の2倍超となっている。経年変化では、『学校』が大幅に減る一方、『職場』、『家庭内』、『地域社会』、『インターネット』が上昇傾向にある。

人権侵害を受けた理由は、『収入・財産』、『母子家庭・父子家庭』、『障がいがあること』の回答率が上昇している。男女で回答率が大きく異なっているものは、『性別』(女性が男性の約12倍)、『病気』(女性が男性の約2倍)、『収入・財産』(男性が女性の約2倍)である。ジェンダー平等、貧困問題、コロナ禍といった現在の社会状況が影響しているものと考えられる。

III 主な人権課題に関する意識について

『女性に対する差別・偏見』について、『あると思う』の回答率は50%超となった。一方『ないと思う』、『どちらかといえばないと思う』の回答率は合わせて約10%まで下降している。『女性に対する差別・偏見』について男女ともに認識が進んでいる結果と考えられる。『男は仕事、女は家庭』という考え方については、約80%が否定的にとらえており、意識は着実に変化している。

子どもの人権について、『守られている』、『どちらかといえば守られている』の回答率が微減し、『守られていない』、『どちらかといえば守られていない』の回答率が微増している。男性の方が『守られている』と感じる回答率が高い。『教師による体罰・暴言』(+22.3ポイント)、『児童虐待』(+16.9ポイント)をはじめ多くの項目が子どもの人権問題として認識されている。報道も含めて「子どもの権利」についての認識が進んだ結果と考えられる。

『高齢者』、『障がい者』、『外国人』に対する差別・偏見については、いずれも『あると思う』、『どちらかといえばあると思う』の回答率が前々回、前回と徐々に上昇してきている。それぞれの人権課題に対する意識が高まってきている結果と考える。

『HIV感染者』及び『ハンセン病患者』に対する差別・偏見については、特徴として『わからない』の回答率が高い。報道等で扱われる頻度が少なくなっていることも関係していると考えられる。

『犯罪被害者やその家族』、『インターネット』、『LGBTQ等の性的少数者』に関する人権課題では、いずれも女性の方が『ある』の回答率が高い。多くの人権課題に関して(特に『HIV感染者』、『LGBTQ等の性的少数者』)、県と比較して『わからない』の回答率が低く、飯山市民は人権課題に対する意識が高いと考えられる。

IV 同和問題(部落差別)に関する意識について

同和問題について、88.6%が『知っている』としており、前回より 0.8 ポイントほど増加している。前回『知っている』と回答した割合が少なかった 10 代、20 代、30 代の認知度が高まっていることに関連しているものと考えられる。

同和問題を知ったきっかけについて、『学校の授業で』が 60 代以下のどの年代も一番高い比率となっていて、学校で同和教育が実践され始めた年代と重なっていることがわかる。学校での同和教育を今後も大切に実践していく必要があると考えられる。

同和問題について、『改善されてきているがまだ残っている』が前回比 3.2 ポイント増となっているが、同和問題への認知度(関心)が高まっていることと関連していると考えられる。一方『わからない』が前回比 3.4 ポイント増、前々回比 7.8 ポイント増となっており(特に 40 代以下の若年層でその割合が高い)、今後も人権教育講座や地区・集落人権学習会を通して地道に啓発していく必要がある。

同和問題が『根強く残っている』、『改善されてきているが、まだ残っている』と回答した方の 65.3%が『結婚』問題をあげており、前回同様最も比率が高い。自分の子どもの結婚の場合、『賛成し、協力する』が前回比 2.5 ポイント増、『子どもの意思を尊重する』が 1.2 ポイント増となっており、結婚について本人の意思を尊重する意識が少しずつ高まっていると考えられる。自分の結婚の場合、『反対があれば結婚しない』が前回比 2.9 ポイント増、『絶対に結婚しない』が 0.3 ポイント増となっている。『自分の子どもの結婚に反対する』『自分が結婚しない』との回答者がどの年代にも一定の割合でいるので、今後も『結婚差別』解消に向けて啓発活動を地道に続けていく必要がある。

同和問題の解決のためには、『自分の問題として解決に努力すべきだ』の回答率が最も高く(27.6%)、前回及び県と比較しても高い割合となっている。また『市民自らが人権意識を高める努力をする』との回答率が県と比較して 7.9 ポイント高く、自分の問題ととらえる人が比較的多いと考えられる。一方『自然になくなる』(回答率 16.9%)、『わからない』(回答率 20.7%)との回答率も高いので、同和問題を「自分の問題として主体的に解決していこうとする」人を講演会や学習会等を通して今後も増やしていく必要がある。

V 人権課題を解決する方策について

『積極的に取り組む必要がある課題』は、『子ども』、『インターネット』、『性的少数者』の回答率が前回より 10 ポイント程度上昇している。また、『女性』、『同和問題』、『犯罪被害者やその家族』の回答率も前回より 5 ポイント程度上昇している。一方、『東日本大震災等の災害発生』、『北朝鮮当局によって拉致された被害者等』の回答率は前回より 2 ポイント超下降している。このことから、身近なことや自身に迫ったこと・報道等で扱われる頻度が高いこと等関心が高い事項に対する回答率が高い傾向にあると考えられる。

『今後必要な取り組み』について、『企業や職場で啓発活動』(+2.5 ポイント)、『人権作文・ポスターなどの募集』(+0.7 ポイント)、『わからない』(+7.6 ポイント)を除き、前回よりわずかずつ回答率が下降している。『わからない』の回答率が前々回・前回より大幅に高まっていることから、「効果的な取り組みが見いだせない」という方が増えてきているのではない

かと考える。「人権問題の理解・人権意識を高める」ためには、継続的で地道な取り組みが必要であるので、それぞれの取り組みによって「人権問題の理解・人権意識を高める」ことにつながっていることを、具体的なデータをもとに啓発していくことも必要であると考え。

調査資料

人権に関する市民意識調査調査票

人権に関する市民意識調査

I 人権意識について

問1 あなたは「人権」ということについてどのようにお考えですか。
「人権」に対するイメージ(印象・感想)について、一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。

- | | | | | | |
|---|--------------------------|-----------|---|--------------------------|--------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 重要だと思う | 4 | <input type="checkbox"/> | あまり重要だとは思わない |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 少し重要だと思う | 5 | <input type="checkbox"/> | 重要だと思わない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらともいえない | | | |

問2 あなたは「人権」ということについてどのようにお考えですか。
「人権」と自分との関係について、自分の思いに一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。

- | | | | | | |
|---|--------------------------|------------|---|--------------------------|-------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 関係が深いと思う | 4 | <input type="checkbox"/> | あまり関係がないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 少し関係があると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | 全く関係が無いと思う |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらともいえない | | | |

問3 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題(部落差別)、性的少数者などの差別をはじめさまざまな人権問題があります。

あなたは、人権問題に関心を持っていますか。自分の思いに一番近いと思う項目ひとつに○印をご記入ください。

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------|---|--------------------------|----------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 関心がある | 3 | <input type="checkbox"/> | あまり関心がない |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 少し関心がある | 4 | <input type="checkbox"/> | 関心がない |

問4 人権に関することで、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。

(見聞きしたものをすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 障害者差別解消法(正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律) |
| 2 | <input type="checkbox"/> | ヘイトスピーチ解消法(正式名称:本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律) |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 部落差別解消推進法(正式名称:部落差別の解消の推進に関する法律) |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 人権週間 |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 人権擁護委員 |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 人権の花運動 |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 飯山市人権政策課 |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 飯山市人権政策推進協議会 |
| 9 | <input type="checkbox"/> | 飯山市人権同和男女共同参画地域推進員 |
| 10 | <input type="checkbox"/> | 飯山市企業人権教育推進協議会 |
| 11 | <input type="checkbox"/> | いいやま人権福祉センター |
| 12 | <input type="checkbox"/> | 人権尊重都市宣言 |
| 13 | <input type="checkbox"/> | 差別のない明るい飯山市を築く条例 |
| 14 | <input type="checkbox"/> | 飯山市人権政策推進に関する基本方針 |
| 15 | <input type="checkbox"/> | 児童虐待・DV24時間ホットライン |
| 16 | <input type="checkbox"/> | 見聞きしたものはなし |

問5 人権に関する講演会・懇談会・学習会・イベントに参加したことがありますか。

(参加したことがあるものすべてに○をつけてください)

- | | | | |
|---|--------------------------|-----------------|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 市が行う講座・研修会・市民大会 | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 集落の懇談会 | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 地区公民館等の講演会・研修会 | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 学校・PTAの講演会・研修会 | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 職場内の講演会・研修会 | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 参加したことはない | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: |) |

II 人権侵害について

問6 あなたは、最近5年間で、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

(どちらかに○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|----|---|--------------------------|----|
| 1 | <input type="checkbox"/> | ある | 2 | <input type="checkbox"/> | ない |
|---|--------------------------|----|---|--------------------------|----|

【問6で「ある」と答えた方は、次の問7へお進みください。「ない」と答えた方は、問11へお進みください】

問7 その人権侵害はどのようなものでしたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 悪口・噂 | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 仲間はずし・無視 | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | プライバシーの侵害 | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 差別待遇 | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 暴力・脅迫・強要・DV | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 虐待 | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | セクシャル・ハラスメント | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | パワー・ハラスメント | |
| 9 | <input type="checkbox"/> | マタニティ・ハラスメント | |
| 10 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: |) |

問8 その人権侵害はどこでありましたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | | | |
|---|--------------------------|-----|---|--------------------------|-----------|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 学校 | 4 | <input type="checkbox"/> | 地域社会 | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 職場 | 5 | <input type="checkbox"/> | インターネット | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 家庭内 | 6 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: |) |

問9 それは、どのような理由による人権侵害ですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|-----------|----|--------------------------|------------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 学歴・出身校 | 9 | <input type="checkbox"/> | 障がいがあること |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 住んでいる場所 | 10 | <input type="checkbox"/> | 思想・信条 |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 性別 | 11 | <input type="checkbox"/> | 被差別部落(同和地区)出身 |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 容姿 | 12 | <input type="checkbox"/> | 国籍・人種・民族 |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 収入・財産 | 13 | <input type="checkbox"/> | LGBTQ(※) |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 職業・親の職業 | 14 | <input type="checkbox"/> | 逮捕・犯罪歴 |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 母子家庭・父子家庭 | 15 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: _____) |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 病気 | | | |

※LGBTQ・・・女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシャル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

問10 人権侵害を受けたときあなたはどのように対応しましたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 相手に抗議し話し合った |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 家族に相談した |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 友人、知人に相談した |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 学校の先生に相談した |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 弁護士に相談した |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 法務局又は人権擁護委員に相談した |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 地域振興局など県の機関に相談した |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 市役所に相談した |
| 9 | <input type="checkbox"/> | 警察に相談した |
| 10 | <input type="checkbox"/> | NPO等の民間団体に相談した |
| 11 | <input type="checkbox"/> | 黙って、何もせず我慢した |
| 12 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: _____) |

Ⅲ 主な人権課題に関する意識について

問11 あなたは、社会で女性に対する差別・偏見はあると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | あると思う | 4 | <input type="checkbox"/> | ないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばあると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばないと思う | | | |

問12 あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」等)を他の人に押しつけること
- 2 職場における差別待遇(女性であることを理由に実力が正しく評価されない等)
- 3 配偶者や交際相手からの暴力(身体的・精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力等)
- 4 女性に対するハラスメント(セクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ)、マタニティ・ハラスメント(妊娠・出産に伴う嫌がらせ)等、モラル・ハラスメント(言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ)等)
- 5 売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)、女性の働く風俗営業
- 6 女性の性を強調した広告、雑誌等
- 7 人権問題は特にない
- 8 わからない
- 9 その他(具体的に: _____)

問13 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考えについてどう思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- 1 そのとおりだと思う
- 2 どちらかといえばそのとおりだと思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

問14 あなたは、社会で子どもの人権が守られていると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- 1 守られていると思う
- 2 どちらかといえば守られていると思う
- 3 どちらかといえば守られていないと思う
- 4 守られていないと思う
- 5 わからない

問15 あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと
- 2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること
- 3 教師が児童・生徒に対し体罰や暴言を加えること
- 4 親が子どもを虐待すること(暴力を振るうなど身体的虐待、精神的虐待、食事を与えないなどの育児放棄等)
- 5 学校や就職先の選択など、子どもの意見を大人が尊重しないこと
- 6 児童買春・児童ポルノ等の対象にすること
- 7 男女に関わらず性暴力被害を受けること
- 8 人権問題は特にない
- 9 わからない
- 10 その他(具体的に: _____)

問16 あなたは、社会で高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | あると思う | 4 | <input type="checkbox"/> | ないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばあると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばないと思う | | | |

問17 あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|-----------------------------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 悪徳商法・特殊詐欺の被害者が多いこと |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 家庭・病院・施設内での看護や介護において劣悪な処遇や虐待をすること |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 高齢者を邪魔者扱いし、意見や行動を尊重しないこと |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 高齢者の特性(認知症等)に関する理解が不足していること |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 地域、家族等とのつながりが無い独居老人の孤独死 |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない |
| 8 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 9 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: _____) |

問18 あなたは、社会で障がいのある人に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | あると思う | 4 | <input type="checkbox"/> | ないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばあると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばないと思う | | | |

問19 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 結婚問題で周囲が反対すること |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 就職・職場で不利な扱いを受けること |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 差別的な言動をされること |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居を拒否されること |
| 5 | <input type="checkbox"/> | スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 障がいに対する理解が足りないこと(障がいに関するマーク(ヘルプマーク等)や盲導犬・聴導犬等への理解が足りない、合理的配慮(※)が提供されていない等) |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない |
| 9 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 10 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: _____) |

※合理的配慮…障がいのある人から、社会の中にあるバリア(例えば施設などの問題点等)を取り除くために何らかの対応をしてほしいという意味が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること

問20 あなたは、日本に居住している外国人に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | あると思う | 4 | <input type="checkbox"/> | ないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばあると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばないと思う | | | |

問21 あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | |
|---|--------------------------|--|--|--|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育等の日常生活に必要な情報の取得や相談をしにくいこと | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 結婚問題で周囲が反対すること | | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否すること | | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を行うこと | | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない | | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | わからない | | |
| 9 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: _____) | | |

問22 あなたは、HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | あると思う | 4 | <input type="checkbox"/> | ないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばあると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばないと思う | | | |

問23 あなたは、HIV感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | |
|---|--------------------------|--------------------------------|--|--|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 結婚問題で周囲が反対すること | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 就職・職場で不利な扱いをすること | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 治療や入院を断ること | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 無断でエイズ検査等を行うこと | | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 差別的な言動をすること | | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居を拒否すること | | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない | | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | わからない | | |
| 9 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: _____) | | |

問24 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | あると思う | 4 | <input type="checkbox"/> | ないと思う |
| 2 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばあると思う | 5 | <input type="checkbox"/> | わからない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | どちらかといえばないと思う | | | |

問25 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|--|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 結婚問題で周囲が反対すること | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 就職・職場で不利な扱いをすること | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 治療や入院を断ること | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと | | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 差別的な言動をすること | | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居を拒否すること | | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 旧優生保護法により強制的に不妊手術が行われたこと | | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない | | |
| 9 | <input type="checkbox"/> | わからない | | |
| 10 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: | |) |

問26 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | |
|---|--------------------------|---|--|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 犯罪行為及び捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 犯罪行為によって経済的負担を受けること | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 事件に関して、うわさ話をされること | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 刑事裁判手続に被害者の声が十分反映されないこと | | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することが公にされ、私生活の平穏が保てなくなること | | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 精神的負担や経済的負担を周囲の人が理解してくれないこと | | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない | | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | わからない | | |
| 9 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: | |) |

問27 あなたは、SNSをはじめとしたインターネットに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | |
|---|--------------------------|---|--|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 他人を誹謗中傷する表現を掲載すること | | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 差別を助長する表現を掲載すること | | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 出会い系サイト、LINE(ライン)、ツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場合があること | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | プライバシーに関する情報を掲載すること | | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | ネットポルノが存在すること(リベンジポルノ(元交際相手などの性的な画像等を相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為)を含む) | | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 人権問題は特にない | | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | わからない | | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: | |) |

問28 あなたは、LGBTQ(※)等の性的少数者の方々に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 学校、職場において、嫌がらせをすること
- 2 差別的な言動をすること
- 3 就職・職場で不利な扱いをすること
- 4 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居を拒否すること
- 5 法的支援制度が整っていないこと
- 6 LGBTQ等に対する理解が足りないこと
- 7 人権問題は特にない
- 8 わからない
- 9 その他(具体的に: _____)

※LGBTQ・・・女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシャル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

IV 同和問題(部落差別)に関する意識について

問29 あなたは、同和問題(部落差別)を知っていますか。

(どちらかに○をつけてください)

- 1 知っている
- 2 知らない

問30 あなたが同和問題(部落差別)を、知ったきっかけは何ですか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- 1 家族(祖父母・父母・兄弟姉妹など)から聞いた
- 2 親戚の人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 職場の人から聞いた
- 5 学校の授業で教わった
- 6 学校の友達から聞いた
- 7 テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った
- 8 講演会や研修会で知った
- 9 県や市の広報誌や冊子などで知った
- 10 インターネットサイトで知った
- 11 おぼえていない
- 12 今まで教わったり、聞いたりしたことはない
- 13 その他(具体的に: _____)

問31 あなたは同和問題(部落差別)についてどのようにお考えですか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- 1 今も差別が根強く残っている
- 2 改善されてきているが、まだ残っている
- 3 ほとんど差別は解消された
- 4 差別は解消された
- 5 わからない

【問31で「今も差別が根強く残っている」「改善されてきているが、まだ残っている」「ほとんど差別は解消された」と答えた方は問32へお進みください。それ以外の方は問33へお進みください。】

問32 現在どのような面に同和問題(部落差別)があると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | |
|----|--------------------------|---------------------------|---|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 住宅などの生活環境 | |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 近所づきあい | |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 学歴・教育の面 | |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 結婚 | |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 就職 | |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 職場のつきあいや職業上 | |
| 7 | <input type="checkbox"/> | 差別的な言動・落書き | |
| 8 | <input type="checkbox"/> | 身元調査 | |
| 9 | <input type="checkbox"/> | インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること | |
| 10 | <input type="checkbox"/> | わからない | |
| 11 | <input type="checkbox"/> | その他(具体的に: |) |

問33 あなたにお子さんがいると仮定し、お子さんの結婚相手が同和地区の人であると知った場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|-----------------------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 賛成し、協力する |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない |
| 4 | <input type="checkbox"/> | 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 絶対に結婚を認めない |
| 6 | <input type="checkbox"/> | わからない |

問34 あなた自身が同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしていると仮定し、家族や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> | 自分の意志を貫いて結婚する |
| 2 | <input type="checkbox"/> | 家族や親戚の反対があれば、結婚しない |
| 3 | <input type="checkbox"/> | 絶対に結婚しない |
| 4 | <input type="checkbox"/> | わからない |

問35 同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに近いものはどれですか。

(あてはまると思う項目ひとつに○をつけてください)

- 1 自分の問題として解決に努力すべきだ
- 2 誰かしかるべき人が解決してくれる
- 3 自分とは直接関係ない問題だ
- 4 そっとしておけば差別は自然になくなる
- 5 どのようにしても差別はなくなる
- 6 よく考えていない
- 7 わからない

問36 あなたは、同和問題を解決するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(あてはまると思う項目すべてに○をつけてください)

- 1 県、市町村、地域、企業および学校が、教育・啓発活動を積極的に行う
- 2 学習会や研修会に積極的に参加するなど、市民自らが人権意識を高める努力をする
- 3 面接・電話による相談体制を充実する
- 4 同和問題への取り組みを口実としたゆすり、たかり(えせ同和行為)を排除する
- 5 インターネットを利用した差別行為の削除
- 6 特に必要な取り組みはない
- 7 わからない
- 8 その他(具体的に: _____)

V 人権課題を解決する方策について

問37 今後、人権課題として市が積極的に取り組む必要があると思われる課題はどれですか。

(あてはまる項目すべてに○をつけてください)

- 1 女性の人権問題
- 2 子どもの人権問題
- 3 高齢者の人権問題
- 4 障がいのある人の人権問題
- 5 同和問題(部落差別)
- 6 アイヌの人々の人権問題
- 7 外国人の人権問題
- 8 HIV感染者やその家族の人権問題
- 9 ハンセン病患者・元患者やその家族の人権問題
- 10 刑を終えて出所した人の人権問題
- 11 犯罪被害者やその家族の人権問題
- 12 インターネットによる人権侵害
- 13 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権問題
- 14 LGBTQ(※)等の性的少数者の人権問題
- 15 死刑制度
- 16 中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)の人権問題
- 17 人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)
- 18 プライバシーの保護に関する問題
- 19 東日本大震災等の災害発生に伴う人権問題
- 20 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷・いじめ等)
- 21 その他(具体的に: _____)
- 22 特にない

※LGBTQ・・・女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシャル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

問38 あなたは、人権問題に理解を深め人権意識を高めていくには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。

(○は5つまで)

- 1 学校教育の中で取り組んでいく
- 2 家庭の中で取り組んでいく
- 3 習慣や社会の仕組みを改善していく
- 4 市が啓発活動を積極的に行う
- 5 企業や職場で啓発活動を行う
- 6 地域や公民館等での啓発活動を行う
- 7 学習会や講演会などを開催する
- 8 民間運動団体の充実を図る
- 9 人権作文、ポスターなどの募集をする
- 10 わからない
- 11 その他(具体的に: _____)

問39 あなたの性別をお書きください。

(ひとつだけ○をつけてください)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他
- 4 答えたくない

問40 あなたの年齢はおいくつですか。

(年齢に○をつけてください)

- 1 10歳代(18、19歳の方)
- 2 20歳代
- 3 30歳代
- 4 40歳代
- 5 50歳代
- 6 60歳代
- 7 70歳以上

問41 お住まいの地区名

(お住まいの地区に○をつけてください)

- 1 飯山地区
- 2 秋津地区
- 3 木島地区
- 4 瑞穂地区
- 5 柳原地区
- 6 富倉地区
- 7 外様地区
- 8 常盤地区
- 9 太田地区
- 10 岡山地区
- 11 その他
- 12 答えたくない



問42 人権について、ご自由に意見をお書きください。

人権に関する市民意識調査 報告書

令和5年(2023年)12月

発行 長野県飯山市大字飯山1110-1

飯山市教育委員会事務局 教育部 人権政策課

電話 (0269)67-0743(直通)